

道立高等技術専門学院（MONOテク） の運営方針（令和8～12年度）

素案

令和8年（2026年）2月19日
北海道経済部労働政策局産業人材課

目次

I. 運営方針の策定趣旨	2	(4) 施設外訓練	46
II. MONOテクの現状		(5) 全員参加型社会の実現に向けた取組	50
1. MONOテクの設置根拠	4	(6) 官民の連携	52
2. MONOテクの設置状況	5	(7) 執行体制	57
3. MONOテクの職業訓練	7	(8) 施設・設備の整備等	59
4. MONOテクの訓練科（施設内訓練）	8	VII. 今後の方向性	
5. 入校状況（施設内訓練）	9	1. 基本的な考え方	61
III. MONOテクを取り巻く状況		2. 目標指標	63
1. 人口の推移	12	VIII. 今後の取組	
2. 新規高卒者の進路	13	1. 訓練体制のあり方 ～8校1分校・33科～	65
3. 道内の産業構造	14	2. 訓練内容の不断の見直し ～ニーズに応じた訓練の実施～	67
4. 求人・求職の状況	15	3. 人口対策 ～入校生の確保～	68
IV. MONOテクの強み		IX. 推進管理	70
1. 企業からの求人数の多さ	17	X. 参考資料	
2. 離職率の低さ	18	1. 10職系33訓練科	72
3. 就職率の高さ	19	2. 地域の関係機関からの意見	77
4. 企業誘致につながる例	21	3. 入校状況（H20～R7年度）	81
V. MONOテクの課題		4. 訓練科目の評価（R元～R6年度）	83
1. 入校者数の減少	23	5. MONOテクにおける取組事例	94
2. 認知度の低さ	27	6. 「今後の高等技術専門学院の運営方針」の概要	96
3. 入校者のうち新規高卒者が占める割合の高さ	28		
VI. H31年3月策定の「運営方針」の点検・評価			
1. 概要	30		
2. 地域の関係機関からの意見	31		
3. 運営方針（H31年3月策定）の目標指標の達成状況	32		
4. 点検・評価			
(1) 訓練体制	33		
(2) 施設内訓練	34		
(3) 入校生の確保対策	40		

I. 運営方針の策定趣旨

I. 運営方針の策定趣旨

- 運営方針は、訓練の体制や内容、その他運営に関わる基本的な方針。
現在の「運営方針」の対象期間がR7年度で終わるため、R8年度を始期とするこの方針を策定。

MONOテクの役割

高等技術専門学院（MONOテク）は、道立の公共職業能力開発施設として、機械、金属加工、建築など、道内のものづくり産業などを支える質の高い人材を育成し、地域に送り出している。

- ・施設内訓練 = 新規高卒者や既卒者向け
- ・委託訓練 = 離転職者向け。民間に業務委託して実施
- ・在職者訓練 = 在職者（企業の従業員）向け

今後の高等技術専門学院の運営方針(H31年3月策定)

◆趣旨 訓練体制や内容、科目、その他運営に関わる基本的な方針

◆対象期間 2019(H31)～2025(R7)年度

◆基本的な考え方

- ①地域産業を支える人材の育成
- ②全員参加型社会の実現への貢献
- ③官民の効果的な連携

◆具体的な取組例

【訓練体制】 8校1分校体制の維持、【施設内訓練】ものづくり関連分野への重点化／訓練科目やカリキュラムの見直し、【施設外訓練】委託訓練や能力開発セミナー（在職者訓練）の着実な実施、【入校生の確保】広報・PR活動の充実・強化／通称名の導入／学び直し「自己推薦制度」の拡充、【執行体制】指導員の資質向上、【施設・設備の整備等】施設の改修・修繕／実習用機器の計画的な更新・整備

<今回>運営方針

◎取り巻く状況

人口減少と少子高齢化、また、雇用情勢の改善により、多くの業界で人手不足の状態が続いている。

◎課題

MONOテクのR7年度定員充足率は41.5%（施設内訓練）と半分以下であり、地域ニーズへの人材輩出が充分に対応できていない。

◎今回の策定

これまで、H31年3月策定の運営方針に基づき、8校1分校で職業訓練を実施。

今後も、地域経済を支える中核的な人材育成機関としての役割を果たしていくために、訓練体制などに関する基本的な方針を定めるもの。

◎対象期間

令和8年度～12年度（5年間）

II. MONOテクの現状

1. MONOテクの設置根拠

- MONOテク（道立高等技術専門学院）は、職業能力開発促進法や道条例に基づき、道が設置する「職業能力開発校」。「職業能力開発校」は、全ての都道府県で設置されている。

国（法律）

■職業能力開発促進法（抜粋）

（目的）

第一条 労働施策総合推進法と相まつて、職業訓練及び職業能力検定の内容の充実強化及びその実施の円滑化のための施策並びに労働者が自ら職業に関する教育訓練又は職業能力検定を受ける機会を確保するための施策等を総合的かつ計画的に講ずることにより、職業に必要な労働者の能力を開発し、及び向上させることを促進し、もつて、職業の安定と労働者の地位の向上を図るとともに、経済及び社会の発展に寄与する。

（国及び都道府県が行う職業訓練等）

第十五条の七 国及び都道府県は、労働者が段階的かつ体系的に職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得することができるように、次の各号に掲げる施設を第十六条に定めるところにより設置して、当該施設の区分に応じ当該各号に規定する職業訓練を行うものとする。

- 一 職業能力開発校 [MONOテク(高等技術専門学院)]
- 二 職業能力開発短期大学校
- 三 職業能力開発大学校 [ポリテクカレッジ（小樽（銭函））]
- 四 職業能力開発促進センター [ポリテクセンター（札幌、函館、旭川、釧路）]
- 五 障害者職業能力開発校 [国が設置し、道が運営受託。砂川]

（公共職業能力開発施設）

第十六条 国は、職業能力開発短期大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発促進センター及び障害者職業能力開発校を設置し、都道府県は、職業能力開発校を設置する。

北海道（条例）

■北海道立高等技術専門学院条例（抜粋）

（設置、名称及び位置）

第1条 職業能力開発促進法第15条の7第1項第1号の職業能力開発校として、北海道立高等技術専門学院（以下「学院」という。）を設置する。

2 学院の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
北海道立札幌高等技術専門学院	札幌市
北海道立函館高等技術専門学院	函館市
北海道立旭川高等技術専門学院	旭川市
北海道立北見高等技術専門学院	北見市
北海道立室蘭高等技術専門学院	室蘭市
北海道立苫小牧高等技術専門学院	苫小牧市
北海道立帯広高等技術専門学院	帯広市
北海道立釧路高等技術専門学院	釧路市

第2条 知事は、必要な地に、学院の分校を設けることができる。

II. MONOテクの現状

2. MONOテクの設置状況

- MONOテクは、6つの連携地域を基本に、8校1分校を設置。
自動車関連企業など「ものづくり」関連企業の集積が進む道央には、札幌・室蘭・苫小牧の3校を配置。



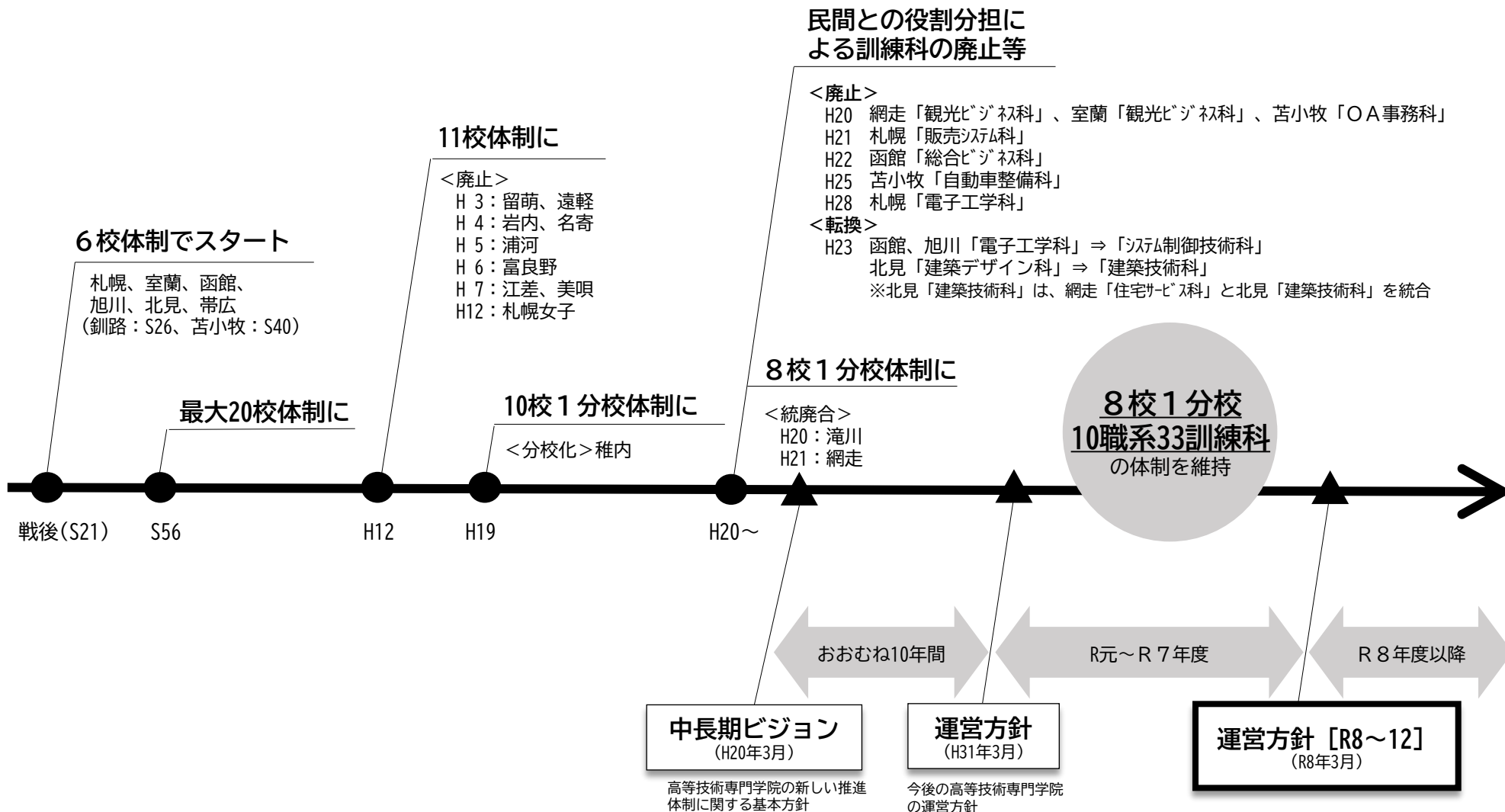
6つの連携地域

●道では、北海道行政基本条例に基づき、長期的な展望に立って、道の政策の基本的な方向を総合的に示す「北海道総合計画」をR6年度に策定。

●この総合計画では、一定の人口規模以上で、行政をはじめ経済、医療、教育、文化などの面で拠点性の高い札幌市、函館市、旭川市、釧路市、帯広市及び北見市を「中核都市」と位置付け、これらを拠点とする6つのエリアを「連携地域」として設定している。

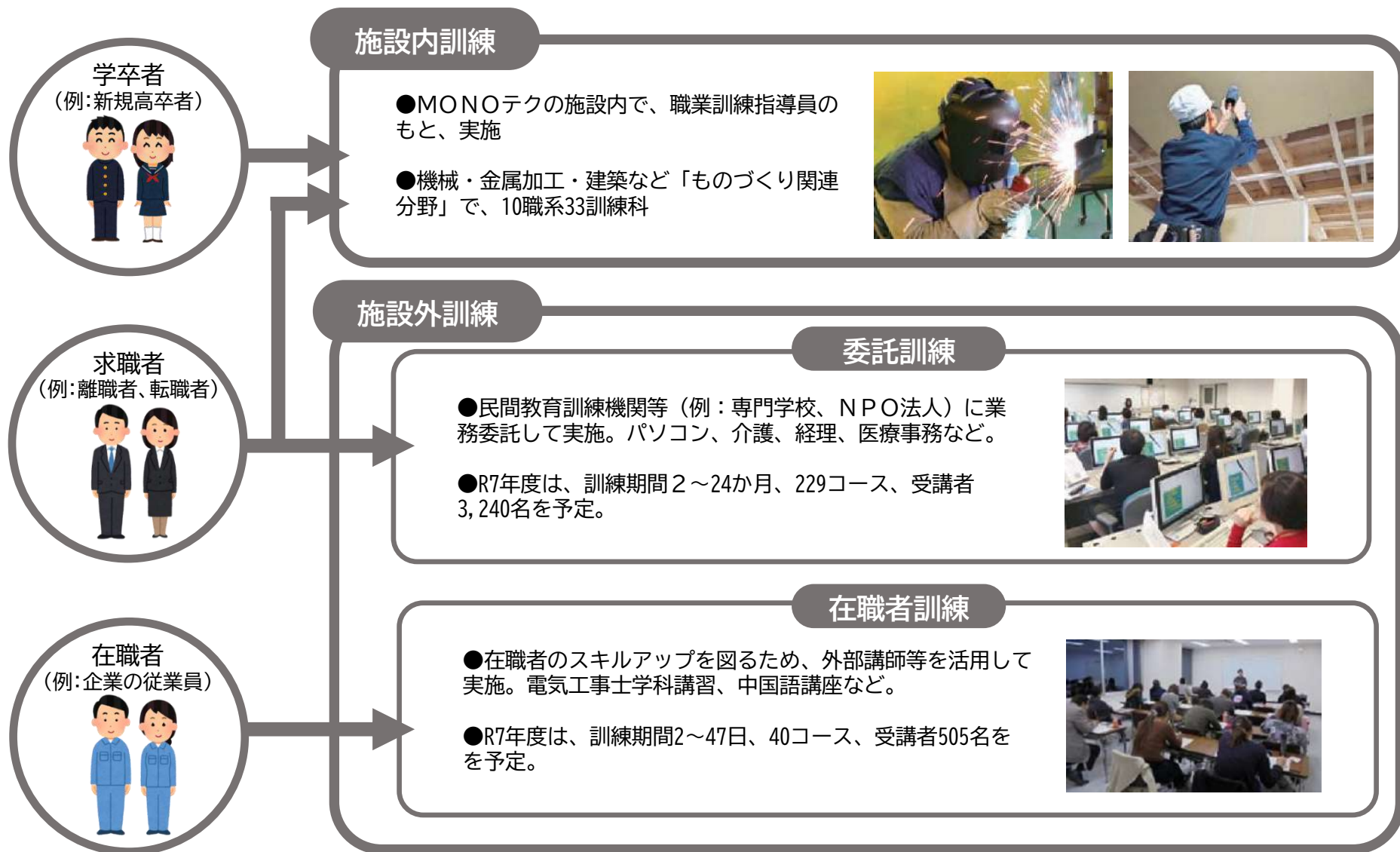
MONOテクの変遷

- 戦後6校でスタートしてS56に最大20校となったが、廃止や統廃合などにより現在は8校1分校の体制。



3. MONOテクの職業訓練

- MONOテクでは、学卒者や求職者への「施設内訓練」、求職者への「委託訓練」、企業の従業員への「在職者訓練」を実施。



II. MONOテクの現状

4. MONOテクの訓練科（施設内訓練）

- MONOテクの施設内訓練では、機械・金属加工・建築など「ものづくり」関連分野の職業訓練を行っている。10職系33訓練科があり、R7年度入校定員は475名。

MONOテクの訓練科（施設内訓練） 10職系33科

①機械系

自動車や家電製品など「ものづくり」に必要な機械加工技術を習得し、技能者として活躍できる人材を目指す。

<R7年度入校定員：5科・計50名>

②金属加工系

ビルや橋などの鉄鋼構造物における金属材料の溶接作業や成形加工、工作機械類の操作方法を習得する。

<R7年度入校定員：4科・計40名>

③建築施工系

手工具の使い方や木材の加工など建築施工の基礎から、模擬家屋の製作など実践的な技能を習得する。

<R7年度入校定員：6科・計80名>

④印刷・製本系

ポスター・カタログ・チラシなどの印刷物について、企画からデザイン・印刷・製本まで、技能を習得する。

<R7年度入校定員：2科・計30名>

⑤設備施工系

給排水、冷暖房など建築設備の知識技能を習得し、施行技術者や現場監督として活躍できる人材を目指す。

<R7年度入校定員：1科・計20名>

⑥電力系

電気設備の設計・施工を中心に、配線工事や高圧電気設備など幅広い分野で活躍できる技能者を目指す。

<R7年度入校定員：4科・計55名>

⑦第2種自動車系

自動車の基本構造を理解し、車両整備全般の実務能力を習得した自動車整備士を目指す。

<R7年度入校定員：5科・計100名>

⑧木材加工系

木工工具・機械を利用した木材加工技術を習得し、椅子やテーブルなどの家具や建具の製作技術を学ぶ。

<R7年度入校定員：3科・計45名>

⑨電気・電子系

コンピュータによって制御される機器や設備の設計、製作、メンテナンスなどができる実践的的技能者を目指す。

<R7年度入校定員：2科・計40名>

⑩塗装系・デザイン系

塗装や広告サイン製作の技術を習得し、印象豊かな演出ができる色彩のプロフェッショナルを目指す。

<R7年度入校定員：1科・計15名>



II. MONOテクの現状

5. 入校状況（施設内訓練）

- 令和7年度の入校状況は、総定員975名に対して、在籍数は339名（9月末現在）。
なお、在籍数が1名以下となっている科は、1年で8科、2年で4科。

【R7年度の入校状況】

		定員			入校者数			在籍数（R7年9月末）		
		1年	2年	計	1年（R7）	2年（R6）	計	1年	2年	計
札幌	精密機械科	10	20	30	5	6	11	5	5	10
	金属加工科	10	10	20	1	7	8	1	6	7
	建築技術科	20	20	40	5	5	10	5	4	9
	電子印刷科	10	20	30	5	6	11	4	5	9
	建築設備科	20	20	40	15	8	23	12	5	17
	計	70	90	160	31	32	63	27	25	52
函館	自動車整備科	20	20	40	11	13	24	11	11	22
	システム制御技術科	20	20	40	10	11	21	7	2	9
	機械技術科	10	10	20	2	2	4	2	2	4
	建築技術科	10	10	20	4	4	8	3	4	7
計	60	60	120	27	30	57	23	19	42	
旭川	建築技術科	15	15	30	7	12	19	7	9	16
	システム制御技術科	20	20	40	6	15	21	6	8	14
	自動車整備科	20	20	40	16	9	25	13	7	20
	印刷デザイン科	20	20	40	17	8	25	15	8	23
	造形デザイン科	20	20	40	7	4	11	7	4	11
	色彩デザイン科	15	20	35	2	9	11	1	8	9
	計	110	115	225	55	57	112	49	44	93
	電気工学科	10	10	20	2	3	5	2	2	4
北見	自動車整備科	20	20	40	12	8	20	10	8	18
	造形デザイン科	10	10	20	4	5	9	4	3	7
	建築技術科	10	10	20	2	2	4	1	2	3
	機械技術科	10	10	20	5	3	8	5	3	8
計	60	60	120	25	21	46	22	18	40	

		定員			入校者数			在籍数（R7年9月末）		
		1年	2年	計	1年（R7）	2年（R6）	計	1年	2年	計
室蘭	金属加工科	10	10	20	1	4	5	1	4	5
	精密機械科	10	10	20	1	1	2	1	1	2
	計	20	20	40	2	5	7	2	5	7
苫小牧	金属加工科	10	10	20	2	2	4	2	1	3
	精密機械科	10	10	20	3	1	4	3	1	4
	電気工学科	10	10	20	3	4	7	2	2	4
計	30	30	60	8	7	15	7	4	11	
帯広	建築技術科	15	15	30	2	10	12	1	9	10
	電気工学科	20	20	40	8	5	13	6	5	11
	造形デザイン科	15	15	30	5	6	11	5	6	11
	金属加工科	10	10	20	0	5	5	0	4	4
自動車整備科	20	20	40	16	15	31	15	14	29	
計	80	80	160	31	41	72	27	38	65	
釧路	電気工学科	15	15	30	7	6	13	7	6	13
	建築技術科	10	10	20	1	1	2	1	0	1
	自動車整備科	20	20	40	10	7	17	10	5	15
計	45	45	90	18	14	32	18	11	29	
合計	475	500	975	197	207	404	175	164	339	

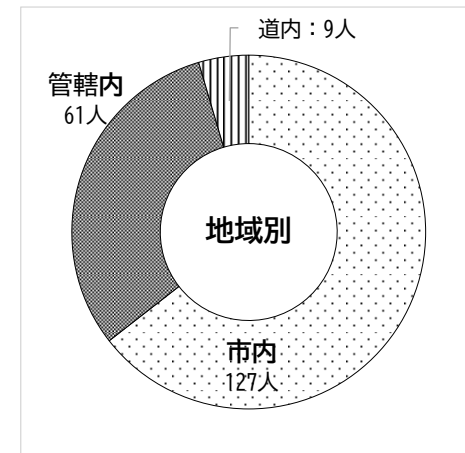
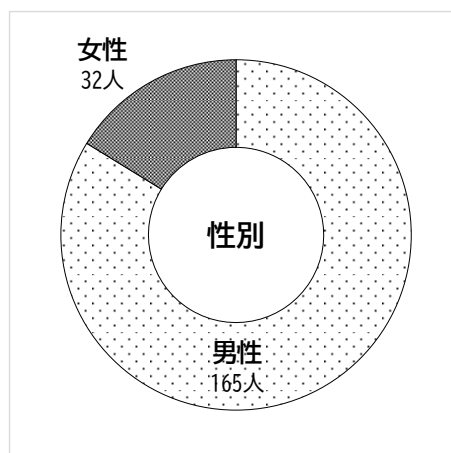
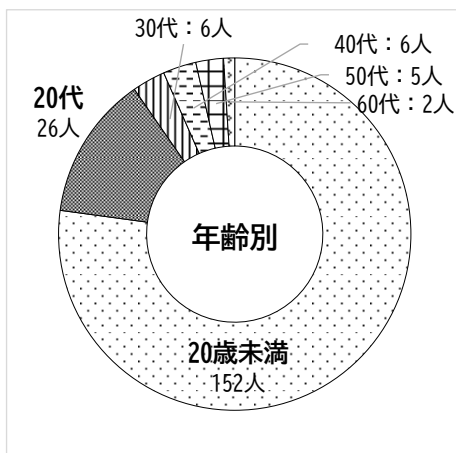
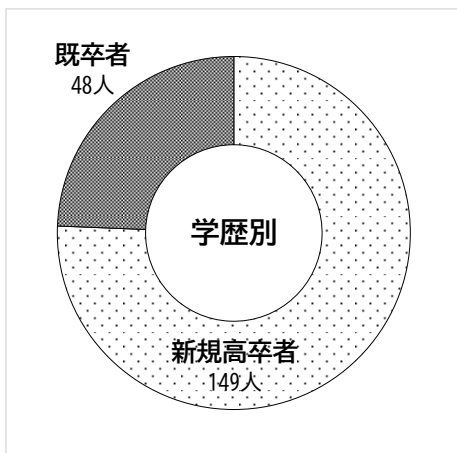
	定員	入校者数	在籍数（R7年9月末）
1年	475	197	175
2年	500	207	164
計	975	404	339

※入校者数と在籍数の差は、中退者（就職、進路変更等）や1年制による修了者

入校者の属性

- R7年度入校者を属性別にみると、学歴別では「新規高卒者」が7割以上、年齢別では「20代未満と20代」が9割を占めている。「性別」では8割以上が男性、「地域別」では地元（市内や管轄内）からの入校が9割以上を占めている。

【R7年度入校生の属性】



	人数	割合
新規高卒者	149	75.6%
既卒者	48	24.4%
計	197	100.0%

	人数	割合
20歳未満	152	77.2%
20代	26	13.2%
30代	6	3.0%
40代	6	3.0%
50代	5	2.5%
60代	2	1.0%
計	197	100.0%

	人数	割合
男性	165	83.8%
女性	32	16.2%
計	197	100.0%

	人数	割合
市内	127	64.5%
管轄内	61	31.0%
道内	9	4.6%
計	197	100.0%

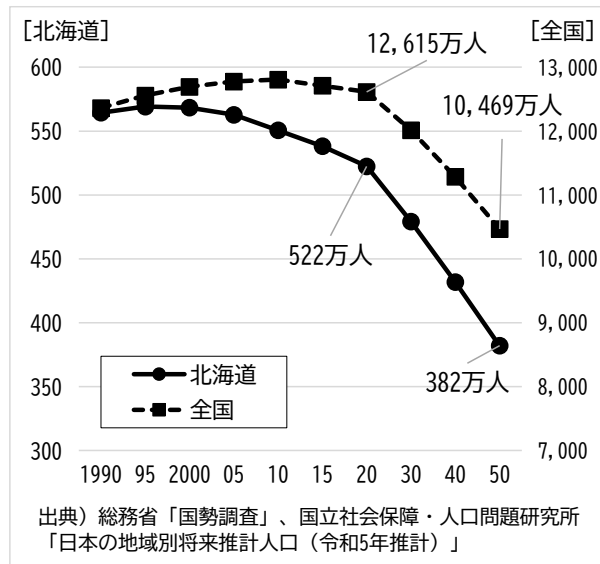
Ⅲ. MONOテクを取り巻く状況

Ⅲ. MONOテクを取り巻く状況

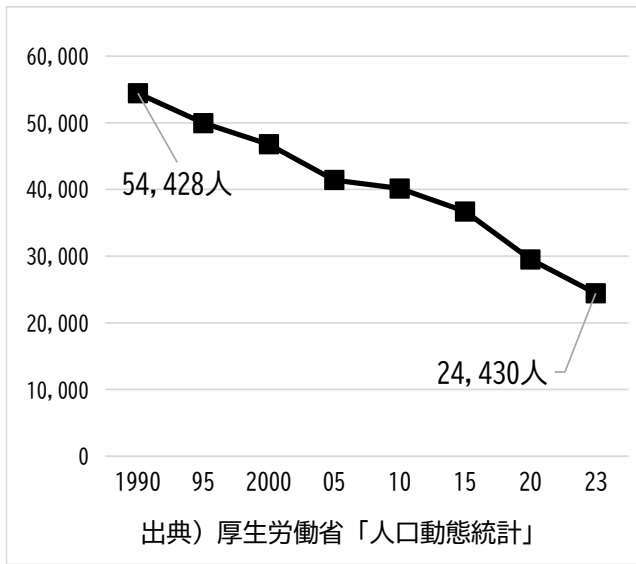
1. 人口の推移

- 道内は少子高齢化が進行しており、全国を上回るスピードで人口減少が続いている。生産年齢人口（15～64歳）の割合も、2050年には50%を下回る見込み。

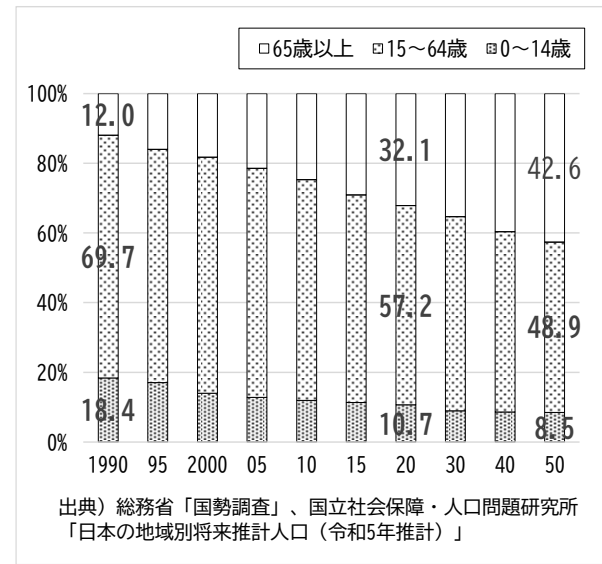
【人口の推移】



【道内の出生数】



【人口の推移（年齢区分別）】



◆道内の人口は、平成9年(1997年)に569万人に達してから減少傾向にあり、令和32年(2050年)の推計人口は382万人と見込まれている。

◆道内の出生者は、平成2年(1990年)の54,428人から、令和5年(2023年)は24,430人に減少。

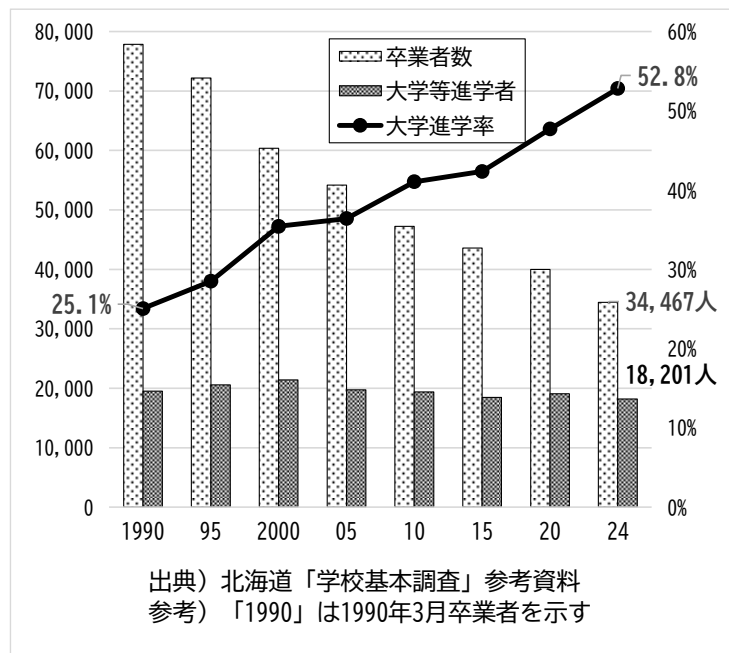
◆年齢区分別で見ると、1990年代後半に、0～14歳（年少人口）と65歳以上（高齢者人口）の構成比が逆転。

Ⅲ. MONOテクを取り巻く状況

2. 新規高卒者の進路

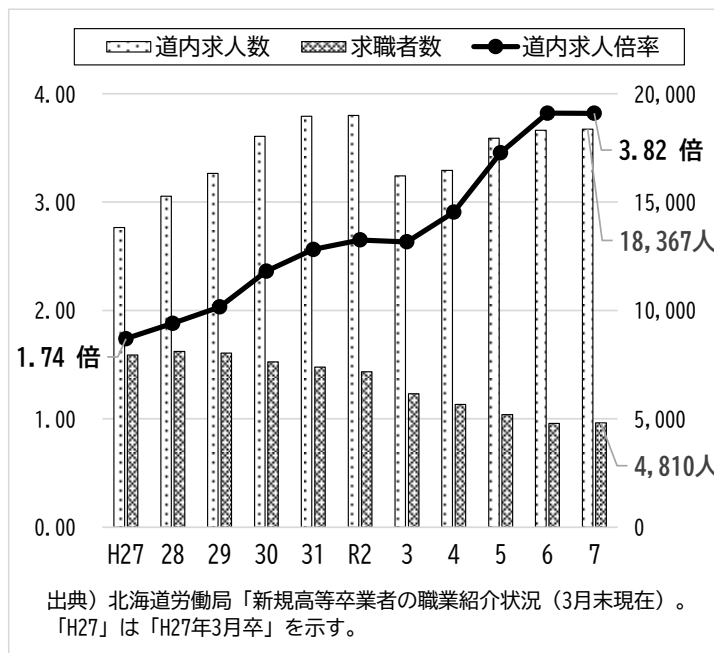
- 大学への進学率、新規高卒者の求人倍率は、近年、上昇・増加傾向にある。
MONOテク入校者の7割以上が新規高卒者（10頁）であるため、こうした傾向が入校者数の減少に影響を与えている。

【大学進学率】



◆2024年(R6年)の大学進学率は52.8%で、1990年(H2年)の25.1%と比べると、大きく上昇している。

【新規高卒者の求人倍率】



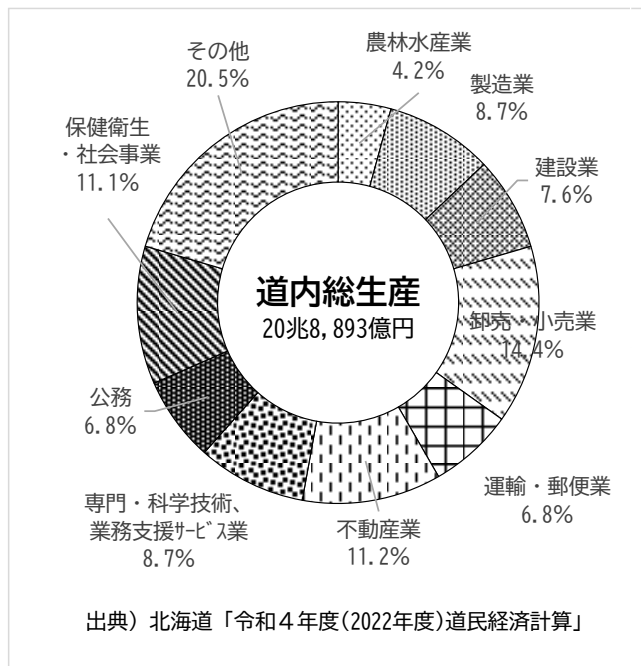
◆新規高卒者の求人倍率は、R7年3月卒業者で3.82倍で、10年前のH27年の1.74倍と比べると、大きく増加している。

Ⅲ. MONOテクを取り巻く状況

3. 道内の産業構造

- MONOテクの職業訓練では、ものづくり関連分野の知識や技能の習得を目指す。
修了生の活躍の場となる「製造業」は、道内総生産のうち8.7%を占め、苫小牧市や札幌市など道央圏が盛ん。

【道内総生産】



◆道内総生産の構成は、

- ・第1次産業（農林水産業）4.2%
- ・第2次産業（鉱業、製造業、建設業）16.4%、
- ・第3次産業（卸売・小売業、サービス業など）77.7%となっている。

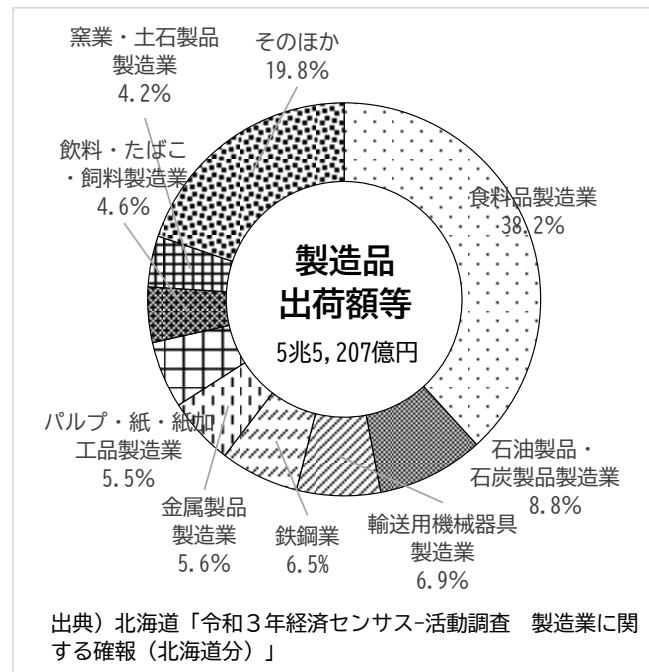
【製造品出荷額等（市町村別）】

順位	市町村名	製造品出荷額等 (百万円)	構成比
1	苫小牧市	1,006,821	18.2%
2	札幌市	578,019	10.5%
3	室蘭市	337,978	6.1%
4	釧路市	234,614	4.2%
5	千歳市	232,714	4.2%
全道計		5,520,754	100.0%

出典) 北海道「令和3年経済センサス-活動調査-活動調査製造業に関する確報（北海道分）」

- ◆道内の製造品出荷額等を市町村別で見ると、苫小牧市が最も多く、次いで、札幌市、室蘭市となっている。

【製造品出荷額等】



◆道内の製造品出荷額等は、産業中分類別の構成比で見ると、

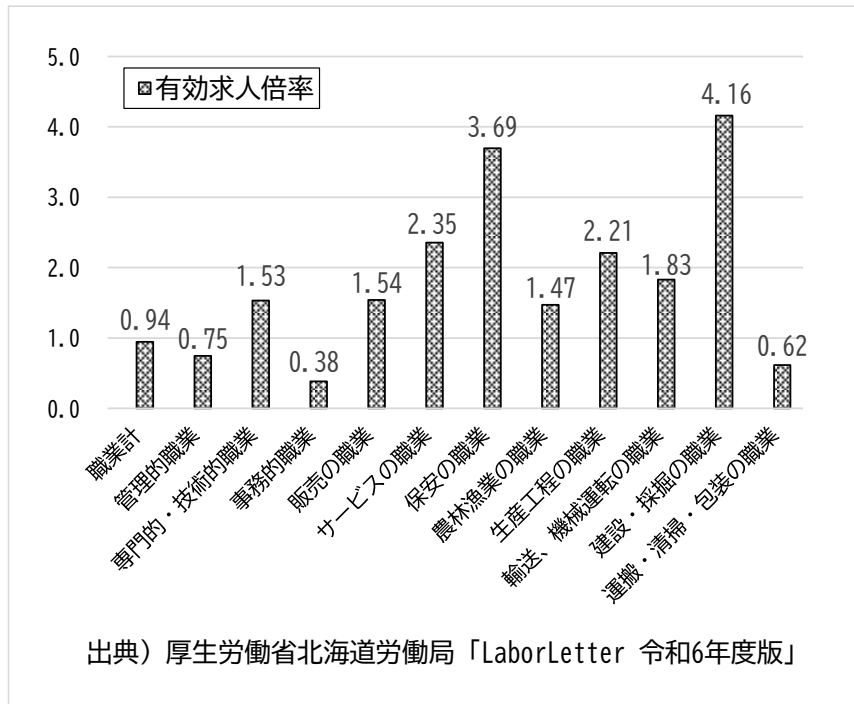
- ・食料品製造業 38.2%
 - ・石油製品・石炭製品製造業 8.8%
 - ・輸送用機械器具製造業 6.9%
- の順になっている。

Ⅲ. MONOテクを取り巻く状況

4. 求人・求職の状況

- 令和6年度の求人・求職の状況は、生産工程の職業2.21倍、建設・採掘の職業4.16倍と高い。一方、事務的職業0.38倍など、職種によって、求人と求職のミスマッチが見られる。

【令和6年度 道内の有効求人倍率】



【同左（詳細）】

区分	有効求人倍率	有効求人数	有効求職者数
職業計	0.94	79,367	84,025
管理的職業	0.75	121	162
専門的・技術的職業	1.53	17,413	11,368
開発・製造技術者	0.88	455	520
建築・土木・測量技術者	5.84	2,833	485
情報処理・通信技術者	0.87	1,047	1,201
医師・薬剤師等	2.21	486	220
看護師・保健師等	1.48	4,233	2,868
医療技術者・栄養士等	1.89	2,262	1,195
保育士・福祉相談員等	2.09	4,999	2,396
事務的職業	0.38	7,659	19,949
販売の職業	1.54	6,991	4,534
サービスの職業	2.35	20,048	8,519
保安の職業	3.69	2,131	577
農林漁業の職業	1.47	1,003	681
生産工程の職業	2.21	6,701	3,036
生産機械制御・監視員	1.59	182	115
金属加工・溶接・溶断工	2.54	813	320
その他の製造加工作業員	1.91	2,905	1,523
機械組立工	1.58	295	187
整備工・修理工	4.60	1,994	434
製品検査工	2.30	172	75
塗装・CADオペレーター	0.89	339	382
輸送・機械運転の職業	1.83	5,512	3,012
建設・採掘の職業	4.16	5,263	1,265
型枠大工、とび工	5.52	931	169
大工・左官	3.41	1,175	345
電気工事、電気配線工	3.37	838	249
建設・土木作業員	4.60	2,303	501
運搬・清掃・包装の職業	0.62	6,525	10,606

出典) 厚生労働省北海道労働局「LaborLetter 令和6年度版」

参考) 有効求職者数は、分類不能等のものが存在するため、職業計と内訳が一致しない

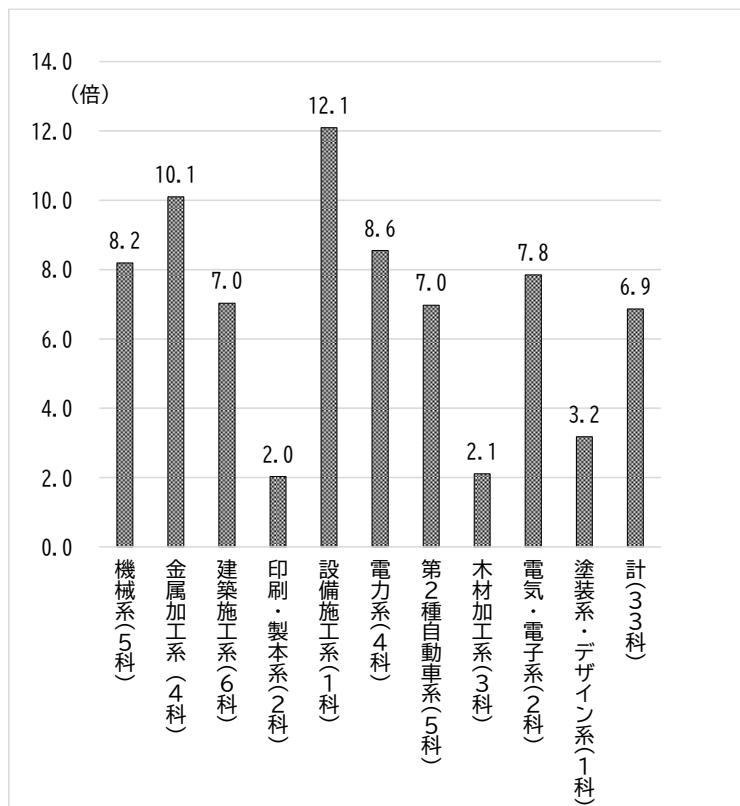
IV. MONOテクの強み

IV. MONOテクの強み

1. 企業からの求人数の多さ

- 企業からMONOテクに対する求人倍率は、6.9倍（R元～6年度平均）。
設備施工系（建築設備科）12.1倍で最も高く、次いで、金属加工系10.1倍、電力系8.6倍の順になっている。

【MONOテクに対する求人倍率（職系別）】



機械系(5科)

	札幌	函館	北見	室蘭	苫小牧	計
就職希望者	56	24	19	28	12	139
求人数	277	289	155	186	232	1,139
求人倍率	4.9	12.0	8.2	6.6	19.3	8.2

金属加工系(4科)

	札幌	室蘭	苫小牧	帯広	計
就職希望者	35	18	6	34	93
求人数	323	180	234	202	939
求人倍率	9.2	10.0	39.0	5.9	10.1

建築施工系(6科)

	札幌	函館	旭川	北見	帯広	釧路	計
就職希望者	66	27	43	29	33	26	224
求人数	343	363	271	209	224	165	1,575
求人倍率	5.2	13.4	6.3	7.2	6.8	6.3	7.0

印刷・製本系(2科)

	札幌	旭川	計
就職希望者	36	55	91
求人数	100	85	185
求人倍率	2.8	1.5	2.0

設備施工系(1科)

	札幌	計
就職希望者	53	53
求人数	641	641
求人倍率	12.1	12.1

電力系(4科)

	北見	苫小牧	帯広	釧路	計
就職希望者	24	22	73	33	152
求人数	240	346	482	232	1,300
求人倍率	10.0	15.7	6.6	7.0	8.6

第2種自動車系(5科)

	函館	旭川	北見	帯広	釧路	計
就職希望者	79	53	54	76	57	319
求人数	525	322	431	487	459	2,224
求人倍率	6.6	6.1	8.0	6.4	8.1	7.0

木材加工系(3科)

	旭川	北見	帯広	計
就職希望者	55	26	47	128
求人数	107	87	76	270
求人倍率	1.9	3.3	1.6	2.1

電気・電子系(2科)

	函館	旭川	計
就職希望者	44	42	86
求人数	407	268	675
求人倍率	9.3	6.4	7.8

塗装系・デザイン系(1科)

	札幌	計
就職希望者	34	34
求人数	108	108
求人倍率	3.2	3.2

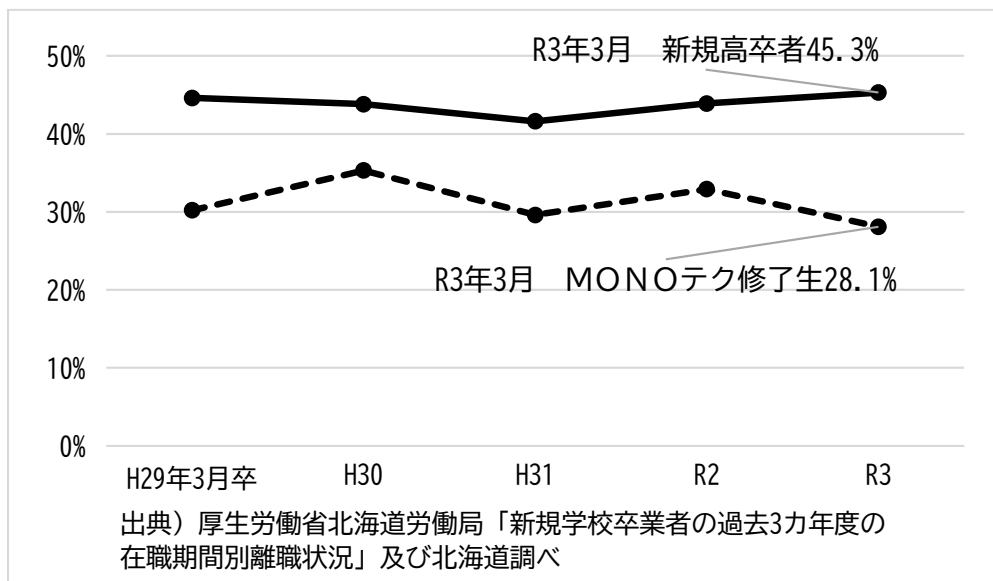
計(33科)

	計
就職希望者	1,319
求人数	9,056
求人倍率	6.9

2. 離職率の低さ

- 就職してから3年後の離職率は、高校卒業者45.3%、MONOテク28.1%（R3年3月卒業・修了者の場合）。H29年3月～R3年3月卒業・修了者に係る離職率では、それぞれ10ポイントほどの開きが見られる。

【離職率の推移】



【離職率の業種別・訓練科別の内訳】

R3年3月 新規高卒者45.3%の内訳

建設業	44.4%
製造業	39.0%
情報通信業	38.6%
運輸業・郵便業	43.6%
卸売・小売業	47.4%
宿泊業、飲食サービス業	64.7%
生活関連サービス業・娯楽業	63.7%
医療・福祉	49.1%
サービス業（他に分類されないもの）	54.7%

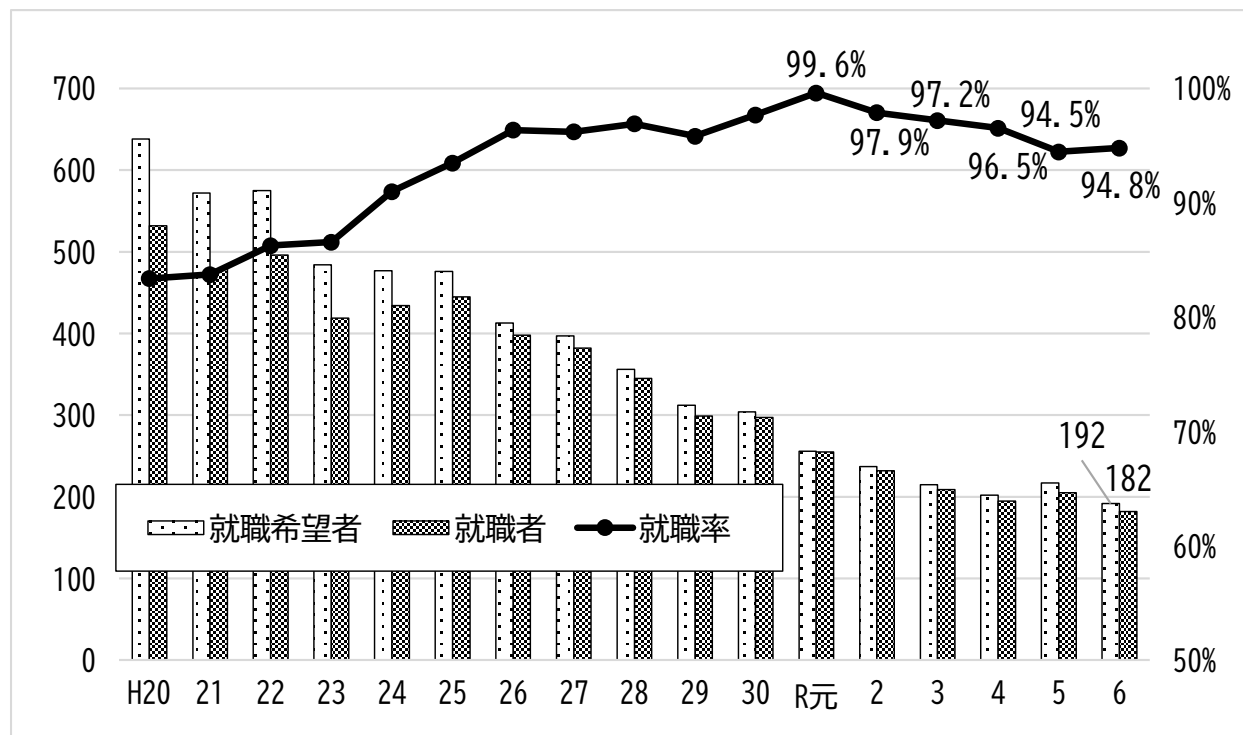
R3年3月 MONOテク修了生28.1%の内訳

機械系	17.4%
金属加工系	42.9%
建築施工系	37.8%
印刷・製本系	14.3%
設備施工系	40.0%
電力系	15.4%
第2種自動車系	34.4%
木材加工系	29.2%
電気・電子系	9.1%
塗装系・デザイン系	20.0%

3. 就職率の高さ

- MONOテク修了生の就職率は、令和元～6年度では94%以上で推移。

【近年の就職率】

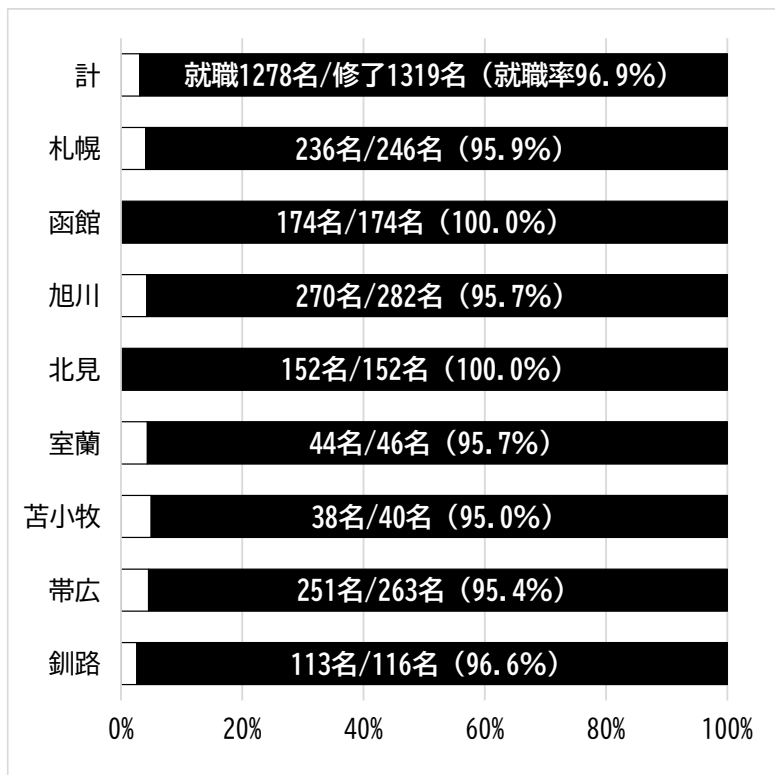


	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6
就職希望者	638	572	575	484	477	476	413	397	356	312	304	256	237	215	202	217	192
就職者	532	479	496	419	434	445	398	382	345	299	297	255	232	209	195	205	182
就職率	83.4%	83.7%	86.3%	86.6%	91.0%	93.5%	96.4%	96.2%	96.9%	95.8%	97.7%	99.6%	97.9%	97.2%	96.5%	94.5%	94.8%

近年の就職率（MONOテク別、職系別）

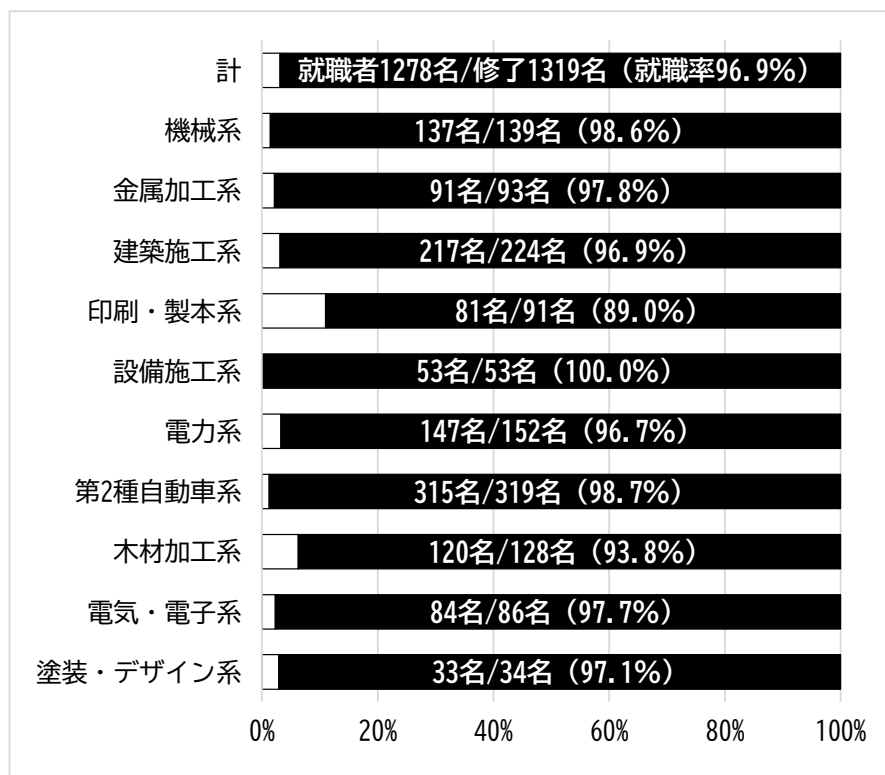
● R元～6年度は、就職希望者1,319名に対して1,278名が就職決定し、就職率は96.9%。

【近年の就職率（MONOテク別）】



◆MONOテク別では、函館と北見が就職率100%となっている。

【近年の就職率（職系別）】



◆職系別では、
 ・設備施工系（建築設備科） 100.0%
 ・第2種自動車系（自動車整備科） 98.7%
 ・機械系（精密機械科、機械技術科） 98.6%
 の順になっている。

4. 企業誘致につながる例

- 2026年、アイラーセン（デンマーク）が旭川市内で高級ソファ工場を開設予定。
MONOテク旭川（造形デザイン科）で家具職人を育成していることが、進出の決め手の一つに。

造形デザイン科

未来のライフスタイルを創造する

2 Years of Learning 2年間の学び

入学 → 1年次 → 2年次 → 修了

主な就職先

- 伊平製作所株式会社
- 藤野製造販売株式会社
- インテリア製造販売株式会社
- 新内自動車株式会社



◆アイラーセン社は、旭川市西神楽で閉校となった小中学校（旧旭川市立千代ヶ岡小学校、同中学校）の跡地に、製造工場を開設予定。

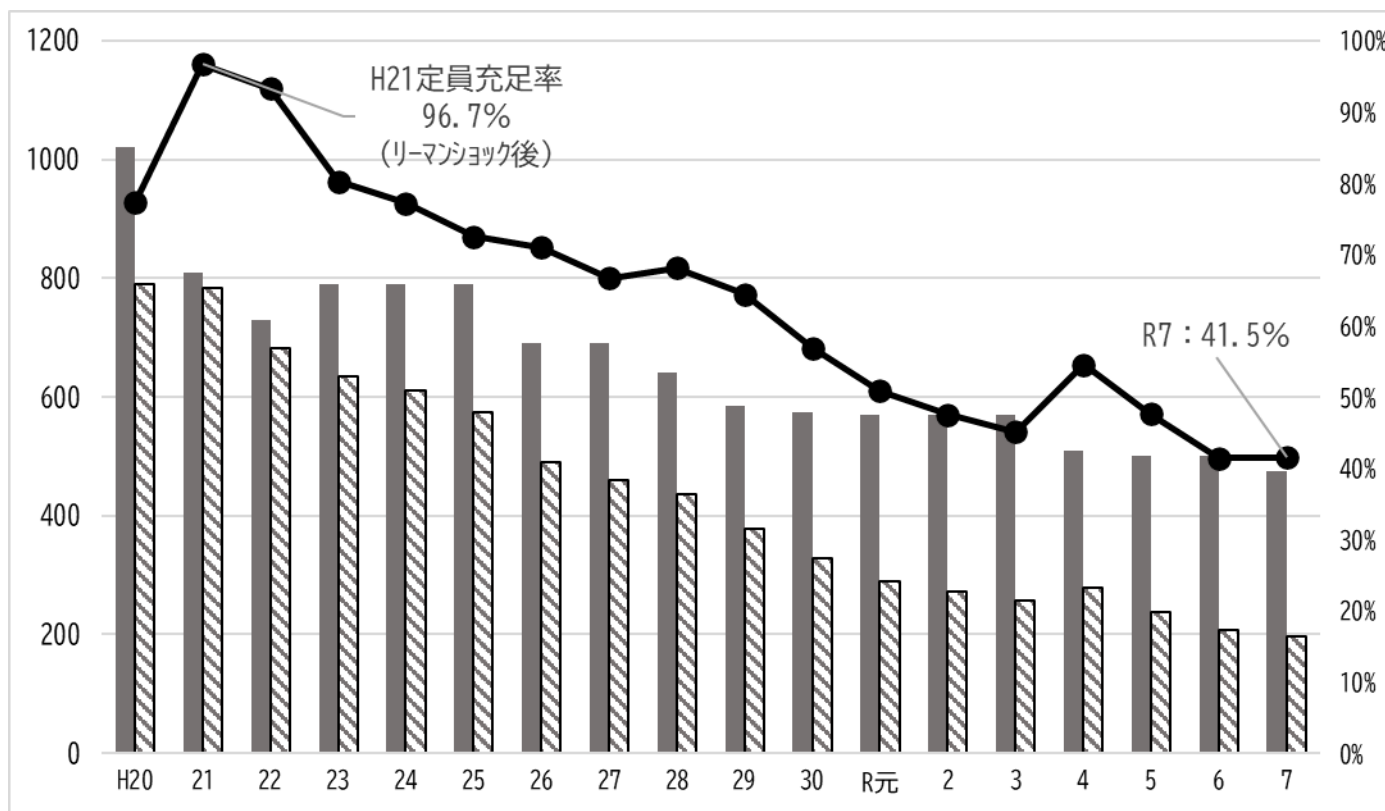
◆MONOテク旭川「造形デザイン科」では木材を素材に、イス・テーブル・本棚などの家具や建具の製作技術を学ぶ。

出典) MONOテク旭川 パンフレット

V. MONOテクの課題

1. 入校者数の減少

- 定員充足率（入校者÷入校定員）は、リーマンショック後のH21年度の96.7%をピークに減少傾向。R7年度の41.5%は前年度比0.1ポイント増であるが、入校定員の削減によるもので、入校者数は前年度比10人減の197人。



	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7
入校定員	1020	810	730	790	790	790	690	690	640	585	575	570	570	570	510	500	500	475
入校者	789	783	681	634	610	573	490	460	436	377	327	290	271	257	278	238	207	197
定員充足率	77.4%	96.7%	93.3%	80.3%	77.2%	72.5%	71.0%	66.7%	68.1%	64.4%	56.9%	50.9%	47.5%	45.1%	54.5%	47.6%	41.4%	41.5%

入校状況と入校定員

- MONOテクの入校定員は、入校者数が3年連続して入校定員の1/2以下となる場合に、見直しを行っている。さらに、一定の条件に該当する場合には「改廃を含めた検討」の対象となっている。

【入校定員の見直し】

H30年度575名から、R7年度475名に削減（▲100名の削減）。

	入校定員			内訳 (定員減になった訓練科)
	H30	R7	増減	
札幌	100	70	▲30	精密機械科▲10、金属加工科▲10、電子印刷科▲10
函館	70	60	▲10	機械技術科▲10
旭川	120	110	▲10	建築技術科▲5、色彩デザイン科▲5
北見	75	60	▲15	電気工学科▲5、造形デザイン科▲5、機械技術科▲5
室蘭	30	20	▲10	金属加工科▲5、精密機械科▲5
苫小牧	30	30		
帯広	100	80	▲20	建築技術科▲5、造形デザイン科▲5、金属加工科▲10
釧路	50	45	▲5	電気工学科▲5
計	575	475	▲100	

【「改廃を含めた検討」の対象となる訓練科】

入校定員が最小の10名で、入校者数が3年連続して入校定員の1/2以下の場合は「改廃を含めた検討」の対象。下表の6科が該当。

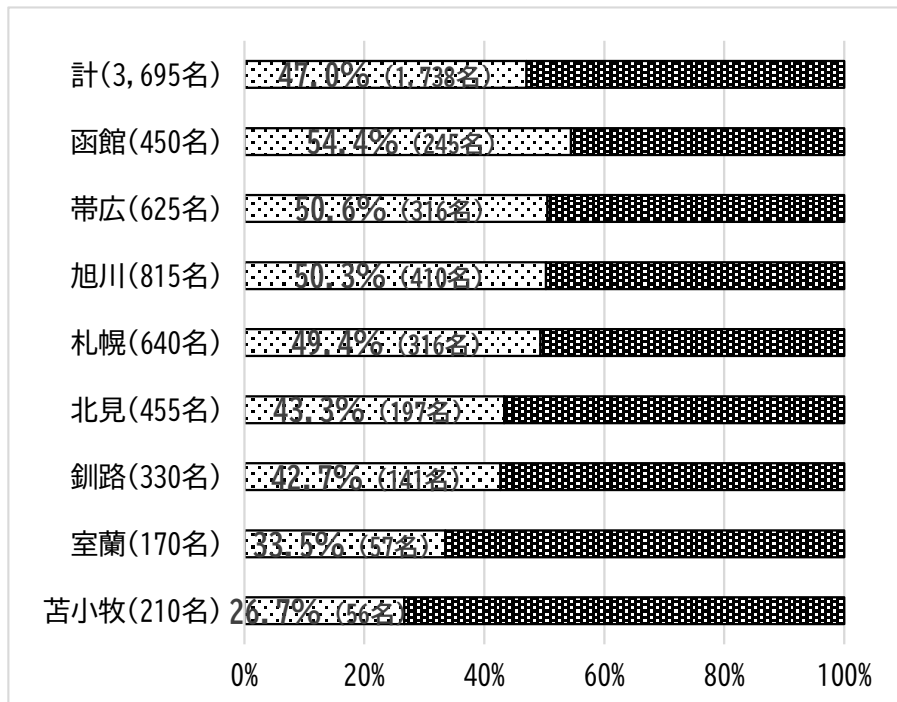
MONOテク	訓練科	入校状況 (1/2以下)	入校者数									
			H29	30	R元	2	3	4	5	6	7	平均
苫小牧	金属加工科	9年連続	5 / 10	3 / 10	1 / 10	1 / 10	2 / 10	3 / 10	1 / 10	2 / 10	2 / 10	2.2
苫小牧	精密機械科	9年連続	4 / 10	5 / 10	2 / 10	2 / 10	5 / 10	1 / 10	1 / 10	1 / 10	3 / 10	2.7
北見	建築技術科	4年連続	3 / 10	4 / 10	10 / 10	10 / 10	6 / 10	4 / 10	2 / 10	2 / 10	2 / 10	4.8
北見	造形デザイン科	3年連続	4 / 15	7 / 15	9 / 15	5 / 15	2 / 15	4 / 15	3 / 10	5 / 10	4 / 10	4.8
苫小牧	電気工学科	3年連続	8 / 10	7 / 10	5 / 10	2 / 10	4 / 10	9 / 10	2 / 10	4 / 10	3 / 10	4.9
帯広	金属加工科	3年連続	18 / 20	9 / 20	5 / 20	9 / 20	0 / 20	9 / 10	5 / 10	5 / 10	0 / 10	6.7

※表は、入校者/入校定員、を示している

MONOテク別に見た定員充足率

- R元～7年度の定員充足率を平均すると、47.0%。
MONOテク別では、苫小牧26.7%で入校定員の約1/4、室蘭33.5%で入校定員の約1/3の入校状況となっている。

【MONOテク別の定員充足率】



参考) グラフで縦軸のカッコは入校定員数 (R元～7年度合計)、
グラフ中のカッコは入校者数 (R元～7年度合計)

【左記グラフの内訳】

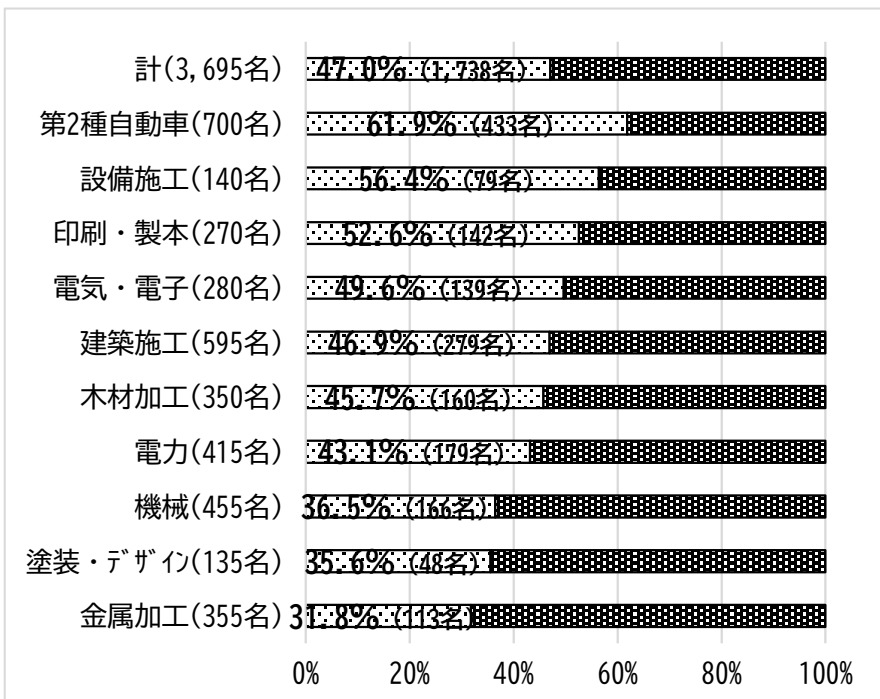
	R元	2	3	4	5	6	7	計	
札幌	精密機械	11 / 20	19 / 20	11 / 20	4 / 20	8 / 20	6 / 20	5 / 10	64 / 130
	金属加工	9 / 20	10 / 20	4 / 20	4 / 10	5 / 10	7 / 10	1 / 10	40 / 100
	建築技術	9 / 20	17 / 20	11 / 20	13 / 20	14 / 20	5 / 20	5 / 20	74 / 140
	電子印刷	11 / 20	10 / 20	12 / 20	7 / 20	8 / 20	6 / 20	5 / 10	59 / 130
	建築設備	11 / 20	14 / 20	8 / 20	13 / 20	10 / 20	8 / 20	15 / 20	79 / 140
計	51 / 100	70 / 100	46 / 100	41 / 90	45 / 90	32 / 90	31 / 70	316 / 640	
函館	自動車整備	18 / 20	13 / 20	15 / 20	16 / 20	17 / 20	13 / 20	11 / 20	103 / 140
	システム制御技術	9 / 20	9 / 20	13 / 20	10 / 20	9 / 20	11 / 20	10 / 20	71 / 140
	機械技術	9 / 20	4 / 20	4 / 20	6 / 10	6 / 10	2 / 10	2 / 10	33 / 100
計	43 / 70	31 / 70	40 / 70	33 / 60	41 / 60	30 / 60	27 / 60	245 / 450	
旭川	建築技術	7 / 20	4 / 20	6 / 20	14 / 15	9 / 15	12 / 15	7 / 15	59 / 120
	システム制御技術	9 / 20	7 / 20	11 / 20	14 / 20	6 / 20	15 / 20	6 / 20	68 / 140
	自動車整備	11 / 20	10 / 20	15 / 20	15 / 20	8 / 20	9 / 20	16 / 20	84 / 140
	印刷デザイン	18 / 20	6 / 20	14 / 20	11 / 20	9 / 20	8 / 20	17 / 20	83 / 140
	造形デザイン	15 / 20	12 / 20	10 / 20	13 / 20	7 / 20	4 / 20	7 / 20	68 / 140
	色彩デザイン	5 / 20	8 / 20	11 / 20	9 / 20	4 / 20	9 / 20	2 / 15	48 / 135
	計	65 / 120	47 / 120	67 / 120	76 / 115	43 / 115	57 / 115	55 / 110	410 / 815
北見	電気工学	6 / 15	3 / 15	4 / 15	4 / 15	8 / 10	3 / 10	2 / 10	30 / 85
	自動車整備	8 / 20	12 / 20	14 / 20	13 / 20	7 / 20	8 / 20	12 / 20	74 / 140
	造形デザイン	9 / 15	5 / 15	2 / 15	4 / 15	3 / 10	5 / 10	4 / 10	32 / 90
	建築技術	10 / 10	10 / 10	6 / 10	4 / 10	2 / 10	2 / 10	2 / 10	36 / 70
	機械技術(※)	2 / 10	4 / 10	4 / 10	1 / 10	6 / 10	3 / 10	5 / 10	25 / 70
計	35 / 70	34 / 70	30 / 70	26 / 65	26 / 60	21 / 60	25 / 60	197 / 455	
室蘭	金属加工	1 / 15	4 / 15	7 / 15	4 / 10	7 / 10	4 / 10	1 / 10	28 / 85
	精密機械	5 / 15	5 / 15	6 / 15	4 / 10	7 / 10	1 / 10	1 / 10	29 / 85
計	6 / 30	9 / 30	13 / 30	8 / 20	14 / 20	5 / 20	2 / 20	57 / 170	
苫小牧	金属加工	1 / 10	1 / 10	2 / 10	3 / 10	1 / 10	2 / 10	2 / 10	12 / 70
	精密機械	2 / 10	2 / 10	5 / 10	1 / 10	1 / 10	1 / 10	3 / 10	15 / 70
	電気工事	5 / 10	2 / 10	4 / 10	9 / 10	2 / 10	4 / 10	3 / 10	29 / 70
	計	8 / 30	5 / 30	11 / 30	13 / 30	4 / 30	7 / 30	8 / 30	56 / 210
帯広	建築技術	12 / 20	6 / 20	3 / 20	5 / 20	4 / 15	10 / 15	2 / 15	42 / 125
	電気工学	13 / 20	17 / 20	10 / 20	13 / 20	8 / 20	5 / 20	8 / 20	74 / 140
	造形デザイン	9 / 20	5 / 20	10 / 20	10 / 15	15 / 15	6 / 15	5 / 15	60 / 120
	金属加工	5 / 20	9 / 20	0 / 20	9 / 10	5 / 10	5 / 10	0 / 10	33 / 100
	自動車整備	20 / 20	15 / 20	10 / 20	16 / 20	15 / 20	15 / 20	16 / 20	107 / 140
計	59 / 100	52 / 100	33 / 100	53 / 85	47 / 80	41 / 80	31 / 80	316 / 625	
釧路	電気工学	7 / 20	5 / 20	6 / 20	11 / 15	4 / 15	6 / 15	7 / 15	46 / 120
	建築技術	6 / 10	7 / 10	5 / 10	4 / 10	6 / 10	1 / 10	1 / 10	30 / 70
	自動車整備	10 / 20	11 / 20	6 / 20	13 / 20	8 / 20	7 / 20	10 / 20	65 / 140
計	23 / 50	23 / 50	17 / 50	28 / 45	18 / 45	14 / 45	18 / 45	141 / 330	
合計	290 / 570	271 / 570	257 / 570	278 / 510	238 / 500	207 / 500	197 / 475	1738 / 3695	

参考) 北見「機械技術科」は、R元年度まで「電子機械科」

訓練科別に見た定員充足率

- 定員充足率のR元～7年度平均では、第2種自動車系（自動車整備科）61.9%が最も高い。
一方、金属加工系31.8%、塗装・デザイン（色彩デザイン科）35.6%と、訓練科別では定員充足率に差が見られる。

【訓練科別の定員充足率】



参考) グラフで縦軸のカッコは入校定員数 (R元～7年度合計)、
グラフ中のカッコは入校者数 (R元～7年度合計)

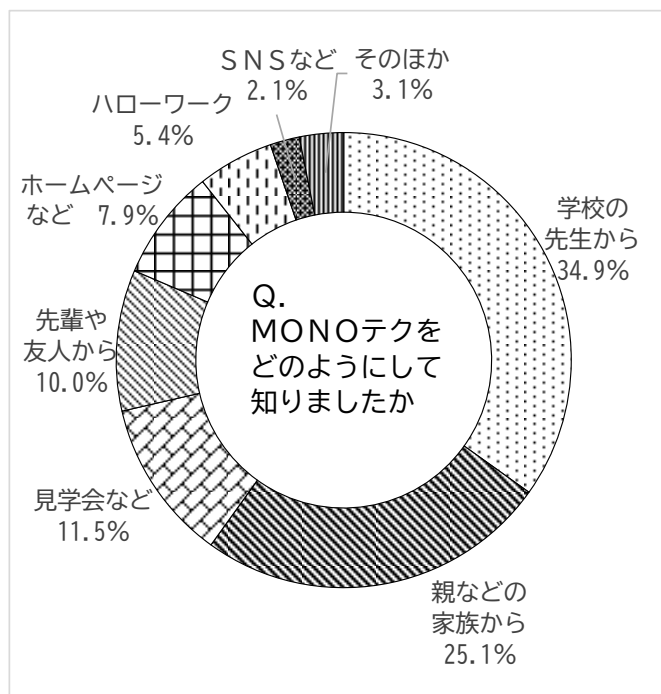
【左記グラフの内訳】

	R元	2	3	4	5	6	7	計	
機械	札幌	11 / 20	19 / 20	11 / 20	4 / 20	8 / 20	6 / 20	5 / 10	64 / 130
	函館	9 / 20	4 / 20	4 / 20	6 / 10	6 / 10	2 / 10	2 / 10	33 / 100
	北見	2 / 10	4 / 10	4 / 10	1 / 10	6 / 10	3 / 10	5 / 10	25 / 70
	室蘭	5 / 15	5 / 15	6 / 15	4 / 10	7 / 10	1 / 10	1 / 10	29 / 85
	苫小牧	2 / 10	2 / 10	5 / 10	1 / 10	1 / 10	1 / 10	3 / 10	15 / 70
計	29 / 75	34 / 75	30 / 75	16 / 60	28 / 60	13 / 60	16 / 50	166 / 455	
金属加工	札幌	9 / 20	10 / 20	4 / 20	4 / 10	5 / 10	7 / 10	1 / 10	40 / 100
	室蘭	1 / 15	4 / 15	7 / 15	4 / 10	7 / 10	4 / 10	1 / 10	28 / 85
	苫小牧	1 / 10	1 / 10	2 / 10	3 / 10	1 / 10	2 / 10	2 / 10	12 / 70
	帯広	5 / 20	9 / 20	0 / 20	9 / 10	5 / 10	5 / 10	0 / 10	33 / 100
	計	16 / 65	24 / 65	13 / 65	20 / 40	18 / 40	18 / 40	4 / 40	113 / 355
建築施工	札幌	9 / 20	17 / 20	11 / 20	13 / 20	14 / 20	5 / 20	5 / 20	74 / 140
	函館	7 / 10	5 / 10	8 / 10	1 / 10	9 / 10	4 / 10	4 / 10	38 / 70
	旭川	7 / 20	4 / 20	6 / 20	14 / 15	9 / 15	12 / 15	7 / 15	59 / 120
	北見	10 / 10	10 / 10	6 / 10	4 / 10	2 / 10	2 / 10	2 / 10	36 / 70
	帯広	12 / 20	6 / 20	3 / 20	5 / 20	4 / 15	10 / 15	2 / 15	42 / 125
	釧路	6 / 10	7 / 10	5 / 10	4 / 10	6 / 10	1 / 10	1 / 10	30 / 70
	計	51 / 90	49 / 90	39 / 90	41 / 85	44 / 80	34 / 80	21 / 80	279 / 595
印刷・製本	札幌	11 / 20	10 / 20	12 / 20	7 / 20	8 / 20	6 / 20	5 / 10	59 / 130
	旭川	18 / 20	6 / 20	14 / 20	11 / 20	9 / 20	8 / 20	17 / 20	83 / 140
	計	29 / 40	16 / 40	26 / 40	18 / 40	17 / 40	14 / 40	22 / 30	142 / 270
設備施工	札幌	11 / 20	14 / 20	8 / 20	13 / 20	10 / 20	8 / 20	15 / 20	79 / 140
	北見	6 / 15	3 / 15	4 / 15	4 / 10	8 / 10	3 / 10	2 / 10	30 / 85
	苫小牧	5 / 10	2 / 10	4 / 10	9 / 10	2 / 10	4 / 10	3 / 10	29 / 70
	帯広	13 / 20	17 / 20	10 / 20	13 / 20	8 / 20	5 / 20	8 / 20	74 / 140
	釧路	7 / 20	5 / 20	6 / 20	11 / 15	4 / 15	6 / 15	7 / 15	46 / 120
計	31 / 65	27 / 65	24 / 65	37 / 55	22 / 55	18 / 55	20 / 55	179 / 415	
第2種自動車	函館	18 / 20	13 / 20	15 / 20	16 / 20	17 / 20	13 / 20	11 / 20	103 / 140
	旭川	11 / 20	10 / 20	15 / 20	15 / 20	8 / 20	9 / 20	16 / 20	84 / 140
	北見	8 / 20	12 / 20	14 / 20	13 / 20	7 / 20	8 / 20	12 / 20	74 / 140
	帯広	20 / 20	15 / 20	10 / 20	16 / 20	15 / 20	15 / 20	16 / 20	107 / 140
	釧路	10 / 20	11 / 20	6 / 20	13 / 20	8 / 20	7 / 20	10 / 20	65 / 140
	計	67 / 100	61 / 100	60 / 100	73 / 100	55 / 100	52 / 100	65 / 100	433 / 700
	木材加工	旭川	15 / 20	12 / 20	10 / 20	13 / 20	7 / 20	4 / 20	7 / 20
北見	9 / 15	5 / 15	2 / 15	4 / 15	3 / 10	5 / 10	4 / 10	32 / 90	
帯広	9 / 20	5 / 20	10 / 20	10 / 15	15 / 15	6 / 15	5 / 15	60 / 120	
計	33 / 55	22 / 55	22 / 55	27 / 50	25 / 45	15 / 45	16 / 45	160 / 350	
電気・電子	函館	9 / 20	9 / 20	13 / 20	10 / 20	9 / 20	11 / 20	10 / 20	71 / 140
	旭川	9 / 20	7 / 20	11 / 20	14 / 20	6 / 20	15 / 20	6 / 20	68 / 140
	計	18 / 40	16 / 40	24 / 40	24 / 40	15 / 40	26 / 40	16 / 40	139 / 280
塗装・デザイン	旭川	5 / 20	8 / 20	11 / 20	9 / 20	4 / 20	9 / 20	2 / 15	48 / 135
	合計	290 / 570	271 / 570	257 / 570	278 / 510	238 / 500	207 / 500	197 / 475	1738 / 3695

2. 認知度の低さ

- MONOテク訓練生がMONOテクを知った経緯は、身近な人たちからの「人づて」が多い。「SNSやホームページから知った」とする割合は、1割未満と低い。

【訓練生におけるMONOテクの認知度】



回答	R7		R6 (参考)	
	回答数	割合	回答数	割合
学校の先生から聞いて知った	167	34.9%	182	32.1%
親などの家族から聞いて知った	120	25.1%	146	25.7%
見学会などで訪問したことがあり知った	55	11.5%	67	11.8%
先輩や友人から聞いて知った	48	10.0%	56	9.9%
ホームページなどで知った	38	7.9%	49	8.6%
ハローワークからの紹介で知った	26	5.4%	41	7.2%
SNSなどで知った	10	2.1%	13	2.3%
その他	15	3.1%	13	2.3%
計	479	100.0%	567	100.0%

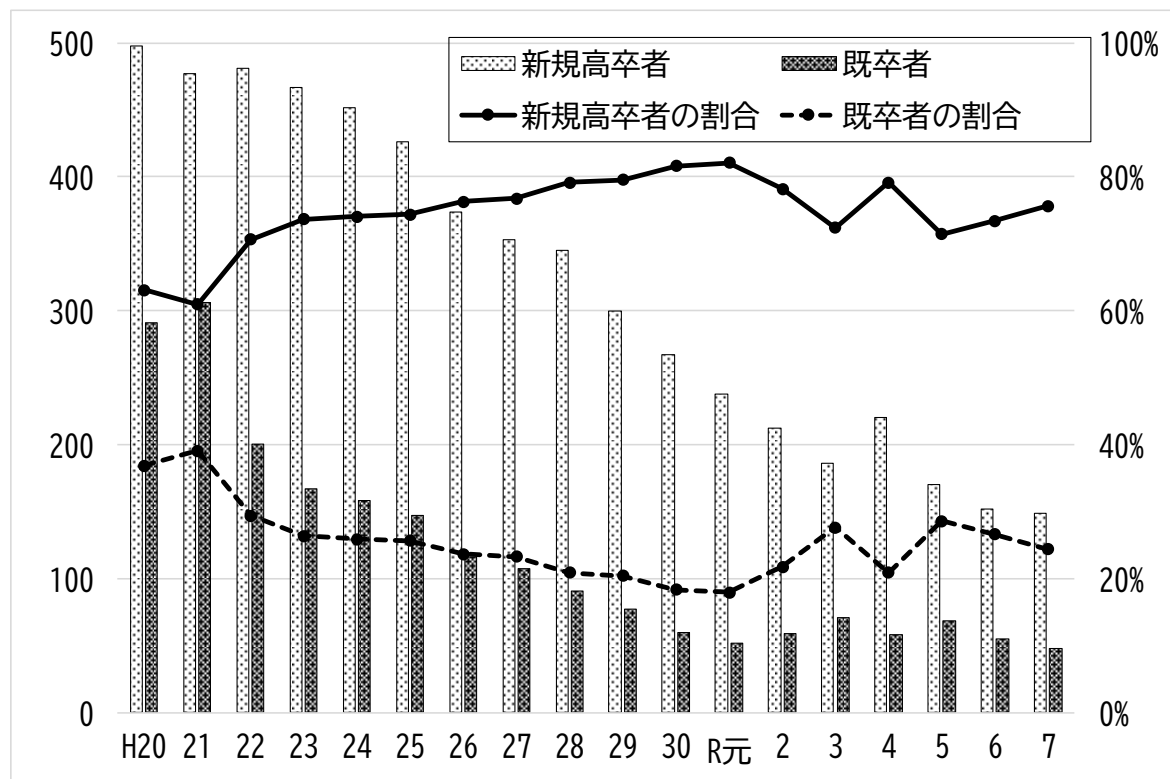
※有効回答者数（1年・2年の計）は、R7：339人、R6：389人。複数回答可

◆例年、MONOテク訓練生を対象に、MONOテクを受けた動機、訓練内容への満足度などに関するアンケートを実施。上記内容は、R7年度の実施結果をまとめたもの。「人づて」計69.9%（先生34.9%、家族25.1%、先輩や友人10.0%）で最も多く、「SNSやホームページ」は10.0%。

3. 入校者のうち新規高卒者が占める割合の高さ

- 今後、少子化の進行によって新規高卒者は減少する見込み。
一方、MONOテクの入校者のうち7割以上は新規高卒者であるため、今後は、既卒者の入校促進が必要。

【入校者のうち既卒者の割合】



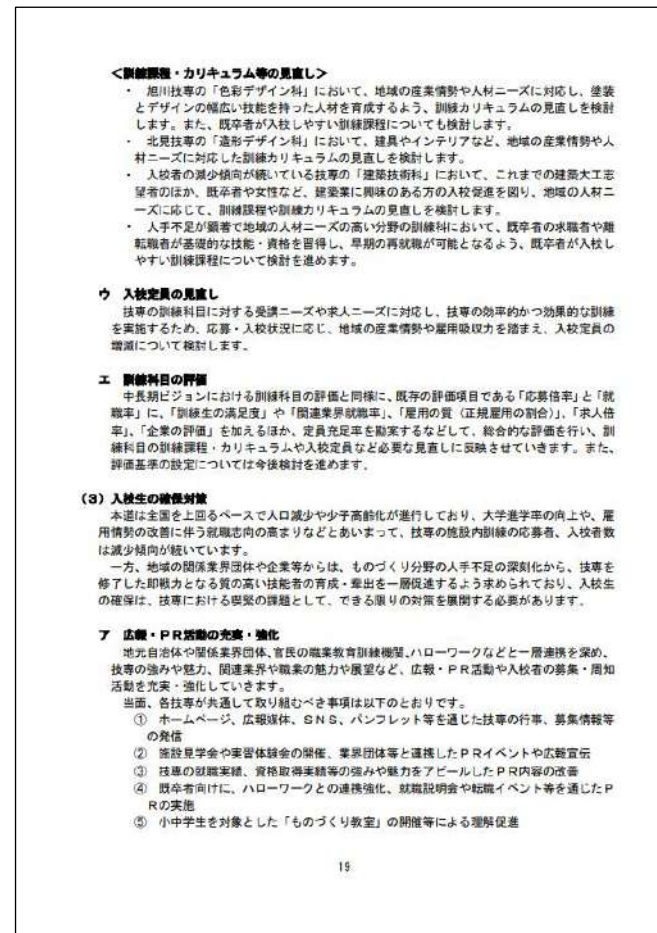
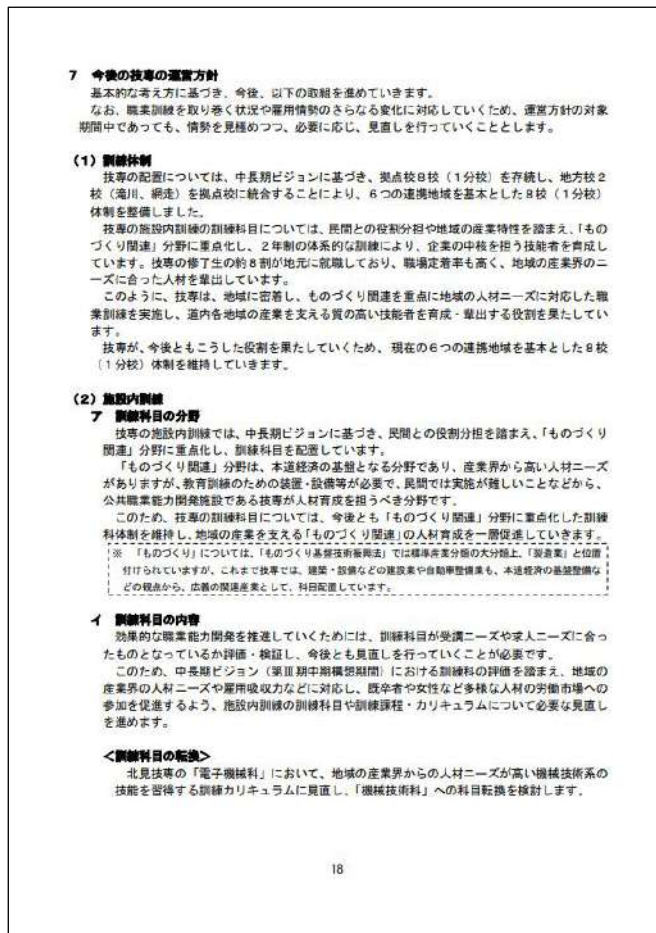
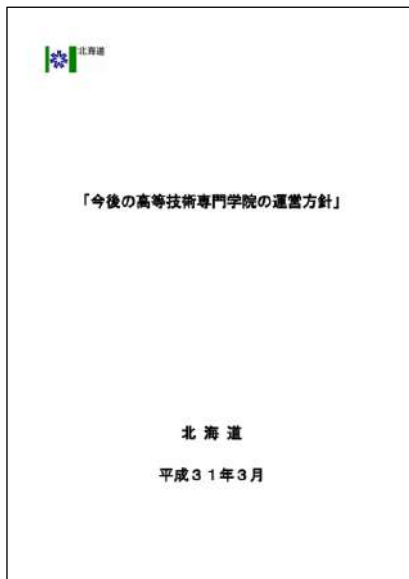
	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7
新規高卒者	498	477	481	467	452	426	374	353	345	300	267	238	212	186	220	170	152	149
既卒者	291	306	200	167	158	147	116	107	91	77	60	52	59	71	58	68	55	48
計（入校者）	789	783	681	634	610	573	490	460	436	377	327	290	271	257	278	238	207	197
新規高卒者の割合	63.1%	60.9%	70.6%	73.7%	74.1%	74.3%	76.3%	76.7%	79.1%	79.6%	81.7%	82.1%	78.2%	72.4%	79.1%	71.4%	73.4%	75.6%
既卒者の割合	36.9%	39.1%	29.4%	26.3%	25.9%	25.7%	23.7%	23.3%	20.9%	20.4%	18.3%	17.9%	21.8%	27.6%	20.9%	28.6%	26.6%	24.4%

VI. H31年3月策定「運営方針」の点検・評価

1. 概要

- 平成31年3月策定「今後の高等技術専門学院の運営方針」に基づく、令和7年度までの取組の実績等を点検・評価する。

【運営方針】



◆点検・評価の対象は、運営方針の「7 今後の技専の運営方針」に記載の「(1)訓練体制、(2)施設内訓練、(3)入校生の確保対策」など。

2. 地域の関係業界からの意見

- 運営方針に基づく取組の点検・評価を行うにあたり、地域の関係業界から意見を聞き取りを実施。

■主な意見

<採用した修了生について>

- 【印刷・製本系】印刷の前工程部分（プリプレス）は専門学校等でも可能。印刷機械の操作保守はMONOテクのみなので、貴重な存在。
- 【第2種自動車系】普通高校から採用し、2級整備士になるまで、時間をかけて育成している。整備士の資格を持って入社する、MONOテク修了生は貴重。
- 【木材加工系】技能五輪全国大会で、MONOテク旭川の訓練生（就職内定者）が受賞。しっかり訓練してくれた結果で大変ありがたい。
- 【電気・電子系】MONOテクの訓練生は真面目で地味だが、しっかりやってくれている。
- 【塗装系・デザイン系】未経験者が一人前になるまで、3～5年かかる。MONOテク修了者は、その期間が短い。

<MONOテクについて>

- 【機械系】人手不足のため工業高校だけでなく、商業高校、水産高校にも声をかけている。MONOテクからも修了生をいただいて感謝。
- 【金属加工系】MONOテクで学んで入社して欲しいので、無くなるのはやめてほしい。
- 【建築施工系】入校者数が厳しいのは承知。が、科目廃止にならないようにしてもらいたい。
- 【電力系】MONOテク訓練生を業界に就職してもらいたい気持ちは高い。
- 【第2種自動車系】札幌に進学すると札幌で就職し、地元に戻ってこない。MONOテク函館の存続はお願いしたい。
- 【木材加工系】普通高校等からの新卒は採用していない。MONOテク造形デザイン科がなくなるのだけは、止めてもらいたい。

■時期

令和5年7月～12月

■対象

MONOテクが所在する市町村内の関係業界（札幌市、函館市、旭川市、北見市、室蘭市、苫小牧市、帯広市、釧路市など）

■方法

現地訪問による聞き取り

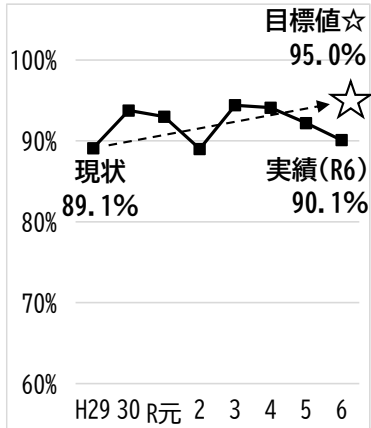


※その他の意見は、「IX. 参考資料」を参照

3. 運営方針（H31年3月策定）の目標指標の達成状況

- 運営方針では、3つの「基本的な考え方」に沿った取組を進めるにあたり、4つの目標指標を設定。
4つの目標指標のうち目標値を達成したのは「能力開発セミナー（在職者訓練）受講者の満足度」のみ。

<施設内訓練> 修了生の関連業界就職率



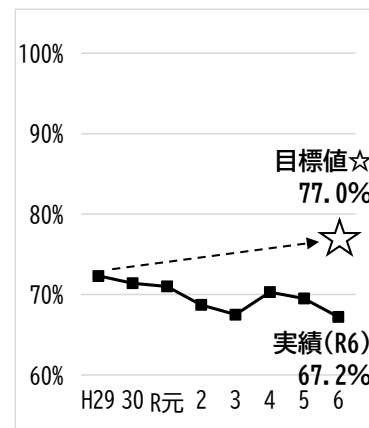
現状 89.1% (H29年度)
目標値 95.0% (R7年度)
実績 90.1% (R7年3月修了生)

※目標値
過去10年間における最大値（H26年度：
94.5%）以上を目指す

実績（推移）

	H29	30	R元	2	3	4	5	6
実績	89.1%	93.8%	93.0%	89.0%	94.4%	94.1%	92.2%	90.1%

<委託訓練> 修了生の就職率



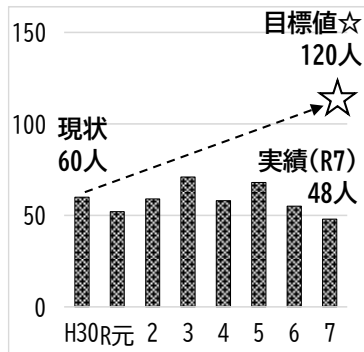
現状 72.3% (H29年度)
目標値 77.0% (R7年度)
実績 67.2% (R6年度)

※目標値
第10次北海道職業能力開発計画（H28～R2
年度）に準拠。都道府県のH27実績（平均
77%）から

実績（推移）

	H29	30	R元	2	3	4	5	6
実績	72.3%	71.4%	71.0%	68.7%	67.5%	70.3%	69.5%	67.2%

<施設内訓練> 既卒者の入校者数



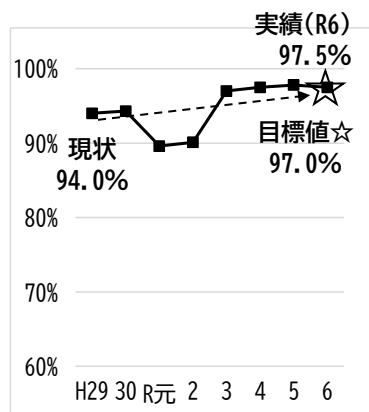
現状 60人 (H30年度)
目標値 120人 (R7年度)
実績 48人 (R7年4月入校生)

※目標値
H30年度実績の倍増を図る

実績（推移）

	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
既卒者	60	52	59	71	58	68	55	48
入校者	327	290	271	257	278	238	207	197
既卒者の割合	18.3%	17.9%	21.8%	27.6%	20.9%	28.6%	26.6%	24.4%

<在職者訓練> 受講者の満足度



現状 94.0% (H29年度)
目標値 97.0% (R7年度)
実績 97.5% (R6年度)

※目標値
第10次北海道職業能力開発計画（H28～R2
年度）に準拠。H25年度96.4%から

実績（推移）

	H29	30	R元	2	3	4	5	6
実績	94.0%	94.3%	89.6%	90.1%	97.0%	97.5%	97.8%	97.5%

(1) 訓練体制

運営方針（H31年3月策定）

◆高等技術専門学院は、職業能力開発促進法に基づき、道が設置・運営する「職業能力開発施設」。

◆6つの連携地域を基本とした8校（1分校）体制で、「ものづくり関連」分野に重点化。今後も、道内各地域の産業を支える質の高い技能者を育成・輩出する役割を果たすため、8校（1分校）体制を維持。

運営方針の「点検・評価」

<点検>

●MONOテクは、令和7年度現在、8校1分校体制を維持。

<評価>

●MONOテクは、「道内各地域の産業を支える質の高い技能者の育成・輩出」という役割を果たしているが、入校者の減少が続き、地域の求人数に支えられていない。

●業界団体や企業から「優秀な人材輩出はありがたい」、高等学校から「生徒を訓練し、就職に結びつけてくれて、感謝」との評価がある。

●取り巻く状況（新規高卒者の減少、地元産業界からのニーズなど）を踏まえ、入校促進策や今後の担うべき役割など、中長期的な視野に立った検討が必要。

【MONOテク（8校1分校）】

道央

MONOテク札幌

（札幌高等技術専門学院）

- ・精密機械科
- ・金属加工科
- ・電子印刷科
- ・建築技術科
- ・建築設備科

道南

MONOテク函館

（函館高等技術専門学院）

- ・自動車整備科
- ・システム制御技術科
- ・機械技術科
- ・建築技術科

道北

MONOテク旭川

（旭川高等技術専門学院）

- ・建築技術科
- ・システム制御技術科
- ・自動車整備科
- ・印刷デザイン科
- ・造形デザイン科
- ・色彩デザイン科

オホーツク

MONOテク北見

（北見高等技術専門学院）

- ・電気工学科
- ・自動車整備科
- ・造形デザイン科
- ・建築技術科
- ・機械技術科

道央

MONOテク室蘭

（室蘭高等技術専門学院）

- ・金属加工科
- ・精密機械科

道央

MONOテク苫小牧

（苫小牧高等技術専門学院）

- ・金属加工科
- ・精密機械科
- ・電気工学科

十勝

MONOテク帯広

（帯広高等技術専門学院）

- ・建築技術科
- ・電気工学科
- ・造形デザイン科
- ・金属加工科
- ・自動車整備科

釧路・根室

MONOテク釧路

（釧路高等技術専門学院）

- ・電気工学科
- ・建築技術科
- ・自動車整備科

(2) 施設内訓練（訓練科目の分野）

運営方針（H31年3月策定）

◆「ものづくり関連」分野は、本道経済の基盤となる分野で、産業界から高い人材ニーズあり。

◆教育訓練のためには、装置・設備等が必要で、民間では実施が難しいこと等から、技専がその人材育成を担っている。



運営方針の「点検・評価」

<点検>

●運営方針の策定時と同じく、MONOテク8校で、機械系・金属加工系・建築施工系など10区分で、計33訓練科を設けている。

<評価>

●民間との役割分担を踏まえ、今後も引き続き、ものづくり関連分野に重点化した訓練を実施し、その人材育成を担っていくことが必要。

●一方で、低調な入校状況を解消し、地域ニーズに応える人材を多く輩出していくことが求められる。

【MONOテクの訓練科目】

区分	訓練科名	札幌	函館	旭川	北見	室蘭	苫小牧	帯広	釧路	計
機械系	精密機械科	○	-	-	-	○	○	-	-	3
	機械技術科	-	○	-	○	-	-	-	-	2
金属加工系	金属加工科	○	-	-	-	○	○	○	-	4
建築施工系	建築技術科	○	○	○	○	-	-	○	○	6
印刷・製本系	電子印刷科	○	-	-	-	-	-	-	-	1
	印刷デザイン科	-	-	○	-	-	-	-	-	1
設備施工系	建築設備科	○	-	-	-	-	-	-	-	1
電力系	電気工学科	-	-	-	○	-	-	○	○	3
	電気工事科	-	-	-	-	-	○	-	-	1
第2種自動車系	自動車整備科	-	○	○	○	-	-	○	○	5
木材加工系	造形デザイン科	-	-	○	○	-	-	○	-	3
電気・電子系	システム制御技術科	-	○	○	-	-	-	-	-	2
塗装系・デザイン系	色彩デザイン科	-	-	○	-	-	-	-	-	1
計		5	4	6	5	2	3	5	3	33

(2) 施設内訓練（訓練科目の内容）

運営方針（H31年3月策定）

◆訓練科目が求職と求人ニーズに対応したものになっているか、「応募倍率」と「就職率」の項目で評価したところ、H26～29年度実績では33科のうち16科がC評価に該当。

◆さらに、他の項目も加味して総合的な評価を行い、訓練内容などの見直しが必要とされたのは、旭川「色彩デザイン科」など。



運営方針の「点検・評価」

<点検>

●「必要な見直しを行う」とされた科は、訓練科目の転換、カリキュラムの見直しなどを実施。

- ・旭川「色彩デザイン科」
- ・北見「造形デザイン科」と「電子機械科」
- ・帯広「造形デザイン科」
- ・函館、旭川、北見、釧路「建築技術科」

<評価>

●MONOテクへの入校者数は近年減少し、地域が求める人材の要望に十分応えられていないため、さらなる広報・PR活動の充実・強化を行い、入校者の確保を図る必要がある。

【訓練科の評価（H26～29）】

		応募倍率(倍)		就職率(%)		評価
札幌	精密機械科	×	0.75	○	95.5	C
	金属加工科	×	0.69	○	100.0	C
	建築技術科	○	1.03	○	97.9	A
	電子印刷科	○	1.13	○	98.4	A
	建築設備科	○	1.01	○	100.0	A
函館	自動車整備科	○	1.20	○	100.0	A
	システム制御技術科	×	0.71	○	90.7	C
	機械技術科	×	0.48	○	100.0	C
	建築技術科	×	0.46	○	92.0	C
旭川	建築技術科	×	0.56	○	93.0	C
	システム制御技術科	×	0.83	○	92.6	C
	自動車整備科	○	1.34	○	100.0	A
	印刷デザイン科	○	1.11	○	100.0	A
	造形デザイン科	○	1.09	○	98.2	A
	色彩デザイン科	×	0.76	○	96.2	C
北見	電気工学科	×	0.47	○	96.4	C
	自動車整備科	○	1.10	○	98.4	A
	造形デザイン科	×	0.64	○	85.7	C
	建築技術科	×	0.42	○	92.6	C
	電子機械科	×	0.49	○	92.3	C
室蘭	金属加工科	×	0.67	-	-	
	精密機械科	○	1.07	-	-	
苫小牧	金属加工科	×	0.60	-	-	
	機械科	×	0.40	-	-	
帯広	電気工事科	○	1.00	-	-	
	建築技術科	○	0.90	○	100.0	B
	電気工学科	○	1.35	○	100.0	A
	造形デザイン科	×	0.78	○	100.0	C
	金属加工科	○	0.95	○	100.0	B
釧路	自動車整備科	○	1.54	○	100.0	A
	電気工学科	×	0.56	○	95.5	C
	建築技術科	×	0.33	○	84.2	C
	自動車整備科	×	0.86	○	96.2	C

※室蘭、苫小牧は、H29より1年制から2年制に移行し就職者が出ていないため、評価なし。

※応募倍率と就職率は、H26～29年度の平均値。

※C評価は、応募倍率0.9倍未満、又は就職率80%未満。

【科目転換（北見「電子機械科」→「機械技術科」）】

◆国の区分上、メカトロニクス系メカトロニクス科の「電子機械科」を、機械系機械技術科の「機械技術科」へ科目転換。

	見直し前（電子機械科）		見直し後（機械技術科）		
	教科	時間	教科	時間	
普通	社会	80	社会	80	
普通	体育	80	体育	80	
	計	160	計	160	
系基礎	生産工学概論	20	機械工学概論	40	
	機械工学	40	電気工学概論	20	
	材料力学	50	N.C加工概論	30	
	電気工学	50	生産工学概論	20	
	電子工学	50	材料力学	30	
	応用数学	40	材料	40	
	情報通信工学	70	製図	30	
	制御工学概論	60	機械工作法	40	
	メカトロニクス工学概論	60	測定法	20	
	材料力学	40	安全衛生	20	
	製図	40			
	測定法及び試験法	40			
	関係法規	20			
	安全衛生	20			
	計	600	計	290	
	実技	機械工作法	40	コンピュータ操作基本実習	40
		機械設計	60	製図基本実習	60
電気及び電子工作法		40	安全衛生作業法	20	
メカトロニクス機器組立法		40			
制御機器ソフトウェア		80			
数値制御		40			
CAD/CAM実習		20			
計	320	計	120		
専攻	機械操作及び基本実習	305	応用材料力学	30	
	電気・電子回路組立基本実習	58	機械加工法	180	
	測定基本実習	60	金型工作法	40	
	製図基本実習	80	金属加工法	40	
	安全衛生作業法	20	制御工学	30	
	コンピュータ操作基本実習	30	機械設計・製図	100	
	ガス溶接技能講習	17	機械保全法	20	
	溶接基本実習	180			
	計	750	計	440	
	メカトロニクス機器組立実習	200	測定実習	40	
	制御プログラム作成実習	200	N.C加工実習	700	
	操作及び保守実習	50	機械工作実習	305	
	CAD/CAM実習	100	切削加工及び研削加工実習	555	
数値制御実習	160	制御機器組立実習	60		
産業機械マイコン応用実習	260	機械設計・製図実習	100		
		機械保全実習	30		
計	970	計	1790		
合計		2800		2800	

↑
国の区分上
「メカトロニクス系メカトロニクス科」

↑
国の区分上
「機械系機械技術科」

【カリキュラムの見直し（旭川「色彩デザイン科」）】

◆塗装系木工塗装科で2年制としていたが、塗装とデザインの幅広い人材育成を図るため、1年次「塗装コース（木工系木工塗装科）」、2年次「広告美術コース（デザイン系広告美術科）」の2階建てに見直し。

	見直し前	
	教科	時間
普通	社会	80
	体育	80
	計	160
系基礎	デザイン概論	120
	塗装法概論	30
	生産工学概論	20
	塗料	60
	塗装設備及び機器	30
	安全衛生	30
	関係法令	22
	色彩概論	70
	製図	40
	情報デザイン概論	30
	計	452
専攻	塗料	40
	塗装法	80
	試験法	20
	仕様及び積算	40
	品質管理概論	20
	計	300
系基礎	デザイン製図	60
	ソフトウェア概論	40
	計	300
実技	機械操作基本実習	30
	デザイン基本実習	300
	調色基本実習	70
	塗装基本実習	497
	安全衛生作業法	37
	コンピュータ操作基本実習	20
計	954	
専攻	塗装機器操作実習	20
	塗装実習	214
	塗料・塗膜検査実習	50
	コンピュータ操作実習	160
	色彩計画実習	260
	色彩造形実習	230
	計	934
合計		2,800

↑
国の区分上「塗装系・木工塗装系」

	見直し後				
	1年次		2年次		
	教科	時間	教科	時間	
普通	社会	40	社会	40	
	体育	40	体育	40	
	計	80	計	80	
系基礎	デザイン概論	20	生産工学概論（2）	10	
	塗装法概論	50	マーケティング論	20	
	生産工学概論（1）	10	製図	40	
	塗料概論	40	色彩	30	
	塗装設備及び機器	20	造形	30	
	安全衛生（1）	20	デザイン	80	
	関係法規（1）	80	材料及び加工法	20	
			安全衛生（2）	10	
	計	240	計	240	
	専攻	塗料	20	広告概論	20
		塗装法	110	施工法	70
試験法		20	関係法規（2）	30	
仕様及び積算		30	色彩計画	100	
色彩概論		40	ビジュアルデザイン	50	
基礎製図		40			
計	260	計	270		
系基礎	機械操作基本実習	40	器具使用法	30	
	デザイン基本実習（1）	70	平面及び立体構成基本実習	20	
	調色基本実習	80	色彩構成基本実習	20	
	塗装基本実習	260	コンピュータ操作基本実習	20	
	安全衛生作業法（1）	20	デザイン基本実習（2）	120	
		安全衛生作業法（2）	20		
計	470	計	230		
専攻	塗装機器操作実習	50	設計実習	60	
	木工塗装実習	180	工作実習	80	
	塗料・塗膜検査実習	20	広告物製作実習	120	
	実務実習（1）	100	展示及び装飾実習	40	
			色彩造形実習	180	
		実務実習（2）	100		
計	350	計	580		
合計		1,400		1,400	

↑
国の区分上
「塗装系木工塗装科」

↑
国の区分上
「デザイン系広告美術科」

(2) 施設内訓練（入校定員の見直し）

運営方針（H31年3月策定）

◆地域の産業界の人材ニーズを踏まえ、H30年度は、8技専で33訓練科、入校定員575名。

◆効率的かつ効果的な訓練を実施するため、入校状況や地域の産業情勢等を踏まえ、入校定員の増減を検討。



運営方針の「点検・評価」

<点検>

●道で、入校定員に関するルール（高等技術専門学院の訓練定員の変更等に関する方針）を定めているが、R3年度に所要の見直しを行った。

●このルールに基づき、入校定員が20名または15名の訓練科で、入校者数が3年連続して1/2以下に該当する科について、H30年度からR7年度までに、入校定員を100名削減。

<評価>

●入校定員が10名の訓練科のうち6つの科が、3年以上連続して入校者数が1/2以下となっており、ルール上、次期運営方針の策定に合わせて「改廃を含めた検討」が必要。

【高等技術専門学院の訓練定員の変更等に関する方針】

高等技術専門学院の訓練定員の変更等に関する方針【抜粋】

この方針は、経済部労働政策局産業人材課が毎年度における職業能力開発実施計画を策定するに当たり、訓練定員の変更に関する基本的な方針及び対応する職業訓練指導員定数を定めるものである。

1 入校定員について

(1) 入校定員

1学年あたり10名以上20名以下の5の倍数とする。

(2) 入校定員の変更

訓練生の入校状況や就職状況、地域の要望、社会情勢等を踏まえ、産業人材課が総合的に判断して決定する。

高等技術専門学院の訓練定員の変更等に関する運用方針【抜粋】

1 入校定員の変更等について

(1) 入校定員が20名または15名で、入校者数が3年連続して1/2以下の場合、翌年度の入校定員を10名に変更する。

ただし、入校定員が20名で直近の入校者数がその前年度より増加している場合、翌年度の入校定員を15名に変更する。

(2) 入校定員が10名で、入校者数が3年連続して1/2以下の場合、改廃を含めた検討を行う。

なお、改廃の検討は、原則として、高等技術専門学院の次期運営方針の策定に合わせて行うこととするが、それ以前の改廃を妨げるものではない。

(3) 入校定員が10名または15名で、受験者数が3年連続して定員を上回った場合で、下記条件を満たす場合には翌年度の入校定員を5名拡大できる。

ア 入校定員を満たす合格者がいること

イ 既存の施設・設備で定員拡大への対応が可能なこと

※下線部がR3年度に見直しした部分

(2) 施設内訓練（訓練科目の評価）

運営方針（H31年3月策定）

◆訓練科目の評価項目「応募倍率」と「就職率」に、新たな項目を加える。その評価基準の設定は今後検討する。

◆その上で、定員充足率を勘案するなど総合的な評価を行い、訓練課程・カリキュラムなど、必要な見直しに反映させる。

運営方針の「点検・評価」

<点検>

●新たに4つの評価項目をR4年度に追加。また、評価方法を2段階方式（1次評価と2次評価）に改めた。

<評価>

●R元～6年度平均の結果は次のとおり。

・1次評価 A：1科、B：1科、C：31科

・2次評価 A：9科、B：22科、C：なし

なお、単年度では、2次評価でC評価は9科。

●現在の評価方法には、評価項目のバランス、評価の時期など、所要の見直しが必要。

【新たな評価項目の追加】

H20年3月

中長期ビジョンで、入口と出口のニーズを示す2つを評価項目とした
<評価項目> 応募倍率、就職率

経過

① 第Ⅲ期中期構想（H26年8月策定）で「他の評価項目による評価も必要」と記した

・今後検討すべき課題の一つとして「修了生の職場定着率、訓練成果を活かせる職場で働いているか、企業からどのような評価を受けているかなど、訓練の実施結果への評価を行うことが必要」と記した。

② 審議会から、追加すべき項目について提言あり（H29年1月）

<提言の内容>

・中長期ビジョンから約10年が経過し、社会的な状況が激変。
・応募倍率と就職率は、受講及び求人ニーズを把握するために重要で客観的なため、引き続き入れるべき。
・新たに「訓練生の満足度、関連業界就職率、雇用の質、企業の評価」を追加すべき。

③ 運営方針（H31年3月策定）、追加する評価項目名を記した

R4年11月

審議会部会を経て、4つを評価項目に追加した

<評価項目>

1次評価 応募倍率、就職率

2次評価 求人倍率、関連業界就職率、雇用の質、訓練生の満足度

【訓練科目の評価】



評価の対象

全ての訓練科33科が対象

- ・機械系 <5科>
- ・金属加工系 <4科>
- ・建築施工系 <6科>
- ・印刷・製本系 <2科>
- ・設備施工系 <1科>
- ・電力系 <4科>
- ・第2種自動車系 <5科>
- ・木材加工系 <3科>
- ・電気・電子系 <2科>
- ・塗装系・デザイン系 <1科>

評価項目

6項目により、2段階で評価

- 一次評価
 - ・応募倍率（入口）
 - ・就職率（出口）
- 二次評価
 - ・求人倍率（出口）
 - ・関連業界就職率（出口）
 - ・雇用の質（出口）
 - ・訓練生の満足度（訓練の質）

判定（ABC）

- 一次評価
 - A 特段の問題なし
 - B 一部内容について調査・分析が必要
 - C 2次評価を行う（基準未滿であり、要因の調査・分析を行う）
- 二次評価
 - A 訓練が順調に進んでいるものとし、特段の問題なし
 - B 評価基準を満たさなかった1次評価及びc項目について、調査・分析の上、必要に応じ改善に取り組む
 - C 1次評価及び2次評価について、要因の調査・分析の上、地域の産業界の人材ニーズや定員充足率等を勘案し総合評価を行い、必要の見直しに反映

評価結果（R元～6年度平均）

- <一次評価> 応募倍率<0.9倍の科がほとんどであるため、33科のうちCは31科
（A：1科、B：1科、C：31科）
- <二次評価> 好調な出口関係の指標が多いこともあり、Cは該当なし
（A：9科、B：22科、C：なし）

	札幌			函館		旭川			北見			室蘭		苫小牧		帯広			釧路												
	精密機械科	金属加工科	建築技術科	電子印刷科	建築設備科	自動車整備科	システム制御技術科	機械技術科	建築技術科	建築技術科	システム制御技術科	自動車整備科	印刷デザイン科	造形デザイン科	色彩デザイン科	電気工学科	自動車整備科	造形デザイン科	建築技術科	機械技術科	金属加工科	精密機械科	電気工学科	建築技術科	電気工学科	造形デザイン科	金属加工科	自動車整備科	電気工学科	建築技術科	自動車整備科
一次評価	C	C	C	C	C	A	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
二次評価	A	B	B	B	A	-	B	B	B	A	B	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	-	B	B	A

評価方法については、
所要の見直しが必要
（後述）

(3) 入校生の確保対策（広報・PR活動の充実・強化）

運営方針（H31年3月策定）

◆**技専の強み、関連業界や職業の魅力など、広報・PR活動や入校者の募集・周知活動を充実・強化していく。**

◆**地元自治体、関連業界団体、官民の職業教育訓練機関、ハローワークなどと連携を深めた上で、取り組んでいく。**



運営方針の「点検・評価」

<点検>

- 次の取組を実施
 - ① ホームページ、広報媒体、SNS、パンフレット等を通じたMONOテクの行事、募集情報等の発信
 - ② 施設見学会や実習体験会の開催、業界団体等と連携したPRイベントや広報宣伝
 - ③ MONOテクの就職実績、資格取得実績等の強みや魅力をアピールしたPR内容の改善
 - ④ 既卒者向けに、ハローワークとの連携強化、就職説明会や転職イベント等を通じたPRの実施
 - ⑤ 小中学生を対象とした「ものづくり教室」の開催等による理解促進

<評価>

●MONOテクの入校者数は近年減少し、地域が求める人材の要望に十分応えられていないため、さらなる広報・PR活動の充実・強化を行い、入校者の確保を図る必要がある。

【施設見学会などの開催】



◆ Instagram、Youtube、X（旧Twitter）で、MONOテクの訓練内容や行事などを発信。

【既卒者向けPR】



◆MONOテク帯広「体験見学会」で、「銅板の折り紙製作」「スツール製作」などの実習体験を実施。

◆イオン北海道(株)の会場提供の協力を得て、R7年度は道内8か所で、訓練生が制作した実習作品や、訓練科の紹介パネル展示などを実施。

【小中学生向けの理解促進】



◆小学生の夏休み期間に開催。保護者への「ものづくり」や「職業訓練」への理解促進にもつながっている（画像は、R7年7月、MONOテク釧路「小学生ものづくり教室」）。

(3) 入校生の確保対策（地域との連携・協力）

運営方針（H31年3月策定）

- ◆入校促進策の展開にあたっては、地元自治体との連携が重要。
- ◆入校生を対象とした給付金制度を設けているところもあり、地元自治体との連携・協力の強化を図っていく。



運営方針の「点検・評価」

- <点検>
- 網走地域や室蘭市などの市町村では、MONOテク入校生向け修学資金の貸付や給付金の制度などを設けている。
 - 訓練生募集の地元広報誌への情報掲載、庁舎スペース等を活用した紹介パネル展示など、PR・周知を行っている。
- <評価>
- MONOテクの入校者数は近年減少し、地域が求める人材の要望に十分応えられていないため、地域との連携・協力を取り進める必要がある。

【地域による給付制度の例】

制度名	内容	摘要
網走市ほか 網走地域建築技能者 等地域定着促進事業 修学資金	月額5万円 最大120万円	●MONOテクを修了後、網走地域（網走市、斜里町、清里町、小清水町、大空町）で建築関連業務に従事する者 ●継続して3年間従事した場合、返還免除
室蘭市 ものづくり人材育成 給付金	1年次 10万円 2年次 5万円	●MONOテク室蘭の訓練生向けに、教科書などの諸経費が対象 ●修了後3年以上室蘭市内に在住し、室蘭市内に事業所を有する企業に就職した場合、返済免除
苫小牧市 ものづくり技能習得 奨励金	1人当たり10万円 (授業料免除者は5万円)	●MONOテク苫小牧の入校生に、入学科・1年次にかかる授業料・教科書代等を対象経費として交付
東川町 大学進学奨学助成金	1年次 50万円 2年次 4万円/月 (自宅外通学) など	●大学・専門学校等（MONOテク含む）に進学し、東川町居住歴がある等の要件を満たす者が対象で、返金不要。

【地域と連携したPR・周知（広報誌とまこまい（R7年1月））】



(3) 入校生の確保対策（募集要項の周知、選考試験の共通化）

運営方針（H31年3月策定）

◆ものづくりに興味のある既卒者に、訓練内容や募集等の情報を早期に伝えるため、既卒者への募集要項の周知開始を早める。

◆どの技専で受験しても、希望する技専に入校できる試験方法の導入、また、他技専の同一職系の訓練科を第2志望として選考できる志望選考の広域化などを目指す。



運営方針の「点検・評価」

<点検>

●例年9月から翌年度の訓練生募集を行っているが、既卒者の入校促進を図るため、職業相談時における案内の協力をハローワークへ依頼。

●遠隔地のMONOテクへの入校希望者に、R3年度より、最寄りのMONOテクでの受験を可能とした。

<評価>

●今後とも、ハローワークとの連携強化を図ることにより、既卒者（若年求職者の学び直し等）の入校促進に努める必要がある。

●選考試験の共通化による実績は僅少であるが、入校促進策の一環として、引き続き実施していくことが適切。

【既卒者への募集要項の周知開始の早期化】

	R8年3月卒の新規高校卒業者の採用選考（※1）	R8年度MONOテク入校生募集
6月1日	ハローワークによる求人申込書の受付開始	
7月1日	企業による学校への求人申込及び学校訪問開始	
8月上旬		ハローワークへの依頼（既卒者向け）
9月5日	学校から企業への生徒の応募書類提出開始	
9月16日	企業による選考開始及び採用内定開始	募集活動開始（※2） （新規高卒者への募集要項配布、高校訪問）
11月以降		募集受付
11月25日		学校長推薦選考 自己推薦選考
12月16日		一般選考

※1 厚生労働省ウェブサイトから転記

※2 民間（専修学校等）との役割分担や連携の観点から、例年9月から募集開始

【選考試験の共通化】

年度	人数	受験地	入校	訓練科
R3	1	苫小牧	北見	自動車整備科
R4	1	札幌	北見	自動車整備科
R5	1	室蘭	函館	建築技術科
R6	0			
R7	1	札幌	旭川	自動車整備科

(3) 入校生の確保対策（通称名の導入）

運営方針（H31年3月策定）

◆「高等技術専門学院」の認知度向上とPRを図るため、通称又は愛称の導入を目指す。その導入にあたっては、広く公募を行うなど、PR効果を高めるよう努める。



運営方針の「点検・評価」

<点検>

●愛称及びキャッチフレーズを道内から公募し、愛称に「MONOテク」、キャッチフレーズに「技術で拓け、夢・未来」とすることを、R元年度に決定。

●PRキャラクターとして、MONOテク旭川の訓練生が考案した「MONOテッカー」を活用。



<評価>

●愛称（MONOテク）の認知度向上に努めているが、「技専（ぎせん）」の略称に慣れている地元企業も多いため、今後、さらなる周知・PRを図っていく必要がある。

【愛称及びキャッチフレーズとその活用】

◎愛称

MONOテク（読み方：ものてく）

受賞者 高橋里美様（札幌市在住）
 選定理由 北海道のものづくりを支える技術（テクニク）を持った人材を育てる施設であることを親しみやすく表現

◎キャッチフレーズ

技術で拓け、夢・未来

受賞者 朝倉 修様（札幌市在住）
 選定理由 技術を身に付けて、将来の夢を実現することを応援するメッセージを表現



【これまでの名称の変遷】

- ・道庁立職業補導所 (S21～)
- ・道庁立公共職業補導所 (S23～)
- ・道立職業訓練所 (S33～)
- ・道立専修職業訓練校 (S44～)
- ・道立職業訓練校 (S47～)
- ・道立高等技術専門学院 (S63～)
- ・愛称「MONOテク」(R 2～)

(3) 入校生の確保対策（既卒者の入校促進（1年制の導入））

運営方針（H31年3月策定）

◆H29年度に、1年制普通課程及び短期課程を廃止し、2年制普通課程に統一。一方、入校者に占める新規高卒者の割合が高まる傾向にあるが、新規高卒者数は減少見込み。

◆このため、既卒者（求職者、離転職者）が入校しやすい募集・選考方法の改善などを図る。

運営方針の「点検・評価」

<点検>

●既卒者が入校しやすい「1年制」を、R2年度に2つの訓練科で定員枠内で併設導入し、R4年度には全33訓練科のうち26科で導入。（導入未済は、自動車整備科5科、旭川「印刷デザイン科」「造形デザイン科」。なお、旭川の自動車整備科はR8年度より導入）。

●1年制の入校者は、R3～R7年度で計12名と少なく、うち4名が10代、8名が20代～60代。

<評価>

●「できるだけ短期間で基本的な技能や資格を身に付けて就職できる」という1年制のメリットを広く周知し、1年制の入校促進を図っていく必要がある。

【1年制の実績】

区分	R2		R3		R4		R5		R6		R7		計	
	入校	修了	入校	修了	入校	修了	入校	修了	入校	修了	入校	修了	入校	修了
札幌			1	1					1	1			2	2
							1	1					1	1
旭川					1	1	1						1	2
北見					2				1	2			1	4
					1						1		0	1
											1		1	0
苫小牧					1								1	0
									1				1	0
帯広							2	2		1			2	3
釧路								2					0	2
		1	1				1	3					2	4
計	0	1	2	1	1	4	5	9	3	4	1		12	19

※2年制から1年制、1年制から2年制への期間変更等により、入校と修了の数字が合わない場合がある。

<入校者の属性（年齢、性別）>

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
計	4	2	2	1	2	1	12
男	4	2	1	1	1	1	10
女			1		1		2

※10代の内訳は、中卒2、高卒2

【1年制の入校者が少ないと考えられる要因】

- ・2年制と併設のため、2年制と1年制を比較すると資格や内容で見劣りする印象を持たれている。
- ・扶養者がいる場合、職業訓練を受けるよりも、早い就職を選ぶ。
など

(3) 入校生の確保対策（既卒者の入校促進（自己推薦制度など））

運営方針（H31年3月策定）

◆「自己推薦制度（志望理由書と面接試験により選考）」の全訓練科への拡大、年齢上限（35歳未満）の廃止を行う。

◆雇用保険の受給期間中に、ハローワークから職業訓練の受講指示を受けた場合、職業訓練が終了するまで雇用保険の基本手当の支給が継続されるため、年度末の離職者が入校しやすくなるよう、募集期間の延長を検討。

運営方針の「点検・評価」

<点検>

- 「自己推薦制度」は、R2年度から、全訓練科へ拡大するとともに、年齢上限を廃止。R7年度は、既卒者48名のうち36名がこの制度を利用。
- R3年度から4月の入校式を10日程度繰り下げて、募集期間の延長を実施。R7年度は13名の入校あり。

<評価>

- 自己推薦制度や募集期間の延長により、一定数の既卒者の入校実績がみられており、入校促進策の一環として引き続き実施することが必要。

【自己推薦制度】

区分	推薦書	志望理由書	学力試験	面接試験	R8年度募集の場合			
					出願期間	選考試験日	合格発表	
推薦選考	学校長推薦	●			●	11/1～20	11/25	12/2
	自己推薦		●		●	11/1～20	11/25	12/2
一般選考				●	●	11/21～12/10	12/16	12/23

※「学力試験」は、2年制の場合、高等学校学習指導要領による国語総合・数学Ⅰまでの範囲

【自己推薦制度の利用実績】

	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
入校者	290	271	257	278	238	207	197
新規高卒者	238	212	186	220	172	152	149
既卒者	52	59	71	58	68	55	48
自己推薦	4	39	37	41	41	34	36

【募集期間の延長による入校者の増加】

	R3	R4	R5	R6	R7
札幌	3	2	4	2	5
函館	1		5	2	1
旭川	3		4		4
北見	1	1	3		1
室蘭	2	1	3		
苫小牧				1	1
帯広	3		2		1
釧路	1		2	1	
計	14	4	23	6	13

※R3は4月8日、R4は4月7日、R5は4月3日、R6は4月5日、R7は4月8日以降の入校実績

(4) 施設外訓練（委託訓練）

運営方針（H31年3月策定）

◆**技専**では、ものづくり関連分野の33訓練科（施設内訓練）のほかに、求職者が人手不足分野など雇用吸収力のある産業分野へ円滑に就職できるよう「委託訓練」を実施。

◆**事務・情報系**や**介護系**などの職業訓練を、民間に委託して実施するので、概ね3か月から2年間のコースが設定されている。

運営方針の「点検・評価」

<点検>

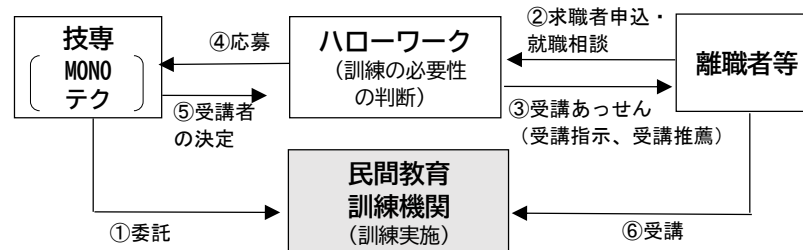
- R6年度の受講者実績は1,827名で、事務・情報系が8割以上を占め（82.3%）、次いで介護系（12.0%）となっている。
- 人手不足のIT分野に関しては、R4年度から、ITスキル標準（ITSS）レベル以上の資格取得を目指すコースを新設し、実施している。

※ITSSは、高度IT人材育成を目的として作成された、教育・訓練を行う際の指標で「IT Skill Standard」の略称。2002年、経済産業省が策定。

<評価>

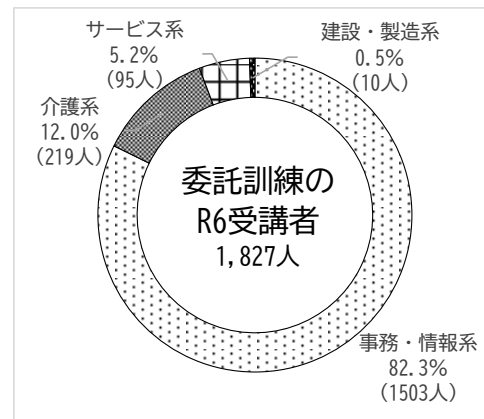
- 雇用情勢の改善等もあり、受講者数は低下傾向にあるが、今後とも引き続き、地域の訓練ニーズ（IT分野、子育て女性等の再就職支援など）をとらえて、きめ細かく対応していくことが必要。

【委託訓練のフロー】



- ・受講対象者：ハローワークから受講指示等を受けた求職者
- ・受講料：無料（教材費の実費は、受講者負担となる場合あり）

【R6年度委託訓練の受講者数】

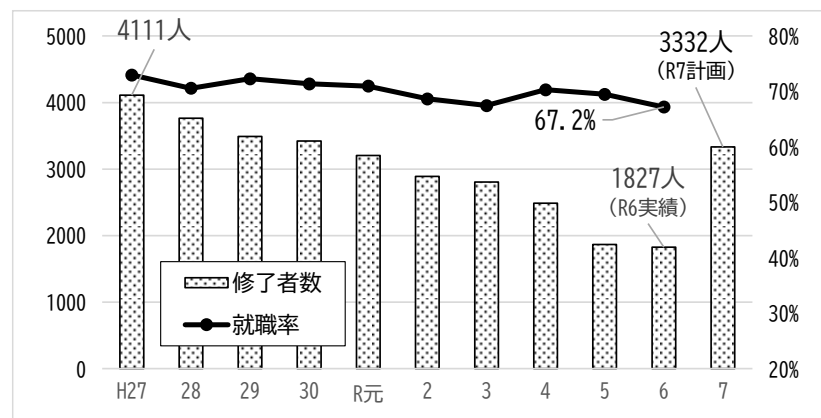


【R6年度ITSSレベル以上の資格取得コース】

- <知識等習得コース>
 - ・JAVAプログラミング科 23人
 - ・PHPプログラミング科 8人
 - ・WEBエンジニア科 24人
- <長期高度人材育成コース>
 - ・情報システム学科 3人

【委託訓練の実績推移】

◆受講者数は、H27年度4,111人から、R6年度1,827人と減少。
委託訓練の受講者の就職率は70%前後で推移。



◆R7年度の計画定員数は3,450人で、うち「知識等習得コース」が最も多く、次いで「長期高度人材育成コース」となっている。

訓練区分	訓練期間	対象者	計画定員数
長期高度人材育成コース	1～2年	概ね55歳未満、非正規から正社員への希望者支援	257
知識習得等コース	3～12か月	一般求職者への支援	3,047
eラーニング	3～12か月	一般求職者への支援	30
障害者委託訓練	1～6か月	身体・精神障がい者等の就職困難者支援	92
就職支援委託訓練	3～12か月	季節労働者・アイヌ等支援	24
計			3,450

【委託訓練の例】



ハロートレーニング（公共職業訓練） 急がば学べ！ ハロートレーニングで目指せ再就職！！
令和7年度 委託訓練4・5月生 募集予定



ハロートレック

月	番号	訓練科名	実施地	対象者	定員	訓練内容	取得資格	訓練期間	訓練実施施設	募集期間	選考日予定
4	1	経理パソコン活用科①	千歳市	一般求職者（緊急）	15名	簿記会計に関する基礎的な知識及びワープロ・表計算の基礎から応用、データベース・プレゼンテーションの基礎を習得し、関連職種への就職を目指す。	ワープロ・表計算検定3、2級、データベース3級、プレゼンテーション2級、簿記3級	4月1日(水) 7月31日(木)	千歳職業技術専門学校 (千歳市真々地2丁目4-8)	2月13日(木) 3月6日(木)	3月14日(金)
	2	WEBエンジニア科①	札幌市	一般求職者（緊急）	20名	IT関連で就業するためのプログラミング技術及びC言語、Javaアプリケーションの開発に関する実践レベルの技術を習得し、関連職種への就職を目指す。	C言語プログラミング能力検定試験3級、Javaプログラミング能力検定試験3、2級	4月2日(水) 7月31日(木)	KENスクール札幌校 (札幌市中央区北5条西2丁目5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ19F)	2月13日(木) 3月7日(金)	3月17日(月)
	3	パソコン基礎科①	札幌市	一般求職者（緊急）	20名	パソコン初心者の方がワープロ・表計算等のビジネスアプリケーションの基礎的な知識と操作及びセキュリティに関する基礎的な知識を習得し、関連職種への就職を目指す。	ワープロ・表計算検定3級	4月2日(水) 6月30日(月)	アイ日本総合ビジネス学院 札幌校 (札幌市中央区南1条西5丁目20 郵政福祉札幌第一ビル8F)	2月13日(木) 3月7日(金)	3月17日(月)
	4	パソコン基礎科②	滝川市	一般求職者（緊急）	15名	パソコン初心者の方がワープロ・表計算等のビジネスアプリケーションの基礎的な知識と操作及びセキュリティに関する基礎的な知識を習得し、関連職種への就職を目指す。	ワープロ・表計算検定3級、情報セキュリティ検定 単一級	4月8日(火) 7月7日(月)	中空知地域職業訓練センター (滝川市流通団地3丁目6-23)	2月13日(木) 3月12日(水)	3月21日(金)
	5	パソコン上級科①	札幌市	一般求職者	20名	ワープロ・表計算等を活用できる方が業務効率化や統計処理に必要なビジネスアプリケーションのより高度な知識と操作	MOS エキスパート	4月10日(木)	キャリア	2月13日(木) 3月12日(水)	3月21日(金)

MONOテク札幌の4～5月生募集の例

(4) 施設外訓練（在職者訓練）

運営方針（H31年3月策定）

◆技専では、ものづくり関連分野の33訓練科（施設内訓練）のほかに、企業の在職者向けの「能力開発セミナー」を実施。

◆必要な知識・技能の付与を目的に、ニーズに合わせた訓練を実施。

運営方針の「点検・評価」

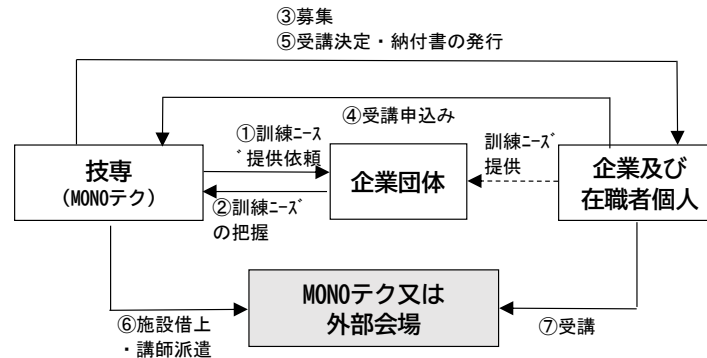
<点検>

●R6年度は、33コースで303名が受講。OA事務などの「事務系」、家具製作や自動車整備などの「技術系」のほか、外国語講座やドローン活用などの在職者訓練が行われた。

<評価>

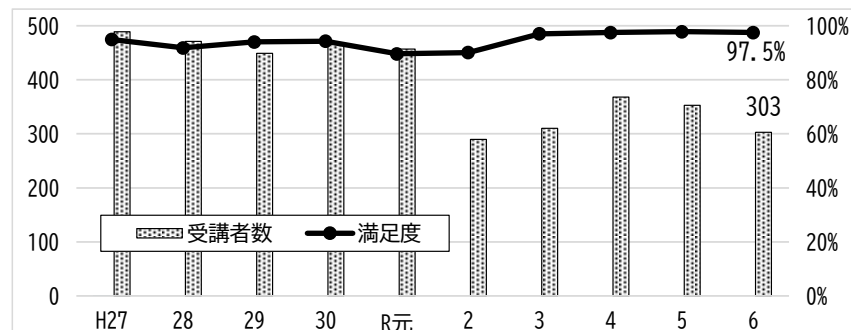
●自社で在職者の能力開発等を行うことが難しい中小企業者が多いことから、能力開発セミナーは受講者からの評価も高い。
●今後とも地域の産業界のニーズに応え、能力開発セミナーの実施に努めていくことが必要。

【能力開発セミナーのフロー】



- ・受講対象者 道内中小企業の在職者
- ・受講料等 無料（ただし、教材費等の実費は受講者負担）
- ・その他 コース設定は、12時間以上、定員10名以上

【能力開発セミナーの受講者数、受講者の満足度】



	H27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6
コース数	51	45	48	48	44	33	31	35	34	33
受講者数	489	471	449	467	457	290	310	368	353	303
満足度	94.9%	91.8%	94.0%	94.3%	89.6%	90.1%	97.0%	97.5%	97.8%	97.5%

【在職者訓練の実績（R6）】

区分	実施地	訓練時間		受講者
		日数	時間	
札幌	2級管工事科 2級管工事施工管理技士	札幌市	3 21	18
	VBAプログラミング科 VBAプログラミング	札幌市	8 56	2
旭川	木工科(1級コース・2級コース) 施工法(家具製作)	旭川市	2 14	19
	土木科 2級土木施工管理技士	旭川市	5 30	9
稚内	観光サービス科Ⅰ ベトナム語基礎	稚内市	4 12	11
	IT活用科Ⅰ ビジネスマナーとアプリの活用	中川町	3 12	10
	自動車整備科 3級シャシ	稚内市	38 134	6
	観光サービス科Ⅱ おもてなし英会話	稚内市	8 16	14
	IT活用科Ⅱ ドローンの活用	猿払村	2 12	9
	IT活用科Ⅲ ドローンの活用	稚内市	8 17	15
	観光サービス科Ⅲ SNSマーケティング	稚内市	2 12	11
	IT活用科Ⅳ ドローンの活用	礼文町	2 12	9
	配管科 建築配管基礎実務	稚内市	2 12	12
	エクセル初級科 エクセル基礎	北見市	2 14	7
エクセル中級科 エクセル応用	遠軽町	8 24	7	
エクセル中級科 エクセル応用	北見市	3 21	11	
WEB活用科 ホームページ等のSNS活用とDX推進	遠軽町	4 12	4	

区分	実施地	訓練時間		受講者
		日数	時間	
室蘭	OA事務科 ワード・エクセル基礎	室蘭市	20 40	7
	OA事務科 ワード応用	室蘭市	15 30	12
	OA事務科 エクセル応用	室蘭市	15 30	13
	OA事務科 パワーポイント基礎	室蘭市	10 20	13
苫小牧	電気工事科(第二種) 第二種電気工事士学科講習	苫小牧市	7 49	4
	自動車整備科(3級) 整備技術習得講習	苫小牧市	47 141	14
	自動車整備科(2級) 整備技術習得講習	苫小牧市	47 141	6
帯広	ICT活用科Ⅰ ドローン活用基礎	帯広市	6 12	4
	OA事務科 エクセル・ワード(2021) 中級	帯広市	10 20	20
	電気工事科Ⅰ 電気工事基礎	帯広市	10 20	5
	電気工事科Ⅱ 電気工事応用	帯広市	10 20	5
釧路	観光ビジネス科 中国語講座	釧路市	10 20	8
	ホームページ作成基礎科 ホームページ作成講座	釧路市	6 12	4
障害校	パソコンビジネス基礎科 初歩の情報ビジネス	札幌市	6 12	6
	パソコン基礎科 ビジネスアプリケーション基礎	旭川市	10 20	3
	パソコンビジネス実践科 パワーポイントとビジネスコミュニケーション	札幌市	8 16	5
計				303



稚内「ドローンの活用」
稚内市、稚内建設協会からの要望により、ドローンの操作や法令、操作技術の習得のため実施。



旭川「木工科」
旭川家具工業協同組合からの要望を踏まえ実施。受講者からは「安全で効率の良い作業を学ぶことができ理解が深まった」などの感想あり。

(5) 全員参加型社会の実現に向けた取組（女性や障がい者の入校促進）

運営方針（H31年3月策定）

◆女性になじみやすい訓練カリキュラムの導入検討、母子家庭の母や子育て女性等の再就職・復職支援に資する訓練の実施に努める。

◆国立北海道障害者職業能力開発校（砂川市）における障がい者向けの訓練のほか、一般校における知的障がい者を対象にした訓練に取り組む。



運営方針の「点検・評価」

<点検>

●入校者数に占める女性の割合は、施設内訓練は1割程度、委託訓練では8割近く。

●障害者校やMONOテク（函館、旭川）、民間への委託訓練を通じて、障がい者向けの訓練を実施。また、発達障がいの可能性がある訓練生への対応として、職業訓練指導員の研修を実施。

<評価>

●多様な人材の活躍を促進し、全員参加型社会の実現に貢献するため、これらの取組を引き続き推進していくことが必要。

【女性の入校促進】

区分	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
施設内訓練	入校者数	290	271	257	278	238	207
	うち女性	44	38	39	28	27	28
	女性の割合	15.2%	14.0%	15.2%	10.1%	11.3%	13.5%
委託訓練	入校者数	2,946	2,824	2,736	2,439	1,845	1,796
	うち女性	2,396	2,222	2,171	1,920	1,440	1,405
	女性の割合	81.3%	78.7%	79.3%	78.7%	78.0%	78.2%

※R7の施設内訓練は、入校者数197人、うち女性32人、女性の割合16.2%。

【障害者に対する職業訓練】

区分	入校定員	訓練期間	障がい区分	入校者							
				R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
障害者校	建築デザイン科	10名	6か月	身体 精神 発達	1	0	1	1	3	1	0
	CAD機械科	10名	1年		0	3	4	1	1	2	0
	総合ビジネス科	20名	1年		2	7	2	2	2	1	1
	プログラム設計科	20名	2年		6	6	1	7	6	3	5
	総合実務科	20名	1年		知的	9	3	14	11	7	7
函館	販売実務科	10名	1年	知的	7	7	6	7	5	6	5
旭川	介護アシスト科	10名	1年		5	2	2	3	2	2	2

【障害者委託訓練】

区分	R元		R2		R3		R4		R5		R6							
	コース数	定員	コース数	定員	コース数	定員	コース数	定員	コース数	定員	コース数	定員						
知識・技能習得	9	84	52	8	68	40	7	53	39	10	45	28	4	24	14	7	44	23
実践能力習得	9	11	11	8	11	11	12	14	13	14	32	7	8	9	9	7	10	8
特別支援学校早期	0	0	0	1	1	1	5	5	5	4	5	2	0	0	0	0	0	0

【職業訓練指導員への研修(R7年度)】

- ・精神・発達障がい傾向のある訓練生とのかかわり方 受講3名
- ・ハラスメント対策とコミュニケーション 5名
- ・発達障害を伴う知的障害者の職業訓練 3名
- ・精神・発達障害者等の職業訓練 2名

(5) 全員参加型社会の実現に向けた取組（授業料）

運営方針（H31年3月策定）

- ◆授業料の改定に向けて、適正な水準を検討。
- ◆経済的事情のある方に対しては、国における高等教育の無償化や給付型奨学金制度の拡充の動き等を踏まえ、減免措置などについて検討。

運営方針の「点検・評価」

<点検>

●入校時には、授業料のほかに、入学検定料、入学料、諸経費（教科書、作業服、私物工具など）が必要。

●訓練生の負担軽減、国への要望（技能者育成資金融資制度の見直し）などを行い、入校しやすい環境づくりに努める必要がある。

<評価>

●授業料は、エネルギー等の価格高騰により設備維持費や原材料の値上がりなどの社会経済情勢の変化を踏まえ、R7年度入校生から改定。

●経済的事情のある方に減免措置を講じており、国の高等教育無償化にかかる就学支援制度に準拠する形で、減免措置を追加。

【MONOテクの授業料】

	授業料 (年額)	改正理由
～H14	無料	
H15	111,600円	高校授業料に準じ同額
H18	115,200円	高校授業料改定に順じ同額
H21	118,800円	〃
H25	153,600円	フルコスト単価を基本に改定 (なお、激変緩和として30%アップ)
H26	154,800円	消費税率アップに伴う改定
H29	184,800円	フルコスト単価を基本に改定 (なお、激変緩和として20%アップ)
R7	220,800円	〃

◆「受益者負担の観点から、都道府県の実情に応じ、その徴収の在り方について検討」との国通達（H10）を踏まえ、H15年度から授業料を徴収。

【授業料の負担軽減】

区分	減免
大規模災害被災者 生活保護世帯 ほか	全額免除
市町村民 税の所得 割額	
多子世帯	
1円～ 99円	
100円～25,599円	2/3免除
25,600円～51,299円	1/3免除

◆多子世帯については、市町村民税の所得割額の条件を満たした場合は「1/4免除」だったが、R7年度から「全額免除」に改定。

【技能者育成資金融資制度】

金融機関	北海道労働金庫
融資上限額	自宅通校 36万円/年 自宅外通校 41万円/年
融資利率	年2% (固定金利、信用保証料0.5%を含む)
返済方法	訓練終了後、10年間を限度として、元利均等方式による月賦等で返還。利息は、融資を受けた日の翌月末日から支払いが発生。

◆国への要望は、給付型奨学金と同様の制度の導入、融資利率の引き下げ、融資額の増額など（R8国費要望）。

(6) 官民の連携

運営方針 (H31年3月策定)

◆「民間にできることは民間に」を基本方向とし、訓練科目や訓練内容が競合しないよう配慮。

◆多様な職業訓練の受講機会を確保する委託訓練の着実な実施。ポリテクセンター・ポリテクカレッジと役割分担のうえ、緊密に連携。

運営方針の「点検・評価」

<点検>

●運営方針の策定時 (H30年度) までに、専門学校など民間の教育科目と重複する訓練科目の廃止や転換を実施済み。

●北海道私立専修学校各種学校連合会 (道内の専修学校等を会員とする団体) と道による連絡協議会を開催し、意見交換を実施。

<評価>

●今後とも民間と競合することのないよう配慮のうえ、官民があいまって人材育成を図っていくことが必要。

【民間との役割分担により廃止等を行った訓練科】

<訓練科の廃止>

- ・札幌 販売システム科 H20年度
- ・室蘭 観光ビジネス科 //
- ・苫小牧 O A事務科 //
- ・網走 観光ビジネス科 //
- ・函館 総合ビジネス科 H21年度
- ・苫小牧 自動車整備科 H25年度
- ・札幌 電子工学科 H28年度

※「年度」はその年度末をもって廃止をなつたことを示す。

<訓練科の転換>

- ・函館 電子工学科⇒システム制御技術科 H23年度
- ・旭川 電子工学科⇒システム制御技術科 //
- ・北見 建築デザイン科⇒建築技術科 //

※「年度」はその年度から転換したことを示す。

※北見の建築技術科は、網走の住宅サービス科と北見の建築デザイン科の統合

【道内の専修学校】

区分		医療	衛生	教育・ 社会 福祉	工業	商業 実務	農業	服飾・ 家政	文化・ 教養	計
道央	学科	59	38	19	62	59	1	5	47	290
	入学定員	2,478	2,210	970	2,346	2,132	35	230	3,059	13,460
道南	学科	6	2	0	0	1	0	0	5	14
	入学定員	240	80	0	0	30	0	0	100	450
道北	学科	10	5	2	1	1	0	3	2	24
	入学定員	440	160	130	40	40	0	70	200	1,080
オホーツク	学科	2	1	2	1	3	0	4	0	13
	入学定員	60	40	75	30	115	0	80	0	400
十勝	学科	3	2	1	2	1	0	0	0	9
	入学定員	85	65	20	40	20	0	0	0	230
釧路・根室	学科	3	4	3	2	1	0	0	0	13
	入学定員	100	60	55	80	60	0	0	0	355
計	学科	83	52	27	68	66	1	12	54	363
	入学定員	3,403	2,615	1,250	2,536	2,397	35	380	3,359	15,975

出典) 北海道調べ (総務部学事課の資料に基づき、経済部産業人材課が作成)
参考) R7年5月1日現在

【国からの通知】

専修学校等に関しては、H10年3月に国（労働省）から「官民の役割分担に配慮して民間との競合を避けることが重要」といった旨の通知があるところ。

管 発 第 1 1 号
開 発 第 1 7 号
平成 10 年 3 月 31 日

都道府県職業能力開発主管部（局）長 殿

労働省職業能力開発局管理課長
能力開発課長

公共職業能力開発施設と専修学校等との調整等について

日頃より職業能力開発行政の推進に御尽力いただいているところであるが、近年の産業構造の変化、技術革新の進展、少子高齢化の進展等の中で、経済社会の発展を支えるものづくりを担う技能労働者を育成するための職業能力開発がますます求められている。

特に昨今の厳しい雇用失業情勢の中にあつて、職業能力開発行政においては、今後、離職者、在職者等を対象とした職業能力開発にこれまで以上に積極的に取り組んでいくことがますます重要である。

この中で、各都道府県におかれては、各地域の職業能力開発ニーズに対応し、産業が必要とする人材を育成するため、公共職業能力開発施設において、地域の実情に即した職業訓練業務を自主的に推進していただいているところである。

一方で、公共職業能力開発施設における職業訓練の実施に当たっては、官民の役割分担に配慮して民間の教育訓練施設との競合を避けることが重要であり、今後とも、公共職業能力開発施設における職業訓練と学校教育とが、重複・連携等に十分配慮して行われ、両々あいまって我が国経済発展の基盤をなす人材の育成を図っていくことが必要である。

この件に関しては、労働省と文部省の間において意見交換を行ってきたところであるが、両省の合意した内容については、別紙のとおりであるので、よろしく願います。

貴都道府県における職業能力開発行政の推進に当たり、下記に掲げる事項について、地域の実情に応じ御留意いただくよう、よろしく願います。

記

1 都道府県立の公共職業能力開発施設の設置・改廃について

都道府県立の職業能力開発短期大学校等の公共職業能力開発施設を整備する場合には、私立学校担当部局との連絡調整を密にするとともに、地元で専修学校等関係者も含めた協議の場等を設け、地域の状況を踏まえつつ、調整を図るようお願いしたいこと。特に、労働大臣の認可を受けて職業能力開発短期大学校等を設置しようとする場合には、入学定員や名称、設置場所、訓練分野等の必要な事項について調整を図るようお願いしたいこと。

2 公共職業能力開発施設に関する広報活動について

公共職業能力開発施設のパンフレット等において新規学校卒業者のみを対象としているかのような誤解を招く表現をすることや、新規学校卒業者のみを対象としているかのような誤解を招く方法での勧誘等を行わないようにされたいこと。

3 職業能力開発施設の名称等について

公共職業能力開発施設及び認定職業訓練を行う事業主等の設置する職業訓練施設は、職業能力開発促進法に基づく施設であり、学校教育法に基づく施設であるかのように混同させる表現を用いた名称をこれらの施設が用いることは適当ではないと考えられることから、都道府県立の公共職業能力開発施設の運営並びに認定職業訓練に対する指導に当たり以下の点に留意するようお願いしたいこと。

(1) 今後設置する施設については、

- ① 名称として職業能力開発促進法上の施設であることが明らかとなるような名称を用いるようにすること。
- ② 学校教育法の解釈に基づきまぎらわしいとされる名称は用いないこと。

(2) パンフレット等においては、学校教育との混同がなされないよう十分配慮した記述にすること（例えば、職業能力開発促進法上の施設であることを併記することその他により誤解を招く記述は避けること。）。

募集用及び広報用パンフレット、インターネットのホームページ等では、上記の趣旨が反映されるよう十分配慮されたいこと。

(3) 現在協議中の職業能力開発短期大学校及び既存の施設の取扱いについては引き続き検討するものであること。

4 公共職業能力開発施設の授業料等について

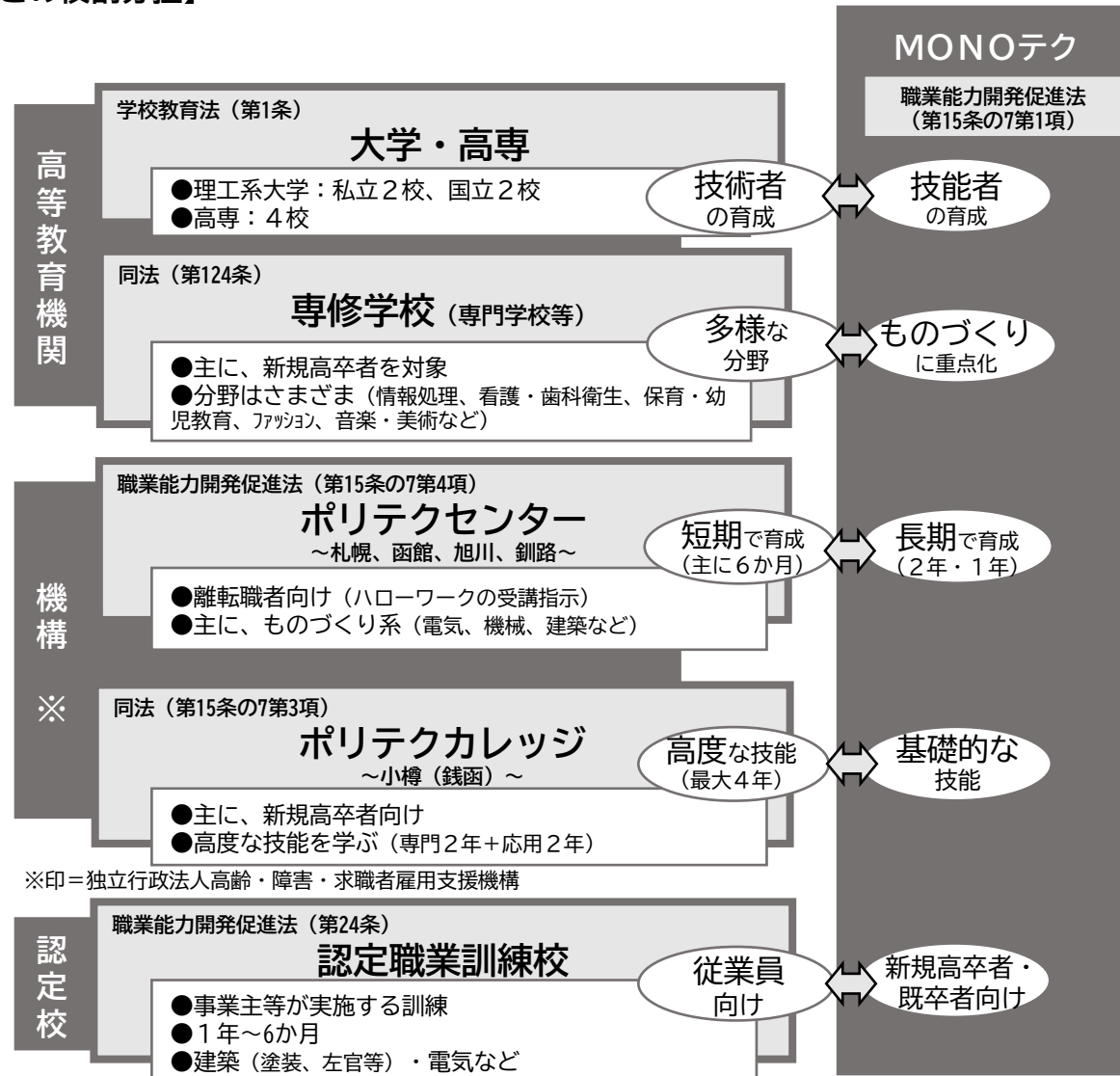
都道府県立の公共職業能力開発施設の授業料等については、受益者負担の観点から、都道府県の実情に応じ、その徴収のあり方について検討するようお願いしたいこと。

5 その他

具体の案件等で不明な点があれば、労働省職業能力開発局管理課又は能力開発課に照会いただきたいこと。

(担当) 管理課 計画指導係 (内線 5 9 1 4)
能力開発課 企画係 (内線 5 9 3 4)

【他機関との役割分担】



【道内における関係施設】

ポリテクセンター（職業能力開発促進センター）

◆独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）が運営する公的な職業訓練施設で、離職者が早期に再就職するための訓練などを実施。訓練期間は標準6か月。機械系や居住系などの「ものづくり」や経理や総務の「事務系（ビジネスワーク科）」がある。

		コース			コース	
北海道 (札幌)	機械系	機械・CAD技術科	函館	溶接クラフト科	旭川	
		CAD/CAM技術科		電気システム科		
		CADものづくりサポート科		住宅リフォーム科		
		機械保全サポート科 (導入講習・企業実習付)		設備管理科		
	居住系	ビル管理技術科		ビジネスワーク科	旭川	機械加工技術科
		住宅リフォーム技術科		金属加工科		
		住環境計画科		CADデザイン科		
	電気・電子系	住宅施工技術科 (導入講習・企業実習付)		電気システム科		ビル管理技術科
		電気設備科 (短期間訓練コース)		ビジネスワーク科		釧路
		電気設備技術科 (導入講習・企業実習付)		電気システム科		
		エコシステム科		ビジネスワーク科		
		電気制御技術科 (導入講習付)		ものづくりプログラム科 (導入講習付)	ものづくりプログラム科 (導入講習・企業実習付)	

ポリテクカレッジ（北海道職業能力開発大学校）

◆厚生労働省が所管する国立大学校で、JEEDが運営。高校卒業者等を対象に、高度な「ものづくり」を担えるエンジニア、専門の異なる技術者を取りまとめ先導するリーダーを育成。訓練課程は、専門課程(1・2年次)と応用課程(3・4年次)がある。

	専門課程 (1年、2年次)	応用課程 (3年、4年次)
機械系	生産機械技術科	生産機械システム技術科
電気系	電気エネルギー制御科	生産電気システム制御科
電子情報系	電子情報技術科	生産電子情報システム技術科
建築系	建築科	建築施工システム技術科

認定職業訓練校

◆事業主等が従業員等に対して行う職業訓練のうち、職業能力開発促進法に定める教科、訓練期間、設備などの基準に合うものとして、都道府県知事が認定した職業訓練施設。

名称	運営主体	所在地
土屋アーキテクチャカレッジ	(株)土屋ホーム	北広島市
札幌塗装技術学院	札幌塗装工業協同組合	札幌市
札幌左官高等職業訓練校	(職)札幌左官職業訓練協会	札幌市
札幌高等技術専門学校	(職)札幌市建築業組合	札幌市
札幌板金高等職業訓練校	北海道板金工業組合札幌支部	札幌市
千歳職業技術専門学校	(職)千歳地方職業訓練協会	千歳市
北日本鉄筋高等職業訓練校	北日本鉄筋高等職業訓練協会	札幌市
札幌ビューティックアカデミー	(職)札幌理美容能力開発協会	札幌市
函館総合建設高等職業訓練校	(職)函館総合建設訓練協会	函館市
テクノカレッジ 滝川	(職)滝川地方職業訓練協会	滝川市
岩見沢地方高等職業訓練校	(職)岩見沢地方職業訓練協会	岩見沢市
旭川建築高等職業訓練校	(職)旭川建築職業訓練協会	旭川市
旭川左官高等職業訓練校	(職)旭川左官職業訓練協会	旭川市
網走地方高等職業訓練校	(職)網走職業訓練協会	網走市
北見技術工学院	(職)北見地方職業能力開発協会	北見市
登別地方高等職業訓練校	(職)登別職業訓練協会	登別市
野口観光ホテル ロジェツヨナル学院	(職)野口観光職業訓練協会	苫小牧市
帯広地方高等職業訓練校	(職)帯広地方職業能力開発協会	帯広市
釧路高等技術専門学校	(職)釧路地方職業能力開発協会	釧路市

参考) 令和7年4月現在(休校中を除く)

地域職業訓練センター

◆地域の事業主により構成する公益法人等が運営。教育訓練を行う中小企業などに視聴覚教室、実習室、会議室などの施設提供、職業に関する講習・講座などを開催。

施設名	所在地	運営主体
北見地域職業訓練センター	北見市	一般社団法人 北見地域職業訓練センター運営協会
釧路地域職業訓練センター	釧路市	職業訓練法人 釧路地方職業能力開発協会
苫小牧地域職業訓練センター	苫小牧市	一般社団法人 苫小牧地域職業訓練センター運営協会
中空知地域職業訓練センター	滝川市	一般社団法人 中空知地域職業訓練センター運営協会

参考) 独立行政法人雇用・能力開発機構が設置していたが、同機構の廃止に伴い、2011年度から地域へ譲渡された施設

地域人材開発センター

◆中小企業の従業員に対する技能講習、MONOテクから委託された離転職者の再就職訓練、地域ニーズに対応した各種講座・講習、職業能力開発に関する相談・情報提供を実施。

施設名	所在地	運営主体
留萌地域人材開発センター	留萌市	公益社団法人 留萌地域人材開発センター運営協会
遠紋地域人材開発センター	遠軽町	一般社団法人 遠紋地域人材開発センター運営協会
岩内地域人材開発センター	岩内町	職業訓練法人 岩内地域人材開発センター運営協会
日高地域人材開発センター	浦河町	公益社団法人 日高地域人材開発センター運営協会
上川北部地域人材開発センター	名寄市	公益社団法人 上川北部地域人材開発センター運営協会
富良野地域人材開発センター	富良野市	公益社団法人 富良野地域人材開発センター運営協会
檜山地域人材開発センター	江差町	一般社団法人 檜山地域人材開発センター運営協会
美唄地域人材開発センター	美唄市	一般社団法人 美唄地域人材開発センター運営協会

参考) 廃止となった8つの高等技術専門学校から転換となった施設

(7) 執行体制（職業訓練指導員）

運営方針（H31年3月策定）

◆訓練水準の維持や安全性の確保等を図るため、入校定員に応じて、職業訓練指導員（以下「指導員」という。）を適正に配置。

◆技術革新への対応などから、さまざまな研修の実施により、指導員の資質向上を図る。

運営方針の「点検・評価」

<点検>

●訓練科によって指導員の欠員が生じているため、指導員の新規採用を行っているが、応募者が少ないこと、合格基準に至らないことがあり、合格者が採用予定数を下回る場合がある。

●職業能力開発総合大学校（東京都小平市）や民間企業に指導員を派遣し、新たな技術の習得や実践的能力の向上などに努めている。

<評価>

●今後とも引き続き、指導員の欠員解消とともに、研修の実施を通じて、指導員の資質向上を図る必要がある。

【職業訓練指導員の採用】

採用年	採用数	職系
H31	4月	3名 電子、自動車整備、印刷
R元	6月	2名 金属加工、木工
R2	4月	5名 機械、木工、建築、塗装 1名 建築
	6月	2名 建築、金属加工
R3	4月	3名 設備施工、印刷、電子
	11月	1名 印刷
R4	4月	1名 電力 1名 印刷
	10月	5名 電子、木工、建築、自動車整備、事務
	R5	2月
R5	3月	1名 印刷
	4月	1名 自動車整備
	10月	1名 機械
	R6	2月
R6	4月	2名 電力、自動車整備

【職業訓練指導員の資質向上】

研修体系	項目	R元	R2	R3	R4	R5	R6	計
指導技法	総合大（派遣）	0	2	2	9	1	11	25
	総合大（オグ-メト型）	2	0	0	0	28	0	30
	企業派遣	3	2	0	3	2	0	10
	道主催研修	12	8	0	0	7	13	40
新技術	総合大（派遣）	10	0	0	1	7	7	25
	総合大（オグ-メト型）	13	0	22	7	0	0	42
	企業派遣	2	0	2	2	2	0	8
	道主催研修	0	7	3	8	0	0	18

(7) 執行体制（能力開発総合センター）

運営方針（H31年3月策定）

◆能力開発サービス機能の充実と就職支援体制の確立に向け、H22年度に技専内に「能力開発総合センター」を設置。

◆H23年度に、独立行政法人雇用・能力開発機構の廃止に伴い、それまで同機構が担っていた委託訓練業務を、能力開発総合センターが担うこととなり、委託訓練や在職者訓練（能力開発セミナー）といった施設外訓練の業務等を重点的に実施。

運営方針の「点検・評価」

<点検>

- 能力開発総合センターは、施設外訓練のほかに、能力開発コンサルティング等の業務を担っており、MONOテクが地域の職業能力開発の中核的な施設としての役割を果たす上で、重要な機能を有している。
- 同センターの業務のうち、施設外訓練のうち委託訓練については、R6年度実績203コースで、R元年度比で79コースの減少。

<評価>

- 今後とも、委託先となる民間教育訓練機関やハローワーク、関係業界団体と連携して、効果的な職業能力開発を進めていくことが必要。
- 今後は、同センターの有する機能を最大限に発揮できるよう、訓練生と在職者の合同訓練など、新たな取組を進めていくことが必要。

【能力開発総合センターの主な業務】

施設外訓練の企画・実施

意欲や能力に応じた多様な訓練メニューづくり、幅広い求職者層の就業能力の向上

訓練生への就職支援

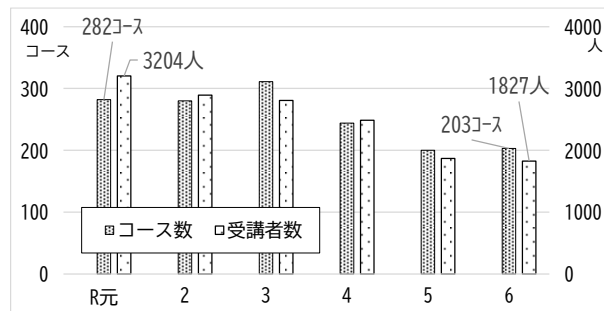
施設内訓練の訓練生に対する求人開拓、就職相談

関係団体との連携普及啓発

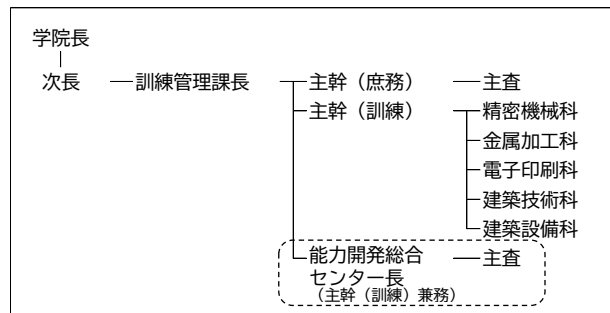
地域の技能士会等との連携、ものづくり教室の開催など

など

【施設外訓練（委託訓練）の推移】



【能力開発総合センター（MONOテク札幌の場合）】



(8) 施設・設備の整備等

運営方針 (H31年3月策定)

◆安全で快適な訓練環境の整備、入校促進と満足度向上を図るために、施設の改修等に努める。また、技術革新への対応等のため、実習用機器の計画的な更新・整備に努める。

◆質の高い訓練を提供できるよう、国補助金・交付金など、必要な予算確保に努める。



運営方針の「点検・評価」

<点検>

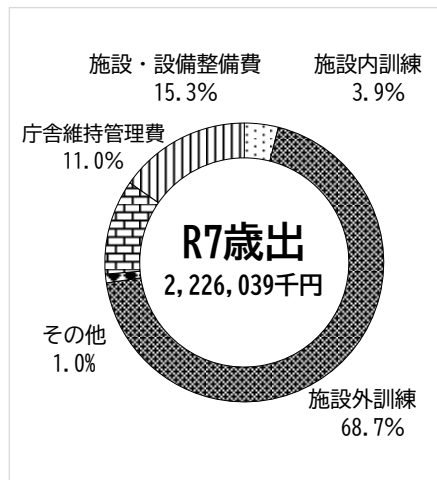
●R7年度のMONOテク関連予算は約22億円。その6割以上が委託訓練の関連となっている。

- ・歳出 施設外訓練費 1,529,641千円 (68.7%)
うち委託訓練分 1,520,345千円
- ・歳入 国の委託金 1,499,360千円 (67.4%)
うち委託訓練分 1,491,154千円

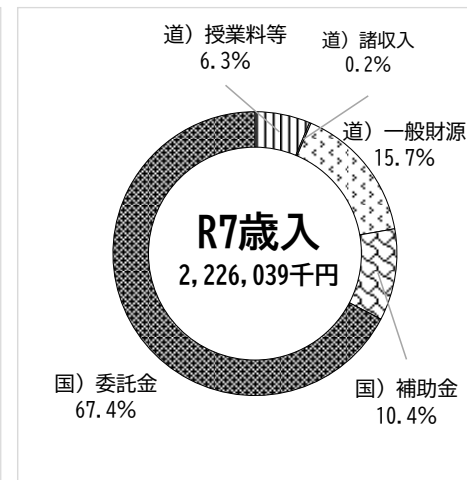
<評価>

●施設の改修、実習用機器の更新・整備等については、MONOテクの実情を十分に踏まえた上で、計画的に実施していく必要がある。

【関連予算 (R7年度)】



	金額 (千円)	構成比
施設内訓練	87,649	3.9%
施設外訓練	1,529,641	68.7%
その他	22,531	1.0%
庁舎維持管理	245,307	11.0%
施設・設備整備	340,911	15.3%
計	2,226,039	100.0%



	金額 (千円)	構成比
道) 授業料等	139,787	6.3%
道) 諸収入	3,936	0.2%
道) 一般財源	350,432	15.7%
国) 補助金	232,524	10.4%
国) 委託金	1,499,360	67.4%
計	2,226,039	100.0%

【委託訓練の予算 (R7年度、金額単位：千円)】

(金額単位：千円)

	R7歳出	R7歳入				
		国		道		
		委託金	補助金	授業料等	諸収入	一般財源
R7年度予算	2,226,039	1,499,360	232,524	139,787	3,936	350,432
うち施設外訓練	1,529,641	1,492,800	17,501		1,838	17,502
うち委託訓練	1,520,345	1,491,154	14,595			14,596

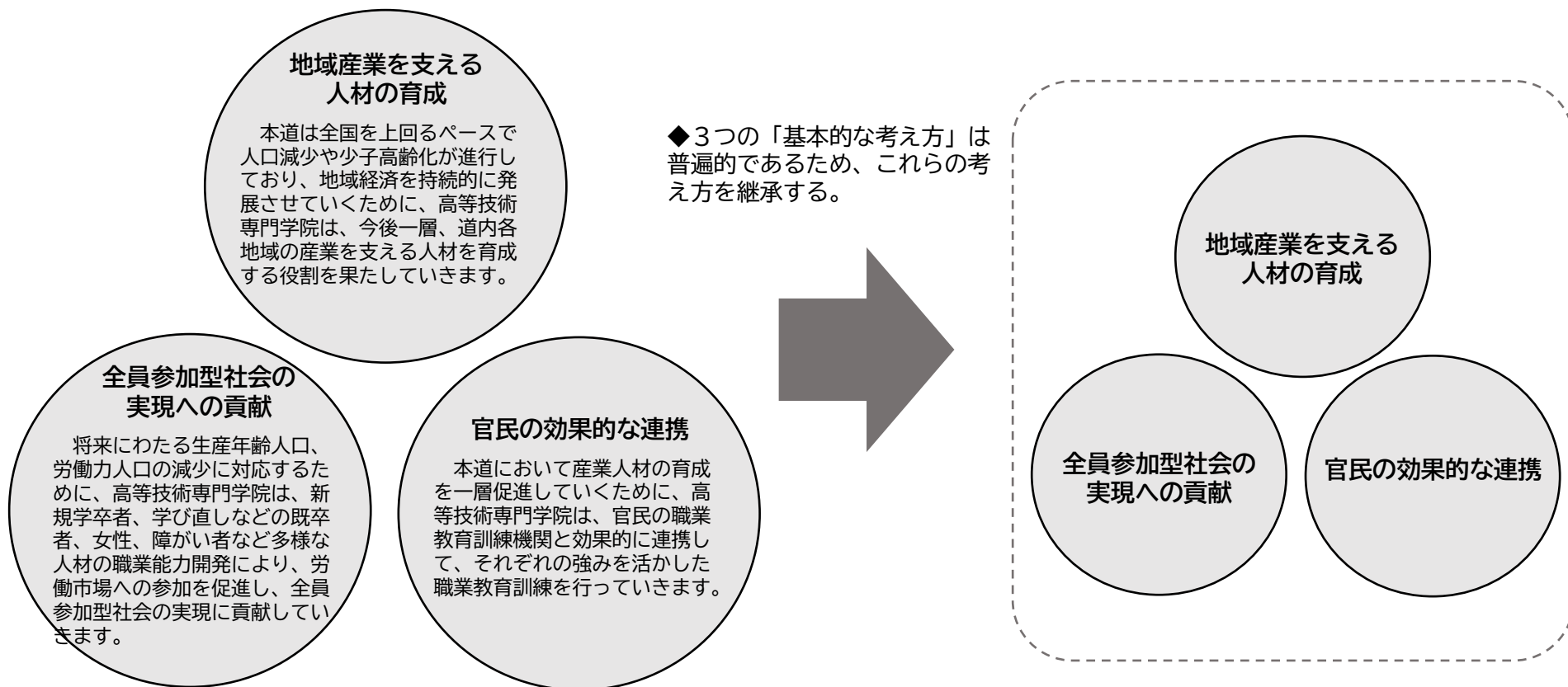
VII. 今後の方向性

1. 基本的な考え方

- 道立の公共職業能力開発施設であるMONOテクは、次の「基本的な考え方」に沿って運営する。

【運営方針（H31年3月策定）における「基本的な考え方」】

【「MONOテクのあり方」における「基本的な考え方」】



【これまでの考え方】

◆H20年3月策定の「中長期ビジョン」においても、3つの基本的な考え方について記されている。

高等技術専門学院の新しい推進体制に関する基本方針（中長期ビジョン(H20年3月策定)）

ビジョンの目指す姿

【将来像】

人口減少下においても、本道経済は持続的に発展し「豊かな北海道」を実現

【目標】

- 競争力のある力強い産業構造への転換に向けて、人材の育成・高度化を進め、企業の生産性向上に寄与
- 「働きたい人にとって働く場がある」という雇用を確保していくため、意欲を能力を活かしながら、個々の就業能力の向上を促進

【基本的な方向性】

- 基本方向1 若年者における労働需給ミスマッチの解消を目指し、質の高い若手技能者を育成
- 基本方向2 雇用環境や就業形態が大きく変化する中、幅広い層を対象に、様々な職業能力開発の機会や場を提供
- 基本方向3 「民間にできることは民間に委ねる」との趣旨の下、民間との役割分担と連携を推進

地域産業を支える
人材の育成

全員参加型社会の
実現への貢献

官民の効果的な連携

今後の高等技術専門学院の運営方針（運営方針(H31年3月策定)）

6 今後の技専の方向性

(1) 基本的な考え方

少子高齢化や人手不足の進行など、職業訓練を取り巻く状況や雇用情勢の変化を踏まえ、道立の公共職業能力開発施設である技専は、今後、次の3つの基本的な考え方に沿って運営します。

ア 地域産業を支える人材の育成

本道は全国を上回るペースで人口減少や少子高齢化が進行しており、地域経済を持続的に発展させていくために、高等技術専門学院は、今後一層、道内各地域の産業を支える人材を育成する役割を果たしていきます。

イ 全員参加型社会の実現への貢献

将来にわたる生産年齢人口、労働力人口の減少に対応するために、高等技術専門学院は、新規学卒者、学び直しなどの既卒者、女性、障がい者など多様な人材の職業能力開発により、労働市場への参加を促進し、全員参加型社会の実現に貢献していきます。

ウ 官民の効果的な連携

本道において産業人材の育成を一層促進していくために、高等技術専門学院は、官民の職業教育訓練機関と効果的に連携して、それぞれの強みを活かした職業教育訓練を行っていきます。

Ⅶ. 今後の方向性

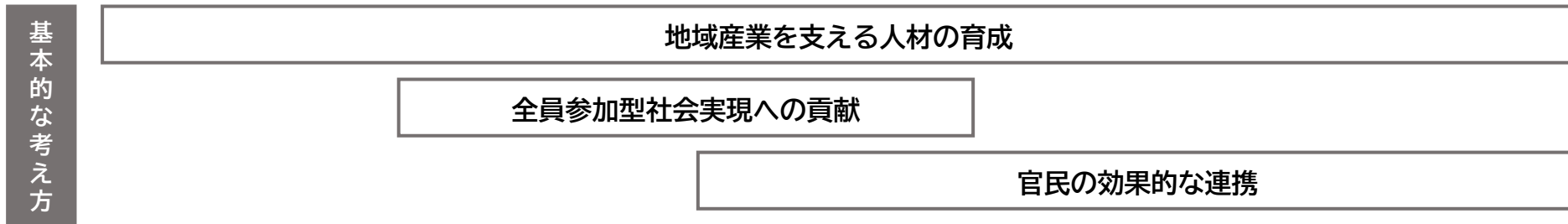
2. 目標指標

- これらの「基本的な考え方」に基づく取組を進めていくため、最終年度（R12）の目標値を定め、毎年、進捗状況を確認する（※1）。

目標指標	①<施設内訓練> 修了生の 関連業界就職率	②<施設内訓練> 既卒者の入校者数	③<委託訓練> 修了生の就職率	④<在職者訓練> 受講者の満足度	⑤訓練生と在職者の 合同訓練の実施数 (※2)
	<p>◆現状 90.1% (R6年度)</p> <p>◆目標値 95.0% (R12年度)</p> <p>[考え方] ●過去10年間における 最大値以上を目指す (R3年度94.4%)</p>	<p>◆現状 48人 (R7年度)</p> <p>◆目標値 100人 (R12年度)</p> <p>[考え方] ●直近（R7年度）の2 倍以上を目指す</p>	<p>◆現状 67.2% (R6年度)</p> <p>◆目標値 74.0% (R12年度)</p> <p>[考え方] ●都道府県のR5実績以 上（平均73.6%）</p>	<p>◆現状 97.5% (R6年度)</p> <p>◆目標値 98.0% (R12年度)</p> <p>[考え方] ●過去10年間における 最大値以上を目指す (R6年度：97.5%)</p>	<p>◆現状 1コース (R7年度)</p> <p>◆目標値 16コース (R12年度)</p> <p>[考え方] ●8校×2コースの実 施を目指す ●R9年度の目標値は8 コースとする（8校× 1コース）</p>

※1 各指標の進捗管理にあたっては、訓練科の評価項目（応募倍率、就職率、求人倍率など）に加え、修了生の地元定着率など「地域産業を支える人材育成」への貢献に係るデータの把握に努め、令和10年度の間時点での点検・検証時の参考とする。

※2 「合同訓練」とは、MONOテック施設内訓練の一部を、訓練生と在職者が一緒に受講すること。



Ⅷ. 今後の取組

Ⅶ. 今後の取組

1. 訓練体制のあり方 ～8校1分校・33科～

- これまでの取組や関係者の意見を踏まえ、今後の方向性は下図のとおりとする。

これまで

< 現行の訓練体制 >

- ・ 6つの連携地域で、ものづくり系の訓練科を設置（10職系33科）
- ・ 大学、専門学校、ポリテクなど、他機関との役割分担
- ・ 近年、入校者が減少し、R7年度定員充足率は41.5%。

< 必要性 >

- ・ 6つの連携地域毎に、道民に職業訓練の機会を提供
- ・ 雇用情勢悪化時に、雇用のセーフティネットの役割を果たす
- ・ インフラを支える産業は人手不足が深刻化。その技能関係が訓練科目

< 見直し（H20～28） >

- ・ 2校16科を削減し、現在の8校1分校33科に（滝川と網走の廃止、民間との役割分担による見直し、道央3校体制の再編）

< 課題 >

- ・ 入校者数が低迷し、設備や人員といったリソースが有効活用されておらず、地域の人材ニーズに充分応えられていない。

関係者の意見

企業

- ・ 工業高校だけでなく、商業や水産高校にも声をかけている。MONOテクから修了生をいただき感謝。
- ・ 入校者が厳しいのは承知。でも、科目廃止にならないようにしてもらいたい。
- ・ 札幌に進学すると札幌で就職し、地元に戻らない。MONOテク函館の存続はお願いしたい。
- ・ 施工技術者は特に地方で不足。人を育てるノウハウや時間が不足しているので、MONOテクの存在は貴重。

審議会

- ・ 地域から非常に期待されている。定員充足率に囚われると、存廃の話になるが、非常時を考えると、MONOテクの機能は残すべき
- ・ 建物が整備され、機械が充実。民間ではこうした職業訓練はできない。その役割は非常に大きい。
- ・ 定員充足率は4割を切りそう。少子化の中、何かドラスティックに変えないといけないのでは。

今後の方向性

- 他MONOテクや他科との連携した訓練により、設備や指導員の有効活用や訓練効果の向上を図る。
取組イメージ： 異なる職系の訓練科で、同一の資格を目指す場合の学科の合同受講（技能講習など）
他科でも役立つ技能のカリキュラム等の共有（機械と電気・電子、自動車整備と塗装など）
- 当面は、現行の訓練科体制を基本にしつつ、訓練内容の見直し、MONOテク間のネットワークの活用、入校生の確保対策を進めるとともに、中間時点で点検・検証

訓練科の評価方法

- 今後、入校生の確保対策や訓練内容とともに、訓練科の評価方法についても見直しを行う。

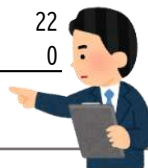
これまで

全33訓練科について、6つの評価項目により、2段階で評価。
1次評価でC評価の科は2次評価を行うが、ほとんどが2次評価ではA評価又はB評価になっている。

		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均
1次評価	A	3	1	2	4	1	1	1
	B	1	2	0	2	3	1	1
	C	29	30	31	27	29	32	31

C評価の科は、2次評価の対象に

		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均
2次評価	A	18	14	20	13	15	17	9
	B	11	13	11	10	13	13	22
	C	0	3	0	4	1	1	0



1次評価

■評価項目

- ①応募倍率 (入口)
- ②就職率 (出口)

■基準

- A評価 応募倍率 ≥ 1 倍
かつ 就職率 $\geq 90\%$
- B評価 $1倍 > 応募倍率 \geq 0.9倍$
または $90\% > 就職率 \geq 80\%$ で
C評価を除く
- C評価 応募倍率 $< 0.9倍$
または 就職率 $< 80\%$

■判定

- A評価 特段の問題なし
- B評価 一部内容について調査・
分析が必要
- C評価 2次評価を行う

2次評価

■評価項目

- ③求人倍率 (出口)
a : $x \geq 1倍$ b : $1倍 > x \geq 0.9倍$ 、 c : $x < 0.9倍$
- ④関連業界就職率 (出口)
a : $x \geq 91\%$ 、 b : $91\% > x \geq 80\%$ 、 c : $x < 80\%$
- ⑤雇用の質 (出口)
a : $x \geq 98\%$ 、 b : $98\% > x \geq 80\%$ 、 c : $x < 80\%$
- ⑥訓練生の満足度 (訓練の質)
a : $x > 93\%$ 、 b : $93\% \geq x \geq 73\%$ 、 c : $x < 73\%$

■基準

- A評価 aが3個以上でcがなし
- B評価 A評価及びC評価以外
- C評価 cが2個以上

■判定

- A評価 訓練が順調に進んでいるものとし、特段の問題なし
- B評価 評価基準を満たさなかった1次評価及びc項目について、調査・分析の上、必要に応じ改善に取り組む
- C評価 1次評価及び2次評価について、要因の調査・分析の上、地域の産業界の人材ニーズや定員充足率等を勘案し総合評価を行い、必要な見直しに反映

今後の方向性

見直しの主なポイント

評価基準

【これまで】
入口の指標である「応募倍率」が評価結果に反映されない仕組みになっている

【見直しの方向性(案)】
入口・出口のいずれに問題が生じたとしても評価に表れるよう均衡の取れた制度等を検討

評価時期

【これまで】
平均で評価しており、各年度の評価が表れない

【見直しの方向性(案)】
効果的な見直しが行われるよう、平均と単年度を併用した評価等を検討

見直しの進め方

MONOテクや地元の関係業界・関係機関、また、北海道労働審議会の意見などを踏まえながら、訓練科の評価方法の見直しを行う

訓練体制のあり方の検討

中間時点 (R10) に、新たな評価方法により点検・検証し、訓練体制のあり方を検討

2. 訓練内容の不断の見直し ～ニーズに応じた訓練の実施～

- これまでの取組や関係者の意見を踏まえ、必要とされるMONOテクを目指すため、企業・地域ニーズに対応した訓練を実施する。

これまでの取組

<訓練内容の見直し>

- ・ R2年度の見直し
 - ①訓練科目の転換 北見「電子機械科」⇒「機械技術科」
 - ②訓練課程の見直し 旭川「色彩デザイン科」
- ・ 企業や地域ニーズを把握し、訓練カリキュラムや実習用機材の整備に意見を反映

<既卒者の入校促進>

- ・ 入校しやすい1年制の導入、自己推薦制度の導入拡大など

<施設外訓練の着実な実施>

- ・ 委託訓練（離転職者向け。事務や介護など）
- ・ 在職者訓練（能力開発セミナー。中小企業の従業員向け）

関係者の意見

企業

- ・ **短期コース**で内容を凝縮し、人材を送り出すようなことはできないか。
- ・ 業界は資格が大事。**夜間や空き定員を活用し**、必要な資格対策等の学科だけ参加、という仕組みを。
- ・ 経済的に厳しい家庭や、地方に住む方だと、2年間の訓練期間は長い。**1年制ができれば良い。**

審議会

- ・ 初任給も良くなっているので「MONOテクで勉強せずに、企業に入ってから勉強しよう」となっているのでは。今後は、**企業と連携して社員を受け入れて**はどうか。
- ・ **外国人向けに**、スキルアップを図るための機会を設けてはどうか。

今後の方向性

ニーズに対応した訓練の実施

背景

新たな課題への対応

◆ダイキン工業(株)との連携のもと、エアコン需要の急増に対応するため、R7年度から「家庭用エアコン据付工事講習」を実施。

◆こうした事例を参考に、今後、**企業・地域ニーズを踏まえ、民間と連携した訓練を検討。**

背景

在職者の訓練ニーズ

◆空き定員分を活用して、訓練生と**企業の従業員が一緒に学ぶ**短期間コースの実施

◆外国人材やリスキリングの実情や訓練ニーズの把握と短期訓練への反映検討

背景

既卒者の入校が少ない

◆自動車整備科1年制（三級整備士養成課程）の導入
 （既卒者向けに、1年間で基本的な整備ができる三級整備士の養成課程をMONOテク旭川でR8年度から導入（二級整備士(2年間の養成課程と併設)）

◆短期間で基本的な技能や資格を身に付けられる1年制のメリットを広く周知し、入校促進を図る

背景

DX・AIの進展

◆デジタルやAIに関する基礎知識関係を習得する**機会づくり**

Ⅷ. 今後の取組

3. 入口対策 ～入校生の確保～

- これまでの取組や関係者の意見を踏まえ、MONOテクや職業訓練の認知度が低いことから発信力の向上とともに、ものづくりの魅力やMONOテクの強みを伝える。

これまでの取組

<訓練内容の見直し>

- ・管内学校への案内・周知
- ・HPやSNSによる情報発信
- ・オープンキャンパスやイオンでの「実習作品展」等一般向けイベントの実施

<既卒者の入校促進>

- ・既卒者の入校促進のため、年齢制限の撤廃など見直しを実施
- ・ハローワークとの連携強化や転職イベント等への参加による既卒者向けPR

指導やカリキュラムに対する在校生の満足度は9割を超えるなど、一定の成果あり。

関係者の意見

企業

- ・中学校で出前授業なども積極的に行っている。親のイメージを変えていく必要があると思う。
- ・MONOテクが何をやっている施設か、分からない人が多いと思う。施設開放をして、知ってもらわなければならない。

審議会

- ・小学生の頃から、ものづくりの良さをアピールすることが、中長期的かもしれないが、入校促進につながるのでは。
- ・就職、大学進学とともに、MONOテクも将来の選択肢となるよう、認知度を高めてほしい。

今後の方向性

背景

- ・発信力の低さ
- ・若者のものづくり離れ
- ・キャリア等のイメージがわきにくい
- ・既卒者の入校が少ない

方向性

- ◆離職・転職者や女性、親世代などターゲット層に応じた内容や媒体による発信
- ◆地元自治体やハローワークと連携した広報・イベントの実施
- ◆地域の産業や暮らしを支える「ものづくり」の仕事のやりがい等を「見える化」
- ◆MONOテクの強みのPRを通じて、ポジティブな印象を持ってもらう
- ◆離転職者向けに、1年制の訓練課程のメリットを広く伝える

取組イメージ

対象	主な媒体例	主な訴求ポイント
離職・転職者 親世代 女性	ハローワーク SNS、HP 自治体等広報誌	就職率の高さ 未経験から資格取得可能 地元就職
小中学生ほか 広く一般向け	イベント（出前授業、見学会・体験会）、HP	ものづくりの魅力（体感）、やりがい、技術の高さ

※ターゲット層に応じ、媒体・訴求ポイントを選択し、効果的に発信

- ◆ものづくりの魅力、MONOテクの強みPR
 - ・訓練の様子を紹介（家屋建築、金属溶接など）
 - ・修了生（女性、既卒者含む）の活躍を紹介
 - ・技能五輪での活躍（技能の高さ）を紹介

地域との連携・協力体制の強化

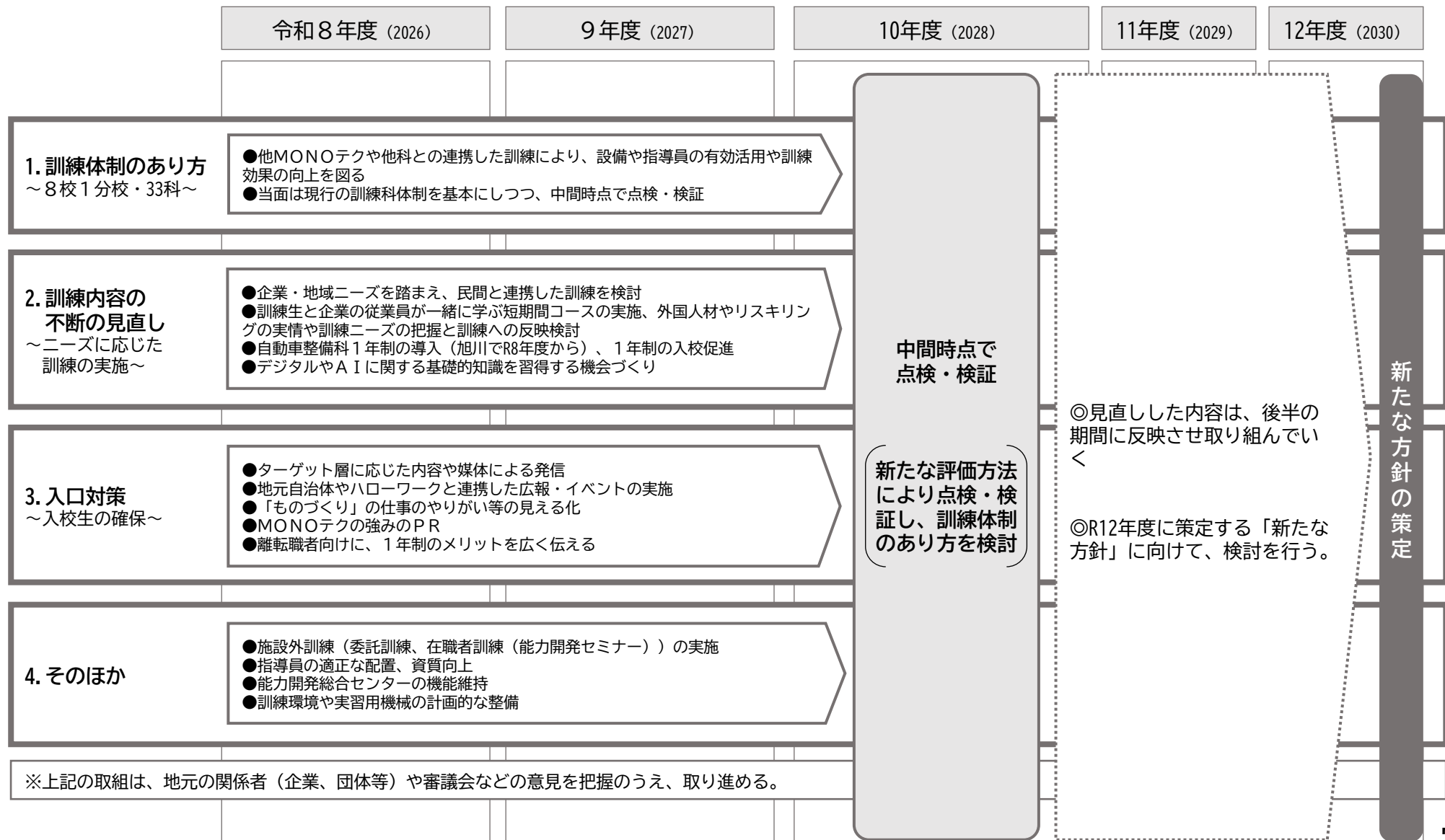


運営協議会や後援会、地元自治体、ハローワークや様々な関係者との連携を深め、求人、広報、給付金制度等の協力を得られるよう体制を強化

IX. 推進管理

IX. 推進管理

- 対象期間は、R8年度からR12年度までの5年間とし、中間時点で点検・検証を行う。
また、R12年度に策定する「新たな方針」に向けて、後半の期間に検討を行う。



X. 參考資料

1. 10職系33訓練科

①機械系

精密機械科（札幌、室蘭、苫小牧）、機械技術科（函館、北見）



主な訓練内容

【学科】機械工学概論／電気工学概論／NC加工概論／生産工学概論／材料力学／材料／製図／機械工作法／測定法／安全衛生／応用材料力学／機械加工法／機械保安法 など

【実習】コンピュータ基本操作実習／製図基本実習／安全衛生作業法／測定実習／NC工作実習／機械工作実習／制御機器組立実習／機械保全実習 など

取得可能な資格

【在学中】2、3級機械技能士〈普通旋盤作業〉／3級機械プラント製図技能士〈機械製図CAD作業〉／技能講習修了証〈ガス溶接、玉掛け〉／溶接技能者評価試験〈基本級〉／安全衛生特別教育修了証〈研削用といし、5トン未満クレーン運転、アーク溶接〉／技能士補

【修了後】1、2級技能士〈機械加工、放電加工、金型製作、仕上げ、機械検査、機械保全の各職種〉／職業訓練指導員免許

主な就職先

機械製作会社／機械部品製作会社／自動車部品製作会社／精密金型製作会社／食品加工機械製作会社／航空機械部品製作会社／農業機械製作会社

②金属加工系

金属加工科（札幌、室蘭、苫小牧、帯広）



主な訓練内容

【学科】機械工学概論／電気工学概論／塑性加工概論／生産工学概論／材料力学／金属材料学／製図／溶接法／測定法／安全衛生／鉄骨構造／鉄鋼材加工法／試験及び検査法 など

【実習】測定基本実習／機械操作基本実習／溶接基本実習／熱切断基本実習／プレス加工基本実習／CAD基本実習／安全衛生作業法／ガス溶接技能講習／玉掛け技能講習／鉄鋼材加工実習／構造物製作実習／試験及び検査実習／鉄骨積算実習／溶接施工実習 など

取得可能な資格

【在学中】溶接技能者評価試験基本級〈半自動溶接、手溶接〉／技能講習修了証〈ガス溶接、玉掛け〉／安全衛生特別教育修了証〈研削用といし、5トン未満クレーン運転、アーク溶接、特定粉じん作業、産業用ロボット〉／ガス溶接作業主任者／技能五輪北海道大会〈構造物鉄工〉出場（23歳以下）／技能士補

【修了後】1、2級技能士〈構造物鉄工、製缶作業〉／作業主任者免許〈ガス溶接、エックス線〉／溶接技能者適格性証明書／溶接管理技術者適格性証明書／職業訓練指導員免許

主な就職先

鉄鋼関連企業／プラント（生産設備）製作関連企業／製缶関連企業／橋梁製作関連企業／重機及び特殊車両製作会社／公園遊器具製作会社／建築金物製作会社

③建築施工系

建築技術科（札幌、函館、旭川、北見、帯広、釧路）



主な訓練内容

【学科】建築概論／建築構造概論／木質構造／建築計画概論／工作法／材料／木造建築施工法／仕様・積算／関係法規／構造力学概論／建築設備／建築生産概論／測量／規矩術 など

【実習】器工具使用法／工作実習／測量基本実習／木造建築施工実習／創作実習／設計製図／機械操作基本実習（CAD）／安全衛生作業法 など

取得可能な資格

【在学中】2、3級建築大工技能士〈大工工事作業〉／技能五輪北海道大会〈建築大工〉出場（23歳以下）／安全衛生特別教育修了証〈フルハーネス型安全帯、足場の組立て等作業従事者〉／安全衛生教育修了証〈丸のこ等取扱い作業従事者〉／技能士補

【修了後】2級建築士／1級建築大工技能士〈大工工事作業〉／2級建築施工管理技士／職業訓練指導員免許

主な就職先

建築工務店／ハウスメーカー／総合建設会社／建築関連企業

④印刷・製本系

電子印刷科（札幌）、印刷デザイン科（旭川）



主な訓練内容

【学科】コンピュータ概論／印刷・製本概論／デザイン概論／生産工学概論／安全衛生／画像処理／グラフィックデザイン／写真理論／プリプレス／印刷製本加工法 など

【実習】コンピュータ操作基本実習／印刷物作成及び加工基本実習／安全衛生作業／印刷・製本基本実習／レイアウトデザイン実習／デジタル写真撮影実習／画像処理実習／製版・印刷実習 など

取得可能な資格

【在学中】色彩検定〈2級、3級〉／Webクリエイター能力認定試験／Microsoft Office Specialist／技能士補

【修了後】1、2級技能士〈オフセット印刷、製版（DTP作業）〉／印刷営業士／印刷生産士／職業訓練指導員免許

主な就職先

総合印刷会社／デザイン会社／製本会社／写真スタジオ／広告代理店／印刷関連会社

⑤設備施工系

建築設備科（札幌）



主な訓練内容

【学科】給排水衛生設備／空調設備／設備製図／仕様及び積算／配管概論／配管施工法／安全衛生／機械工学概論／電気工学概論 など

【実習】配管基本実習／器具使用法／溶接・ろう付け基本実習／CAD基本実習／CAD応用実習／IT操作実習／配管施工実習／運転及び調整実習／設備施工実習／電気工事実習 など

取得可能な資格

【在学中】液化石油ガス設備士／2級ボイラー技士／消防設備士乙種1類／第3種冷凍機械責任者／2級管工事施工管理技士／第二種電気工事士／建築CAD検定3級／危険物乙4類／技能講習修了証〈ガス溶接〉／安全衛生特別教育修了証〈アーク溶接、研削用といし、酸素欠乏危険作業、石綿使用建築解体、特定粉じん作業、低圧電気取扱、クレーン等の玉掛け、巻き上げ機の運転〉／技能五輪北海道大会〈建築配管2級技能士〉出場（23歳以下）／技能士補

【修了後】1級管工事施工管理技士／消防設備士甲種1類／建築配管1級技能士／第1、2種冷凍機械責任者／1級ボイラー技士／第一種電気工事士／職業訓練指導員免許

主な就職先

配管施工会社／設備工事設計会社／ビル管理メンテナンス会社

⑥電力系

電気工学科（北見、帯広、釧路）、電気工事科（苫小牧）



主な訓練内容

【学科】電気理論／生産工学概論／自動制御概論／測定法・試験法／電気機器／製図／電気材料／関係法規／電力工学／電気工事／電気応用／電子工学／施工管理／消防設備 など

【実習】機器修理実習／ケーブル工事実習／電線取扱実習／CAD操作実習／弱電設備工事実習／外線工事実習／配電制御盤実習／模擬家屋配線実習／防災配線工事実習／制御応用実習 など

取得可能な資格

【在学中】第二種電気工事士／第一種電気工事士（実務経験3年）／消防設備士〈甲種第4類〉／安全衛生特別教育修了証〈フルハーネス型安全带、アーク溶接、低圧電気取扱〉／技能士補

【修了後】2級電気工事施工管理技士／第三種電気主任技術者／外線工事士／工事担当者／職業訓練指導員免許

主な就職先

電気設備設計施工会社／電気通信設備設計施工会社／防災設備会社／ビル・メンテナンス会社

⑦第2種自動車系

自動車整備科（函館、旭川、北見、帯広、釧路）



主な訓練内容

【学科】生産工学概論／電気及び電子理論／材料／エンジンの構造・性能／シャシの構造・性能／電気装置の構造・性能／自動車の力学及び数学／燃料及び潤滑油／安全衛生／関係法規 など

【実習】測定基本実習／安全衛生作業法／ガス溶接技能講習／エンジン整備実習／シャシ整備実習／電気装置整備実習／自動車検査実習／故障原因探求実習／自動車工学実験実習 など

取得可能な資格

【在学中】安全衛生特別教育修了証（アーク溶接、低圧電気取扱、タイヤ空気充填、電気自動車等の整備）／技能講習修了証（ガス溶接）／技能士補

【修了後】二級自動車整備士（ガソリン、ジーゼル）（実技試験免除）／自動車整備主任者／自動車検査員／職業訓練指導員免許

主な就職先

自動車販売会社／自動車整備工場／自動車用品販売店／板金・塗装会社／農業機械販売・整備会社／建設機械販売・整備会社

⑧木材加工系

造形デザイン科（旭川、北見、帯広）



主な訓練内容

【学科】木材加工法／生産工学概論／材料／工作法／製図／安全衛生／デザイン概論／色彩概論／ソフトウェア概論／デザイン製図／塗装法／基礎造形／室内計画／人間工学概論 など

【実習】器工具使用法／機械操作基本実習／工作基本実習／塗装基本実習／塗装実習／設計実習／NC工作操作実習／製品デザイン実習／造形実習／木製品創作実習／組立及び仕上げ実習 など

取得可能な資格

【在学中】色彩検定（2級、3級）／インテリアコーディネーター／有機溶剤作業主任者／技能五輪北海道大会出場（23歳以下）／技能士補

【修了後】1、2級技能士（家具、建具）／木材加工用機械作業主任者／職業訓練指導員免許

主な就職先

家具製作会社／建具製作会社／店舗什器製作会社 / デザイン関連会社

⑨電気・電子系

システム制御技術科（函館、旭川）



主な訓練内容

【学科】生産工学概論／電気理論／電気工学／材料／製図／測定法／関係法規／電気磁気学／デジタル回路／電子機器／制御工学論／通信工学論／ネットワーク論／システム設計論 など

【実習】測定基本実習／回路図作成・組立基本実習／デジタル回路基本実習／プログラム作成実習／制御システム実習／センサ・アクチュエータ実習／制御用電子回路作成実習／制御用プログラム作成実習／総合システム作成実習 など

取得可能な資格

【在学中】工事担任者〈全種〉／サーティファイ認定試験〈C言語・Java・Webクリエイター〉／情報処理技術者〈ITパスポート・基本情報技術者〉／第二種電気工事士／技能士補

【修了後】職業訓練指導員免許

主な就職先

制御機器製造会社／通信設備会社／各種製造会社／組込システム関連会社／ソフトウェア関連会社／家電販売会社

⑩塗装系・デザイン系

色彩デザイン科（旭川）



主な訓練内容

【学科】塗装法概論／塗料概論／塗装設備及び機器／関係法規／塗装法／使用及び積算／色彩概論／基礎製図／マーケティング論／材料及び加工法／色彩計画／ビジュアルデザイン／製図 など

【実習】機械操作基本実習／デザイン基本実習／調色基本実習／塗装基本実習／塗装機器操作実習／木工塗装実習／塗料・塗膜検査実習／平面及び立体構成基本実習／色彩構成基本実習／設計実習／工作実習／広告物製作実習／展示及び装飾実習 など

取得可能な資格

【在学中】危険物取扱者〈乙種第4類〉／色彩検定〈2級、3級〉／有機溶剤作業主任者技能講習／安全衛生特別教育修了証〈足場の組立て等作業従事者〉／カラーコーディネーター3級（任意受験）／2級技能士／技能士補〈塗装科、広告美術科〉

【修了後】1級技能士／職業訓練指導員免許

主な就職先

木工製品製造会社／建築塗装会社／自動車車体修理会社／塗料メーカー／塗料販売店／広告美術制作会社／サイン看板製作会社

X. 参考資料

2. 地域の関係機関からの意見

機械系（精密機械科、機械技術科）

<札幌>

●現在の従業員のうち8割は、MONOテク修了生。在校中にインターンシップに来てもらい、そのまま就職してくれている。

●1人前になるまでに5～7年かけて育てており、定着率は高いと思う。他社は、入社後3ヶ月や半年で、辞めてしまう従業員もいるようだ。企業側の受入体制（昔ながらの指導）に問題があるのではないかと。

●当社は社員ファースト、を方針としている。自主性に任せて納期以外の加工手順等は本人に任せている部分がある。だから、本人にとっては居心地の良い職場になっていると思う。

<函館>

●人手不足のため工業高校だけでなく、商業高校、水産高校にも声をかけている。MONOテクからも修了生をいただいて感謝。

●新規採用者は入社後半年間、集合教育を行い溶接などの資格を取らせている。入社後3年間はほぼ辞めない。30歳くらいになると転職で辞める人が出てくるのが一般的。

●資格で特に必要とするものはない。持っていればより良いが、入ってから取得しても大丈夫。

●入社したら、仕事に興味をもち、作業を嫌いにならないでほしいと思う。

<北見>

●業界としても鉄工業界をPRする冊子を作成し、高等学校等へ配布予定。

●MONOテク修了生が少ないため、ハローワークや求人求職サイトを利用したが、求人求職サイトからの応募は、皆無。既卒者でも、視力の良いことが必要。中堅となる20～35歳くらいが良い。

●採用後は、コミュニケーションの取り方や挨拶の仕方などを教えている。MONOテク出身は、コミュニケーションや挨拶はできるので有難い。

●入校生が少ないのは仕方ないところであるが、なくなっては困る。

<室蘭>

●工業高校にこだわらず、普通科からも採用。新高卒者には、コミュニケーション力や意思疎通ができる人材を欲しい。10年かけて1人前になるところを、3～5年で一人前になるようにしている。

●地元以外（札幌・函館・旭川）からの応募が増えているが、地元からの応募がない。

●既卒者の採用は、民間転職サイトを活用している。経験や資格を条件に掲げるとなかなか来ないので、幅広く募集している。

●1年制、短期コースで内容を凝縮し、人材を送り出すようなことはできないか。

●入校促進は父母がターゲット。また高校の先生方対象の見学会も良いのでは。

<苫小牧>

●職業訓練は、選択肢がたくさんあるように感じる（施設内訓練の他、委託訓練・能開セミナー・ポリテク）。

●普通科高卒を採用。採用後はOJTを実施。本人の希望と適正で、溶接・機械加工の部門に配属。

●Uターン組や離職者も即戦力になるので採用。一方、年齢構成の見極めも必要。

●今はスピードの時代。1年制や短期間の訓練等を検討すべき。大幅な訓練カリキュラムの見直しを行うのも難しい、とは認識している。空き定員を活用し、短期講習のコースがあれば参加ニーズがあるのでは。

金属加工系（金属加工科）

<札幌>

●過去に、定員削減や募集時期を遅らせた影響は大きい。募集開始時期が遅い中、専門学校等と同じような競争ができるのか。

●業界としては、間口（定員）を広げてもらいたい。

●技術をもって人を育てるのがMONOテク。育てることが重要。人が減って大変だが、必要な職種なので、育成の取組は必要。

●近隣の小学生を対象とした企業見学会を実施した。「バーチャル溶接機」は、小学生や保護者からも評判が良かった。

●先日、全道大会をMONOテク苫小牧で実施。あそこの実習場は素晴らしい。

<室蘭>

●女性修了生を採用。優秀で頑張っている。

●地域的に日鉄系など大手企業に人気が集まるので、採用には苦慮している。

●経験者で即戦力になるので、新卒よりも中途採用が多い。ものづくり業界への就職は、「やる気」がないと難しいと思う。

●当社のような中小企業では、2年間しっかり訓練してもらった方が良い。2年間で、CADとNCを学んできてほしい。即戦力がほしい。

●MONOテクで学んで入社して欲しいので、無くなるのはやめてほしい。

●入校する意識はそれぞれだが、目標をしっかりと持って取り組んでほしい。

<苫小牧>

●この業界も人手不足。民間転職サイトに掲載したが、問い合わせの電話も来ない。

●とにかく人が来ない。工業高校から8年もきていない。初任給は、高卒で20万半ばだが、それでも来ない。

●就職しても5年以内に3割は辞め、土木作業員になる子が多い。

●工業高校でのバーチャル溶接体験など、興味を持ってもらう工夫している。パネル展も効果があるので、継続的地道にやって行く必要があるのでは。

●2年訓練は長いと思う。1年訓練が良いと思う。女性が少ないので、女性にも目を向けたいといけない。

<帯広>

●訓練生の数が少ないのは仕方がないが、もう少しなんとかしてもらいたい。訓練生の質が、「誰でも良い」という感じになってきている。

- 技能検定の検定員をやっているが、年々レベルが低下している。検定受検するにあたり一定程度練習していると思う。が、全くできない者や全て左右反対に作成した者もいた。
- 質が低下しているからこそ、修了・就職後の支援を継続的に行う必要がある（就職させっぱなしにすると、企業・訓練生ともに大変）。

建築施工系（建築技術科）

<札幌>

- 「建築大工」のイメージが悪いように感じる（日給月給・季節雇用）
- 入校PRの際、将来の希望が持てるよう、就職先企業をPRしていけばよい。
- 2年制でなくても良いかもしれないが、就職後1年目以降のスキームづくりが必要。
- 修了生のつながりを大切にする必要も。修了生対象の研修会も一案。
- 当社の職人を、MONOテクの時間講師に派遣することは、可能。訓練生にとっても、「現役の職人」から教わることは、良いこと。職人側も、自分の作業確認、技術向上、後輩・新入社員の指導で役立つ。

<函館>

- 業界は、人手不足で人が欲しい。MONOテクは、人材の供給源。
- 在来工法からツーバイフォー（2×4）が多くなった。が、2×4の知識を深めていくと、在来工法が大事だと分かる。在来工法を訓練するMONOテクの2年間は、価値が高い。
- MONOテクは、2年で、ある程度仕事を任せられるように育成してくれる。修了生は、高卒よりも2年訓練しており、「給料を高くせねば」と躊躇する企業も。
- 採用後、待遇の良い他企業の話聞き、辞める人や「独立したい」と思う人もいる。

<旭川>

- 以前は、当社の大工の数をもっといたが、高齢化に伴い現在の数に減少。
- MONOテクからインターンシップも受入れており、採用もしている。入社後は、未経験者も技専修了者も、認定訓練校に入校させている。
- 中学校で出前授業なども積極的にやっている。親のイメージを変えていく必要がある、と常に思っている。中学校で、40分の講話をして建築をPRしたことがある（介護、美容、保育、建築、お菓子の職種の講話をする授業があった）。

<北見>

- 建設業全体で人が足りない。「現場代理人」がおらず工事が受注できないことも。従業員でさえ、「（待遇面などで）子どもに跡を継がせたくない」と言っている。業界としても改善が必要、と思う。
- 即戦力となる人材を供給して欲しい。業界はMONOテクには期待している。
- 空き定員を活用し、従業員に必要な資格対策等のみ訓練に参加できる仕組みを。
- 資格を持つのがステータス。資格取得が目標になってほしい。「合格者何名」とか、修了生が活躍している紹介などのPRが良いのでは。

<帯広>

- 職人の高齢化が進み、新規入職者の「大工離れ」直結していると感じる。
- 若い人が建築業界を選ぶよう、アピール(休日・待遇面)できるようにしたい。
- 最近、工業高校の建築科は女子が増加。また、「大工」より「設計」の希望が多い。
- 建築技術科の訓練は、在来工法が中心(全訓練の8割)。十勝はツーバイフォー工法の割合が高く、この工法の技術も他の地域より高い。この工法の訓練に重点を置くことで、建築技術科の独自性をアピールできる。
- 現在、「大工」育成がメインだが、もっと広い分野の技術者の育成が必要。大工・設計・施工管理など幅広くすることで、入校希望者が増えるかも。

<釧路>

- 時代の流れと業界の努力不足もあり、若者が大工を目指さなくなっている。新人を育てても離職してしまう。待遇面が大きな要因かもしれないが。
- 大工の仕事も昔は棟梁を中心に仕事を行っていた。が、現在は分業化や作業員化が進んでいるのが、魅力不足の一因。
- 「作業員化」したとは言え、MONOテクで基本を習得することは重要。
- MONOテクで、例えば、中学生を対象に、「建築教室」を2~3回くらい。「ものづくり教室」より難度を上げ、より建築に親しみをもてるようなものを。
- 入校者数が厳しいのは承知。が、科目廃止にならないようにしてもらいたい。

電力系（電気工学科、電気工事科）

<苫小牧>

- 人手不足や高校生の進学率の上昇の中、2年制訓練は長いと思う。「3か月で技能講習」のニーズもあるのでは。
- 工業高校では進学率が上がり、就職率も良いので、普通高校から集めている。
- 進路選択は、親や高校の先生方の理解が必要と考える。母親とおばあちゃんの意見が重い。いい企業でも親が納得しない。
- 工業高校の生徒の就職先は、東京6割、札幌3割、苫小牧1割。
- MONOテクの立ち位置を説明するのが難しい。先生に理解して貰うのが重要。

<帯広>

- MONOテク訓練生を業界に就職してもらいたい気持ちは高い。
- 1年制が併設したことを初めて知った。周知PR不足では？
- 電機業界としては1種電気工事を合格してきてくれれば有り難い。が、住宅の電気工事を行う企業では2種電気工事も十分ありがたい。
- 人材開発助成金を活用しても、2年や1年間、訓練させるのは経費的に厳しい。
- 業界は資格が大事。夜間や空き定員を活用し、必要な資格対策等の学科だけ参加、という仕組みを。

<釧路>

- 地域の業界は、北電系と戸建てがあるが、戸建て事業が低下。
- 従業員の高齢化も進み世代交代の時期になっている。
- 工業高校電気科の卒業生は、半数以上が電気関係以外に就職・進学。
- ハローワークにも求人を出しているが集まらない。MONOテク釧路には期待するが、釧路地域での就職者が少ない。
- 戸建て住宅の仕事が多い。「足場の組立て等特別教育」をやってもらいたい。

印刷・製本系（電子印刷科、印刷デザイン科）

<札幌>

- 業界としては、現在は人手不足をそこまで感じていない。適正な人数だが、ただ一人でも欠けると不足してしまう状況。
- 記念写真アルバムなど高級印刷ヘシフト。プレス印刷は無くなることはない。
- 印刷の前工程部分（プリプレス）は専門学校等でも可能。印刷機械操作保守等（プレス）はMONOテクのみなので、貴重な存在。印刷系の科目がなくなると業界としては困る。
- 印刷機械は高度化しているが、最後は人の手が必要。技術の高度化（紙⇒他媒体やWEB）に対応するため、訓練は2年間が必要。

<旭川>

- 印刷業界は「斜陽産業」と言われている。今後は、紙媒体だけでなく、WEBデザイン・SNS動画編集は必須の技術に。
- 断裁部門やプリプレス部門は、誰でもできる作業。が、印刷機械の操作・保守は、MONOテク修了者でも一人前になるには3年必要。
- 求人は、民間求人情報誌やフリーペーパー（ライナー）等に掲載している。
- 修了者の数が少ないのは、残念。でも、こんな時代でも、印刷の技術を学ぼうとする者がいるのは、ありがたい。
- 毎年でも良い人材を採用したい。外国人の技能実習生が来ている。

設備施工系（建築設備科）

<札幌>

- 新卒の採用は、各高校、大学等に求人を出しているが厳しい状況。採用は、経験者は当然優遇するが、未経験者も歓迎。
- 合同企業説明会にも出展している企業もある。しかし、大企業の煌びやかなブースと対等なブースは、中小企業には困難。1～2人採用できれば大成功というレベル。
- 高校生や一般の方は、管工事業のイメージがわかってもらえていない。業界では幅広い資格が必要。MONOテクで多くの資格を取ることが可能。
- MONOテクと一体となってPRすれば、魅力アップに繋がると思う。
- 全道唯一の配管系の訓練科であり今後も継続して実施していただきたい。

第2種自動車系（自動車整備科）

<函館>

- 業界は、人手不足に苦慮。経験者や2級の確保が難しく、3割ほどは経験や資格のない高卒者を採用。札幌に進学すると札幌で就職し、地元に戻ってこない。MONOテク函館の存続はお願いしたい。
- 「学び直し枠」のため、新卒で入れない人も。専門学校との関係、は知っている。
- 車離れもあり、業界に進むのは、親が整備士や車に興味のある子。
- 整備業界の処遇改善が必要。PR不足もある。知ってもらう機会が必要。
- 最近、ディーラーを辞める人が多い。土日が休めないことが大きい。今の子の優先順位は、1番が休み、給料は2番目。

<旭川>

- 整備士は不足。特に大型自動車の整備士は厳しい。原因は、「ほかに魅力が高い業界が多い」、「親にNGと言われる」など。
- 国（北海道運輸局）と連携し、高校等を訪問しPRしている。が、なかなか成果が上がらない。進学が多く、生徒のニーズは少ないと感じる。
- MONOテク修了生は真面目で、スキルもあり即戦力。
- 普通高校からも採用。振興会主催の講習受講で3級・2級と取得させている。が、3級まで1年半、さらに2級はそこから3年かかり、計5年かかる。
- どう訓練生を集めるかが課題。専門学校との兼ね合いも理解できるが、業界として協力できることはやっていきたい。

<北見>

- 専業工場とディーラーにより多少異なるものの、整備士は不足している。普通高校から採用し、2級整備士になるまで、時間をかけて育成している。
- 整備士の資格を持って入社する、MONOテク修了生や専門学校卒は貴重。
- 入校促進やイベント関係で協力できるものは協力したい。
- SNS等の情報発信は有効かつ重要。

<帯広>

- 自動車整備士は不足。
- 「学び直し枠」がネックで、定員いっぱい入校できないのは厳しい。
- 専門学校との関係は理解できるが、学び直し枠を何とかしてもらいたい。
- 今2級課程だが、仮に3級課程を導入しても、求人ニーズはないと思う。

<釧路>

- 最近では整備技術のレベルが上がり、高齢者を中心に退職者が多い。整備士の採用は、普通高校や専門学校を中心に行っている。
- ディーラーでは、普通高校生を系列の専門学校への入学支援を行っている（社員として入社ではなく、「留学生制度」のような形で支援）。
- MONOテク修了生は、2級を持っている。が、企業が本当に求めているのは、「検査員」であり、2級3級は通過点。

●普通高校から採用できない場合、外国人を採用する企業もある（整備士や運転免許を取得するのに日本語が理解できず苦労している）。

●経済的に厳しい家庭や、釧路以外の地方に住む方だと、2年間は長い。3級課程ができれば良いと思う。

木材加工系（造形デザイン科）

<旭川>

●技能五輪全国大会で、MONOテク旭川の訓練生（就職内定者）が受賞。しっかり訓練してくれた結果で大変ありがたい。

●訓練生の数は、少子化等の影響で少なくなるのは、仕方ない。MONOテクが何をやっている施設なのか、わからない人が多いと思う。もっと積極的に施設開放をして、知ってもらうべきではないか。興味を持ってもらイベントや、親への理解など、地道な努力が必要

●昔は、仕事は見て覚えるものだったが、今はそんな時代では無い。しかし、人を育てる時間が無いので、MONOテクの存在は貴重。

●当社社員が、人材開発支援助成金を活用し、MONOテクに通っている。が、事務手続きが煩雑で、当社の事務職員が困っている。

<北見>

●修了生を複数名受け入れており、定着率も良く助かっている。

●機械や刃物を使うが、機械操作の安全作業を習得し、ケガが少ない。

●修了生（中高年）を採用。20代の先輩に教わりながらやっている。

●2年間しっかり訓練し、最後までやってもらいたい。「刃物の扱い（一番重要）」「機械操作」「CADや図面（女性や在宅勤務も可能）」を習得できるのはとても良いこと。

●業界として、市内高校に出向き、MONOテク北見を積極的にPRしている。

<帯広>

●普通高校等からの新卒は採用していない。造形デザイン科がなくなるのだけは、止めてもらいたい。

●業界として給料が安いのも問題。

●造形デザイン科の訓練内容が「家具」中心。「建具」を希望する訓練生にも対応できるようにしてほしい。

●今までどおり2年間しっかりと訓練された訓練生が良い。

●修了生を積極的に採用する企業を、道の入札時に優遇する制度があれば良い。

電気・電子系（システム制御技術科）

<函館>

●新規求人四大卒が基本だが、採用難に。工業高校まで門戸を広げたい。

●工業系がほしいが、ソフトウェアがメインになってきている。

●MONOテク修了生もがんばっている。仕事をひとりで進めていける能力があり、グループのリーダーになってもらった。

●コミュニケーション能力を身に付けることが重要。MONOテクの訓練生は真面目で地味だが、しっかりやってくれている。

●MONOテクは1日授業。アルバイトができず、必要な社会経験が少ない。どういう業界があるのか、早めに、就職先をイメージさせることが必要。

<旭川>

●未経験者も雇用して自社教育している。MONOテク修了者は高度なこともやっており、育てやすい。

●MONOテクがなくなるとは困る。MONOテクでも、校舎を開放して、現場を見てもらうのは、重要。

●訓練期間中はどんどん「失敗」させることが重要。失敗で学べることが多い。「世のため、人のため、生活のため」といった目標を持って、ぶれないことが重要。

●訓練で作った物を、日常生活で使っているところをPRする。そうすることで、MONOテクを身近に感じ、希望する子供が増える可能性も。

塗装系・デザイン系（色彩デザイン科）

<旭川>

●技能士会の青年部では、技能フェスティバルなどで業界をPRしている（左官・フラワーデザイン・建具・板金など職種を問わず）。青年部構成員も高齢化し、働き方改革もあり、活動しづらくなってきているが。

●入校者減は、時代の流れや、世の中の変化もあり、仕方がないと思う。が、業界としては、なくなっては困る。

●未経験者が一人前になるまで、3~5年かかる。MONOテク修了者は、その期間が短い。

●若い人の目につき、興味が湧くようなキャッチフレーズがあると良い。子供が将来の仕事に希望を持てるような、目に見える取組をしてほしい。

X. 参考資料

3. 入校状況 (H20～R7年度)

- 入校者数が入校定員の半分以下である科が多く（網掛け白文字）、R7年度は33科のうち27科が該当。

札幌

		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7		
精密機械	普	2	16 / 20	20 / 20	21 / 20	20 / 20	18 / 20	18 / 20	14 / 20	6 / 20	16 / 20	16 / 20	17 / 20	11 / 20	19 / 20	11 / 20	4 / 20	8 / 20	6 / 20	5 / 10	
金属加工	普	2	14 / 20	22 / 20	22 / 20	14 / 20	14 / 20	10 / 20	11 / 20	9 / 20	15 / 20	8 / 20	10 / 20	9 / 20	10 / 20	4 / 20	4 / 10	5 / 10	7 / 10	1 / 10	
建築技術	普	2	19 / 20	17 / 20	20 / 20	13 / 20	16 / 20	19 / 20	17 / 20	18 / 20	20 / 20	18 / 20	19 / 20	9 / 20	17 / 20	11 / 20	13 / 20	14 / 20	5 / 20	5 / 20	
電子印刷	普	2	19 / 20	21 / 20	21 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	18 / 20	18 / 20	19 / 20	15 / 20	11 / 20	11 / 20	10 / 20	12 / 20	7 / 20	8 / 20	6 / 20	5 / 10	
建築設備	普	2	19 / 20	22 / 20	21 / 20	18 / 20	18 / 20	15 / 20	18 / 20	18 / 20	14 / 20	14 / 20	20 / 20	11 / 20	14 / 20	8 / 20	13 / 20	10 / 20	8 / 20	15 / 20	
電子工学	普	2	30 / 30	32 / 30	32 / 30	29 / 30	30 / 30	29 / 30	29 / 30	18 / 30	H28募集停止、H28未廃止										
ICTメディア技術	普	1	8 / 20	14 / 20	18 / 20	11 / 20	17 / 20	11 / 20	8 / 20	6 / 20	8 / 20	H28未廃止									
ICTメディア技術	短	1	8 / 20	6 / 10	5 / 10	4 / 10	8 / 10	6 / 10	H25未廃止												
販売システム	普	2	20 / 20	H21募集停止、H21未廃止																	
計			153 / 190	154 / 160	160 / 160	129 / 160	141 / 160	128 / 160	115 / 150	93 / 150	92 / 120	71 / 100	77 / 100	51 / 100	70 / 100	46 / 100	41 / 90	45 / 90	32 / 90	31 / 70	

函館

		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7	
自動車整備	普	2	20 / 20	19 / 20	20 / 20	20 / 20	16 / 20	14 / 20	20 / 20	20 / 20	9 / 20	15 / 20	18 / 20	13 / 20	15 / 20	16 / 20	17 / 20	13 / 20	11 / 20	
システム制御技術	普	2			21 / 20	14 / 20	16 / 20	17 / 20	11 / 20	13 / 20	11 / 20	10 / 20	9 / 20	9 / 20	13 / 20	10 / 20	9 / 20	11 / 20	10 / 20	
機械技術	普	2	14 / 20	20 / 20	20 / 20	21 / 20	15 / 20	17 / 20	7 / 20	12 / 20	13 / 20	4 / 20	3 / 20	9 / 20	4 / 20	4 / 20	6 / 10	6 / 10	2 / 10	2 / 10
建築技術	普	2	10 / 20	16 / 20	11 / 20	14 / 20	16 / 20	7 / 20	11 / 20	7 / 20	9 / 20	9 / 20	2 / 10	7 / 10	5 / 10	8 / 10	1 / 10	9 / 10	4 / 10	4 / 10
電子工学	普	2	20 / 20	19 / 20	H22募集停止、H22未廃止（科目転換）															
総合ビジネス	普	2	18 / 20	20 / 20	H22募集停止、H22未廃止															
計			82 / 100	94 / 100	51 / 60	76 / 80	65 / 80	56 / 80	49 / 80	50 / 80	55 / 80	33 / 80	30 / 70	43 / 70	31 / 70	40 / 70	33 / 60	41 / 60	30 / 60	27 / 60

旭川

		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7	
建築技術	普	2	15 / 20	19 / 20	19 / 20	10 / 20	17 / 20	13 / 20	5 / 20	15 / 20	14 / 20	9 / 20	12 / 20	7 / 20	4 / 20	6 / 20	14 / 15	9 / 15	12 / 15	7 / 15
システム制御技術	普	2			20 / 20	18 / 20	15 / 20	17 / 20	20 / 20	12 / 20	8 / 20	9 / 20	9 / 20	7 / 20	11 / 20	14 / 20	6 / 20	15 / 20	6 / 20	
自動車整備	普	2	20 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	19 / 20	20 / 20	18 / 20	18 / 20	17 / 20	17 / 20	11 / 20	10 / 20	15 / 20	15 / 20	8 / 20	9 / 20	9 / 20	16 / 20
印刷デザイン	普	2	20 / 20	21 / 20	20 / 20	15 / 20	13 / 20	17 / 20	19 / 20	19 / 20	15 / 20	20 / 20	15 / 20	18 / 20	6 / 20	14 / 20	11 / 20	9 / 20	8 / 20	17 / 20
造形デザイン	普	2	20 / 20	21 / 20	21 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	16 / 20	20 / 20	19 / 20	16 / 20	15 / 20	12 / 20	10 / 20	13 / 20	7 / 20	4 / 20	7 / 20	
色彩デザイン	普	2	19 / 20	19 / 20	20 / 20	14 / 20	17 / 20	19 / 20	18 / 20	11 / 20	12 / 20	14 / 20	6 / 20	5 / 20	8 / 20	11 / 20	9 / 20	4 / 20	9 / 20	2 / 15
電子工学	普	2	20 / 20	19 / 20	H22募集停止、H22未廃止（科目転換）															
計			114 / 120	119 / 120	100 / 100	99 / 120	104 / 120	104 / 120	97 / 120	99 / 120	90 / 120	87 / 120	67 / 120	65 / 120	47 / 120	67 / 120	76 / 115	43 / 115	57 / 115	55 / 110

北見

		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7	
電気工学	普	2	20 / 20	20 / 20	18 / 20	18 / 20	11 / 20	15 / 20	5 / 20	11 / 20	9 / 20	9 / 15	7 / 15	6 / 15	3 / 15	4 / 15	4 / 10	8 / 10	3 / 10	2 / 10
自動車整備	普	2	19 / 20	18 / 20	20 / 20	16 / 20	18 / 20	20 / 20	19 / 20	19 / 20	20 / 20	17 / 20	13 / 20	8 / 20	12 / 20	14 / 20	13 / 20	7 / 20	8 / 20	12 / 20
造形デザイン	普	2	12 / 20	19 / 20	17 / 20	8 / 20	11 / 20	10 / 20	11 / 20	11 / 20	18 / 20	4 / 15	7 / 15	9 / 15	5 / 15	2 / 15	4 / 15	3 / 10	5 / 10	4 / 10
建築技術	普	2			10 / 20	11 / 20	7 / 20	5 / 20	7 / 20	10 / 10	3 / 10	4 / 10	10 / 10	10 / 10	6 / 10	4 / 10	2 / 10	2 / 10	2 / 10	
機械技術(※)	2	14 / 20	17 / 20	12 / 20	14 / 20	8 / 20	15 / 20	16 / 20	5 / 20	9 / 20	5 / 15	4 / 15	2 / 10	4 / 10	4 / 10	1 / 10	6 / 10	3 / 10	5 / 10	
建築デザイン	普	2	11 / 20	17 / 20	H22募集停止、H22未廃止（科目転換）															
計			76 / 100	91 / 100	67 / 80	66 / 100	59 / 100	67 / 100	56 / 100	53 / 100	66 / 90	38 / 75	35 / 75	35 / 70	34 / 70	30 / 70	26 / 65	26 / 60	21 / 60	25 / 60

室蘭

		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7	
金属加工	普	2																		
精密機械	普	2																		
溶接	普	1	13 / 20	22 / 20	21 / 20	13 / 20	14 / 20	10 / 20	8 / 20	6 / 20	4 / 10									
機械	普	1	10 / 20	22 / 20	10 / 20	9 / 20	4 / 20	8 / 20	11 / 20	7 / 20	4 / 20									
配管	短	1	11 / 20	22 / 20	22 / 20	19 / 20	8 / 20	10 / 20												
塗装	短	1	11 / 20	16 / 20	22 / 20	9 / 20	12 / 20	8 / 20												
観光ビジネス	普	1	29 / 30																	
計			74 / 110	82 / 80	75 / 80	50 / 80	38 / 80	36 / 80	19 / 40	13 / 40	8 / 30	23 / 30	14 / 30	6 / 30	9 / 30	13 / 30	8 / 20	14 / 20	5 / 20	2 / 20

苫小牧

		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7	
金属加工	普	2																		
精密機械	普	2																		
電気工事	普	2																		
電気機器	普	1	12 / 20	20 / 20	20 / 20	16 / 20	20 / 20	18 / 20	17 / 20	17 / 20	10 / 20									
金属加工	普	1	7 / 20	25 / 20	14 / 20	15 / 20	17 / 20	13 / 20	11 / 20	6 / 20	9 / 20									
自動車整備	普	1	18 / 30	30 / 30	21 / 30	23 / 30	16 / 30	19 / 30												
ITスキル技術	短	1	13 / 20	18 / 20	16 / 20	8 / 20	11 / 20	11 / 20												
OA事務	普	1	30 / 30																	
計			80 / 120	93 / 90	71 / 90	62 / 90	64 / 90	61 / 90	28 / 40	23 / 40	19 / 40	17 / 30	15 / 30	8 / 30	5 / 30	11 / 30	13 / 30	4 / 30	7 / 30	8 / 30

帯広

		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7	
建築技術	普	2	19 / 20	17 / 20	21 / 20	18 / 20	19 / 20	6 / 20	18 / 20	20 / 20	12 / 20	15 / 20	12 / 20	12 / 20	6 / 20	3 / 20	5 / 20	4 / 15	10 / 15	2 / 15
電気工学	普	2	20 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	17 / 20	20 / 20	16 / 20	13 / 20	17 / 20	17 / 20	10 / 20	13 / 20	8 / 20	5 / 20	8 / 20
造形デザイン	普	2	20 / 20	21 / 20	20 / 20	17 / 20	12 / 20	12 / 20	20 / 20	16 / 20	8 / 20	13 / 20	8 / 20	9 / 20	5 / 20	10 / 20	10 / 15	15 / 15	6 / 15	5 / 15
金属加工	普	2	20 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	19 / 20	17 / 20	20 / 20	17 / 20	12 / 20	18 / 20	9 / 20	5 / 20	9 / 20	0 / 20	9 / 10	5 / 10	5 / 10	0 / 10
自動車整備	普	2	20 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	18 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	15 / 20	10 / 20	16 / 20	15 / 20	15 / 20	15 / 20	16 / 20
計			99 / 100	98 / 100	101 / 100	95 / 100	90 / 100	75 / 100	98 / 100	93 / 100	67 / 100	86 / 100	65 / 100	59 / 100	52 / 100	33 / 100	53 / 85	47 / 80	41 / 80	31 / 80

釧路

		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7	
電気工学	普	2	18 / 20	20 / 20	20 / 20	20 / 20	19 / 20	14 / 20	12 / 20	12 / 20	12 / 20	9 / 20	5 / 20	7 / 20	5 / 20	6 / 20	11 / 15	4 / 15	6 / 15	7 / 15
建築技術	普	2	9 / 20	12 / 20	16 / 20	18 / 20	10 / 20	12 / 20	2 / 20	7 / 20	8 / 20	5 / 10	3 / 10	6 / 10	7 / 10	5 / 10	4 / 10	6 / 10	1 / 10	1 / 10
自動車整備	普	2	17 / 20	20 / 20	20 / 20	19 / 20	20 / 20	20 / 20	14 / 20	17 / 20	19 / 20	8 / 20	16 / 20	10 / 20	11 / 20	6 / 20	13 / 20	8 / 20	7 / 20	10 / 20
計			44 / 60	52 / 60	56 / 60	57 / 60	49 / 60	46 / 60	28 / 60	36 / 60	39 / 60	22 / 50	24 / 50	23 / 50	23 / 50	17 / 50	28 / 45	18 / 45	14 / 45	18 / 45

◎統廃合

滝川

		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7	
電気工事	普	1	14 / 20																	
建築	普	1	9 / 20																	
板金	短	1	20 / 20																	
ITスキル技術	短	1	0 / 20																	
計			43 / 80																	

網走

		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7	
電気工学	普	2	20 / 20																	
観光ビジネス	普	1	19 / 20																	
計			39 / 40																	

H21募集停止、H22未廃止 (北見「建築デザイン科」と統合し、北見「建築技術科」に)

H20未廃止

H20未廃止 (H20休科)

X. 参考資料

4. 訓練科目の評価（R元～R6年度）

< 1次評価 > C評価は、R元～6年度平均で33科のうち31科、単年度でも多くの科が該当。

< 2次評価 > C評価は、R元～6年度平均で該当なし、単年度では9科が該当。

一次評価

		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均
札幌	精密機械科	C	B	C	C	C	C	C
	金属加工科	C	C	C	C	C	C	C
	建築技術科	C	B	C	C	C	C	C
	電子印刷科	C	C	C	C	C	C	C
	建築設備科	C	C	C	C	C	C	C
函館	自動車整備科	A	C	A	A	A	C	A
	システム制御技術科	C	C	C	C	C	C	C
	機械技術科	C	C	C	C	C	C	C
旭川	建築技術科	C	C	C	A	C	B	C
	システム制御技術科	C	C	C	C	C	C	C
	自動車整備科	C	C	A	C	C	C	C
	印刷デザイン科	B	C	C	C	C	C	C
	造形デザイン科	C	C	C	C	C	C	C
	色彩デザイン科	C	C	C	C	C	C	C
	電気工学科	C	C	C	C	C	C	C
北見	自動車整備科	C	C	C	B	C	C	C
	造形デザイン科	C	C	C	C	C	C	C
	建築技術科	A	A	C	C	C	C	C
	機械技術科	C	C	C	C	C	C	C
室蘭	金属加工科	C	C	C	C	C	C	C
	精密機械科	C	C	C	C	C	C	C
苫小牧	金属加工科	C	C	C	C	C	C	C
	精密機械科	C	C	C	C	C	C	C
	電気工学科	C	C	C	A	C	C	C
帯広	建築技術科	C	C	C	C	C	C	C
	電気工学科	C	C	C	C	C	C	C
	造形デザイン科	C	C	C	C	B	C	C
	金属加工科	C	C	C	B	C	C	C
釧路	自動車整備科	A	C	C	A	B	A	B
	電気工学科	C	C	C	C	C	C	C
	建築技術科	C	C	C	C	C	C	C
釧路	自動車整備科	C	C	C	C	C	C	C

二次評価

		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	C評価
札幌	精密機械科	A	—	A	A	C	A	A	⇒R5 札幌「精密機械科」
	金属加工科	B	B	B	B	A	B	B	
	建築技術科	A	—	B	B	B	B	B	
	電子印刷科	A	C	A	A	B	A	B	⇒R2 札幌「電子印刷科」
	建築設備科	B	A	A	A	A	A	A	
函館	自動車整備科	—	A	—	—	—	A	—	
	システム制御技術科	A	C	B	B	B	A	B	⇒R2 函館「システム制御技術科」
	機械技術科	A	B	A	A	B	A	B	
旭川	建築技術科	B	A	A	—	—	A	B	
	システム制御技術科	A	A	A	—	A	—	A	
	自動車整備科	B	B	B	B	B	B	B	
	印刷デザイン科	A	A	—	A	B	A	A	
	印刷デザイン科	—	B	B	B	A	B	B	
	造形デザイン科	A	A	B	C	B	A	B	⇒R2 旭川「造形デザイン科」
	色彩デザイン科	B	A	A	A	B	A	B	
北見	電気工学科	B	B	A	B	B	B	B	
	自動車整備科	A	A	A	—	A	B	A	
	造形デザイン科	B	B	A	A	A	A	B	
	建築技術科	—	—	A	B	A	B	B	
室蘭	機械技術科	B	B	B	C	A	A	B	⇒R4 北見「機械技術科」
	金属加工科	A	C	A	A	B	B	B	⇒R2 室蘭「金属加工科」
苫小牧	精密機械科	B	A	A	A	A	B	B	
	金属加工科	A	B	B	C	A	A	A	⇒R4 苫小牧「金属加工科」
	精密機械科	A	B	A	A	A	A	A	
帯広	電気工学科	A	A	B	—	B	A	B	
	建築技術科	A	A	A	B	B	A	B	
	電気工学科	A	B	A	C	A	B	A	⇒R4 帯広「電気工学科」
	造形デザイン科	B	B	B	B	—	B	B	
釧路	金属加工科	A	B	A	—	A	C	B	⇒R6 帯広「金属加工科」
	自動車整備科	—	A	B	—	—	—	—	
	電気工学科	B	A	A	A	B	A	B	
釧路	建築技術科	A	B	A	B	A	B	B	
	自動車整備科	A	A	A	A	A	B	A	

一次評価

内訳

① $x \geq 1$ 、② $1 > x \geq 0.9$ 、③ $0.9 > x$

④ $x \geq 90\%$ 、⑤ $90\% > x \geq 80\%$ 、⑥ $80\% > x$

A : ①かつ④、B : ②または④でCを除く、C : ③または⑥

	応募倍率 (応募者数 ÷ 入校定員)							就職率 (就職者数 ÷ 就職希望者数)							1次評価結果							
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	
札幌	精密機械科	0.60	0.95	0.60	0.20	0.45	0.30	0.52	100.0%	100.0%	92.3%	100.0%	75.0%	100.0%	96.4%	C	B	C	C	C	C	C
	金属加工科	0.45	0.55	0.20	0.40	0.60	0.70	0.46	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	建築技術科	0.55	0.90	0.60	0.65	0.70	0.25	0.61	100.0%	100.0%	93.8%	100.0%	100.0%	91.7%	97.0%	C	B	C	C	C	C	C
	電子印刷科	0.55	0.50	0.60	0.40	0.40	0.35	0.47	100.0%	55.6%	100.0%	100.0%	75.0%	80.0%	83.3%	C	C	C	C	C	C	C
	建築設備科	0.65	0.70	0.40	0.65	0.55	0.40	0.56	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	
函館	自動車整備科	1.15	0.65	1.30	1.20	1.20	0.75	1.04	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	C	A	A	A	C	A
	システム制御技術科	0.45	0.50	0.65	0.50	0.45	0.55	0.52	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	機械技術科	0.45	0.20	0.25	0.60	0.70	0.20	0.37	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	建築技術科	0.70	0.50	0.80	0.10	0.90	0.40	0.57	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	B	C	C
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	
旭川	建築技術科	0.40	0.20	0.30	1.00	0.67	0.93	0.54	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	A	C	B	C
	システム制御技術科	0.45	0.35	0.60	0.70	0.35	0.75	0.53	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	87.5%	100.0%	95.2%	C	C	C	C	C	C	C
	自動車整備科	0.70	0.50	1.10	0.80	0.40	0.45	0.66	100.0%	100.0%	100.0%	90.0%	90.0%	100.0%	96.2%	C	C	A	C	C	C	C
	印刷デザイン科	1.15	0.30	0.75	0.60	0.50	0.40	0.62	87.5%	100.0%	100.0%	83.3%	88.9%	100.0%	92.7%	B	C	C	C	C	C	C
	造形デザイン科	0.80	0.60	0.50	0.65	0.35	0.20	0.52	100.0%	90.0%	90.9%	85.7%	100.0%	100.0%	94.5%	C	C	C	C	C	C	C
色彩デザイン科	0.25	0.40	0.55	0.45	0.20	0.45	0.38	100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	100.0%	97.1%	C	C	C	C	C	C	C	
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	
北見	電気工学科	0.40	0.20	0.27	0.50	0.80	0.30	0.39	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	自動車整備科	0.45	0.60	0.80	0.90	0.40	0.40	0.59	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	B	C	C	C
	造形デザイン科	0.60	0.33	0.20	0.27	0.30	0.50	0.36	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	建築技術科	1.00	1.00	0.60	0.40	0.20	0.20	0.57	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	A	C	C	C	C	C
	機械技術科	0.20	0.40	0.40	0.10	0.60	0.30	0.33	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	
室蘭	金属加工科	0.07	0.27	0.47	0.40	0.70	0.40	0.36	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	60.0%	88.9%	C	C	C	C	C	C	C
	精密機械科	0.40	0.47	0.47	0.50	0.70	0.10	0.44	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	
苫小牧	金属加工科	0.10	0.10	0.20	0.30	0.10	0.20	0.17	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	精密機械科	0.30	0.20	0.50	0.10	0.10	0.10	0.22	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	電気工学科	0.70	0.30	0.40	1.10	0.20	0.40	0.52	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	75.0%	100.0%	90.9%	C	C	C	A	C	C	C
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	
帯広	建築技術科	0.70	0.35	0.15	0.25	0.40	0.67	0.41	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	93.9%	C	C	C	C	C	C	C
	電気工学科	0.65	0.85	0.55	0.70	0.40	0.25	0.57	100.0%	100.0%	100.0%	77.8%	92.3%	100.0%	95.9%	C	C	C	C	C	C	C
	造形デザイン科	0.45	0.25	0.50	0.67	1.00	0.40	0.52	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	69.2%	89.4%	C	C	C	C	B	C	C
	金属加工科	0.25	0.45	0.05	0.90	0.50	0.50	0.38	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	B	C	C	C
	自動車整備科	1.35	0.85	0.55	1.00	1.05	1.15	0.99	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	97.4%	A	C	C	A	B	A	B
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	
釧路	電気工学科	0.35	0.30	0.30	0.73	0.27	0.40	0.38	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C
	建築技術科	0.60	0.70	0.50	0.50	0.60	0.10	0.50	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%	50.0%	88.5%	C	C	C	C	C	C	C
	自動車整備科	0.55	0.60	0.35	0.70	0.40	0.40	0.50	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	C	C	C	C	C	C	C

一次評価

応募倍率と就職率の元データ

	R元		R2		R3		R4		R5		R6		計		R元		R2		R3		R4		R5		R6		計		
	定員	応募	定員	応募	定員	応募	定員	応募	定員	応募	定員	応募	定員	応募	就職希望	就職	就職希望	就職	就職希望	就職	就職希望	就職	就職希望	就職	就職希望	就職	就職希望	就職	
札幌	精密機械科	20	12	20	19	20	12	20	4	20	9	20	6	120	62	15	15	9	9	13	12	8	8	4	3	7	7	56	54
	金属加工科	20	9	20	11	20	4	10	4	10	6	10	7	90	41	9	9	8	8	9	9	1	1	3	3	5	5	35	35
	建築技術科	20	11	20	18	20	12	20	13	20	14	20	5	120	73	16	16	6	6	16	15	9	9	7	7	12	11	66	64
	電子印刷科	20	11	20	10	20	12	20	8	20	8	20	7	120	56	7	7	9	5	4	4	7	7	4	3	5	4	36	30
	建築設備科	20	13	20	14	20	8	20	13	20	11	20	8	120	67	13	13	10	10	6	6	6	6	11	11	7	7	53	53
函館	自動車整備科	20	23	20	13	20	26	20	24	20	24	20	15	120	125	10	10	17	17	11	11	14	14	13	13	14	14	79	79
	システム制御技術科	20	9	20	10	20	13	20	10	20	9	20	11	120	62	7	7	3	3	7	7	13	13	8	8	6	6	44	44
	機械技術科	20	9	20	4	20	5	10	6	10	7	10	2	90	33	3	3	7	7	3	3	2	2	4	4	5	5	24	24
	建築技術科	10	7	10	5	10	8	10	1	10	9	10	4	60	34	2	2	7	7	5	5	7	7	1	1	5	5	27	27
旭川	建築技術科	20	8	20	4	20	6	15	15	10	15	14	105	57	10	10	5	5	3	3	6	6	11	11	8	8	43	43	
	システム制御技術科	20	9	20	7	20	12	20	14	20	7	20	15	120	64	9	9	8	8	5	4	8	8	8	7	4	4	42	40
	自動車整備科	20	14	20	10	20	22	20	16	20	8	20	9	120	79	7	7	11	11	8	8	10	9	10	9	7	7	53	51
	印刷デザイン科	20	23	20	6	20	15	20	12	20	10	20	8	120	74	8	7	13	13	5	5	12	10	9	8	8	8	55	51
	造形デザイン科	20	16	20	12	20	10	20	13	20	7	20	4	120	62	11	11	10	9	11	10	7	6	9	9	7	7	55	52
	色彩デザイン科	20	5	20	8	20	11	20	9	20	4	20	9	120	46	3	3	5	5	8	8	7	6	8	8	3	3	34	33
北見	電気工学科	15	6	15	3	15	4	10	5	10	8	10	3	75	29	5	5	2	2	1	1	4	4	4	4	8	8	24	24
	自動車整備科	20	9	20	12	20	16	20	18	20	8	20	8	120	71	10	10	7	7	9	9	9	9	12	12	7	7	54	54
	造形デザイン科	15	9	15	5	15	3	15	4	10	3	10	5	80	29	7	7	8	8	3	3	2	2	4	4	2	2	26	26
	建築技術科	10	10	10	10	10	6	10	4	10	2	10	2	60	34	4	4	5	5	9	9	6	6	3	3	2	2	29	29
	機械技術科	10	2	10	4	10	4	10	1	10	6	10	3	60	20	3	3	2	2	4	4	4	4	1	1	5	5	19	19
室蘭	金属加工科	15	1	15	4	15	7	10	4	10	7	10	4	75	27	5	5	1	1	2	2	3	3	2	2	5	3	18	16
	精密機械科	15	6	15	7	15	7	10	5	10	7	10	1	75	33	8	8	4	4	3	3	5	5	3	3	5	5	28	28
苫小牧	金属加工科	10	1	10	1	10	2	10	3	10	1	10	2	60	10	2	2	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	6	6
	精密機械科	10	3	10	2	10	5	10	1	10	1	10	1	60	13	4	4	1	1	2	2	3	3	1	1	1	1	12	12
	電気工学科	10	7	10	3	10	4	10	11	10	2	10	4	60	31	6	6	4	4	2	1	4	4	4	3	2	2	22	20
帯広	建築技術科	20	14	20	7	20	3	20	5	15	6	15	10	110	45	10	10	8	8	4	4	3	3	6	4	2	2	33	31
	電気工学科	20	13	20	17	20	11	20	14	20	8	20	5	120	68	14	14	13	13	16	16	9	7	13	12	8	8	73	70
	造形デザイン科	20	9	20	5	20	10	15	10	15	15	15	6	105	55	6	6	7	7	5	5	8	8	8	7	13	9	47	42
	金属加工科	20	5	20	9	20	1	10	9	10	5	10	5	90	34	9	9	4	4	9	9	0	0	8	8	4	4	34	34
	自動車整備科	20	27	20	17	20	11	20	20	20	21	20	23	120	119	12	12	19	19	10	10	9	9	12	10	14	14	76	74
釧路	電気工学科	20	7	20	6	20	6	15	11	15	4	15	6	105	40	5	5	7	7	5	5	6	6	9	9	1	1	33	33
	建築技術科	10	6	10	7	10	5	10	5	10	6	10	1	60	30	2	2	6	6	5	4	4	4	5	5	4	2	26	23
	自動車整備科	20	11	20	12	20	7	20	14	20	8	20	8	120	60	14	14	10	10	11	11	6	6	11	11	5	5	57	57

二次評価

二次評価の結果

「評価」欄 ⇒ A：aが3個以上でcがなし、B：A及びC評価以外、C：cが2個以上、-：一次評価がA又はBのため二次評価の対象外

	求人倍率	関連就職	雇用の質	満足度	評価	求人倍率	関連就職	雇用の質	満足度	評価	求人倍率	関連就職	雇用の質	満足度	評価	求人倍率	関連就職	雇用の質	満足度	評価	求人倍率	関連就職	雇用の質	満足度	評価	求人倍率	関連就職	雇用の質	満足度	評価	求人倍率	関連就職	雇用の質	満足度	評価						
	R元					R2					R3					R4					R5					R6					平均										
札幌	精密機械科	a	a	a	b	A	a	a	a	b	-	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	c	a	c	C	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A
	金属加工科	a	a	a	c	B	a	a	a	c	B	a	a	a	c	B	a	a	a	c	B	a	a	a	b	A	a	b	a	b	B	a	a	a	c	B	a	a	a	c	B
	建築技術科	a	a	b	a	A	a	c	a	b	-	a	b	b	b	B	a	a	b	c	B	a	a	a	c	B	a	b	b	a	B	a	b	b	a	B	a	b	b	b	B
	電子印刷科	a	a	a	b	A	a	c	c	b	C	a	a	a	a	A	a	a	b	a	A	a	c	a	b	B	a	b	a	a	A	a	c	b	b	A	a	a	a	b	B
	建築設備科	a	a	b	b	B	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	b	A
函館	自動車整備科	a	a	a	b	-	a	a	a	b	A	a	b	b	b	-	a	a	a	b	-	a	a	a	b	-	a	a	a	b	A	a	a	a	b	-	a	a	a	b	-
	システム制御技術科	a	a	a	a	A	a	c	c	b	C	a	b	a	b	B	a	a	b	b	B	a	b	a	b	B	a	a	a	b	A	a	a	b	b	B	a	a	b	b	B
	機械技術科	a	a	a	b	A	a	b	b	c	B	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	c	a	b	B	a	a	a	b	A	a	a	b	b	B	a	a	b	b	B
	建築技術科	a	a	c	b	B	a	a	b	b	A	a	a	a	a	A	a	a	b	a	A	a	a	c	-	a	a	b	a	A	a	a	b	a	A	a	a	b	b	B	
	旭川	建築技術科	a	a	a	a	A	a	a	a	b	A	a	a	a	a	A	a	a	a	b	-	a	a	a	a	A	a	a	a	a	-	a	a	a	a	A	a	a	a	a
システム制御技術科	a	c	a	a	B	a	a	a	c	B	a	b	a	c	B	a	a	a	c	B	a	b	a	b	B	a	a	a	c	B	a	b	a	c	B	a	a	a	c	B	
自動車整備科	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	b	-	a	b	a	a	A	a	b	b	a	B	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	
印刷デザイン科	a	c	a	c	-	b	b	a	c	B	a	a	a	c	B	a	b	a	c	B	a	b	a	a	A	a	c	a	a	B	a	b	a	a	B	a	b	a	c	B	
造形デザイン科	a	b	a	a	B	a	b	a	a	A	a	c	a	a	B	a	c	c	a	C	a	a	b	b	B	a	a	a	a	A	a	a	b	a	A	a	a	b	a	B	
色彩デザイン科	a	c	a	b	B	a	b	a	a	A	a	a	a	a	A	a	b	a	a	A	a	a	b	c	B	a	a	a	b	A	a	a	b	a	A	a	a	b	b	B	
北見	電気工学科	a	a	a	c	B	a	c	a	b	B	a	a	a	b	A	a	a	a	c	B	a	a	a	c	B	a	a	b	b	B	a	a	b	b	B	a	a	b	b	B
	自動車整備科	a	a	a	a	A	a	a	a	b	A	a	a	a	a	A	a	a	a	b	-	a	a	a	b	A	a	b	a	b	B	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A
	造形デザイン科	a	b	b	b	B	a	c	a	b	B	a	a	a	b	A	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	b	A	a	a	b	b	A	a	b	b	b	B
	建築技術科	a	a	a	b	-	a	b	b	c	-	a	a	a	b	A	a	b	b	c	B	a	a	a	a	A	a	a	a	c	B	a	a	a	c	B	a	a	b	b	B
	機械技術科	a	a	a	c	B	a	c	a	a	B	a	a	c	b	B	a	a	c	b	C	a	a	a	b	A	a	a	b	a	A	a	a	b	a	A	a	a	b	b	B
室蘭	金属加工科	a	a	a	a	A	a	c	c	b	C	a	a	a	b	A	a	a	a	a	A	a	a	a	c	B	a	c	a	b	B	a	b	b	b	B	a	b	b	b	B
	精密機械科	a	b	b	c	B	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	b	a	b	B	a	a	b	c	B	a	a	b	c	B
苫小牧	金属加工科	a	a	a	a	A	a	a	a	c	B	a	a	a	c	B	c	c	c	c	C	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	b	A
	精密機械科	a	a	a	b	A	a	a	a	c	B	a	a	a	b	A	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	b	A
	電気工学科	a	a	a	b	A	a	a	a	a	A	a	c	a	b	B	a	a	a	b	-	a	a	c	a	B	a	a	a	a	A	a	a	a	a	A	a	a	a	a	B
帯広	建築技術科	a	b	a	a	A	a	a	a	b	A	a	a	a	a	A	a	a	c	a	B	a	c	a	b	B	a	a	a	b	A	a	b	b	b	B	a	a	b	b	B
	電気工学科	a	a	a	b	A	a	a	b	c	B	a	a	a	b	A	a	c	a	c	C	a	a	a	b	A	a	a	a	c	B	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A
	造形デザイン科	a	c	a	a	B	a	b	b	b	B	a	b	b	a	B	a	b	c	a	B	a	b	c	a	-	a	c	a	b	B	a	c	b	B	a	c	b	b	B	
	金属加工科	a	a	a	b	A	a	c	a	b	B	a	a	a	a	A	a	c	c	b	-	a	a	a	b	A	a	c	c	c	C	a	a	c	c	C	a	a	b	b	B
	自動車整備科	a	a	a	b	-	a	a	a	b	A	a	a	a	c	B	a	a	b	b	-	a	b	a	b	-	a	a	a	b	-	a	a	a	b	-	a	a	a	b	-
釧路	電気工学科	a	a	b	b	B	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	b	b	B	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	b	b	B
	建築技術科	a	a	a	a	A	a	c	b	b	B	a	b	a	a	A	a	a	c	a	B	a	a	a	b	A	a	c	a	a	B	a	b	b	a	B	a	b	b	a	B
	自動車整備科	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	a	b	A	a	a	b	a	A	a	a	b	a	B	a	b	a	b	A	a	a	a	b	A

二次評価

求人倍率

a: $x \geq 1$ 倍、b: $1倍 > x \geq 0.9$ 倍、c: $0.9倍 > x$

内訳

	求人倍率							R元		R2		R3		R4		R5		R6		平均									
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	求人	就職希望	求人	就職希望	求人	就職希望	求人	就職希望	求人	就職希望	求人	就職希望	求人	就職希望								
札幌	精密機械科	a	2.60	a	7.33	a	1.85	a	4.50	a	10.75	a	9.86	a	4.95	39	15	66	9	24	13	36	8	43	4	69	7	277	56
	金属加工科	a	7.67	a	6.38	a	6.78	a	37.00	a	13.67	a	12.80	a	9.23	69	9	51	8	61	9	37	1	41	3	64	5	323	35
	建築技術科	a	5.06	a	6.67	a	3.94	a	5.22	a	7.86	a	4.75	a	5.20	81	16	40	6	63	16	47	9	55	7	57	12	343	66
	電子印刷科	a	4.14	a	1.33	a	2.25	a	2.00	a	5.50	a	2.80	a	2.78	29	7	12	9	9	4	14	7	22	4	14	5	100	36
	建築設備科	a	7.69	a	19.60	a	15.50	a	13.83	a	8.09	a	11.43	a	12.09	100	13	196	10	93	6	83	6	89	11	80	7	641	53
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均															
函館	自動車整備科	a	7.10	a	4.71	a	7.82	a	5.50	a	7.00	a	7.43	a	6.44	71	10	80	17	86	11	77	14	91	13	104	14	509	79
	システム制御技術科	a	7.57	a	15.00	a	11.57	a	5.23	a	9.25	a	12.50	a	9.00	53	7	45	3	81	7	68	13	74	8	75	6	396	44
	機械技術科	a	8.67	a	4.43	a	16.33	a	20.00	a	14.00	a	15.80	a	11.71	26	3	31	7	49	3	40	2	56	4	79	5	281	24
	建築技術科	a	13.50	a	6.00	a	20.00	a	7.14	a	62.00	a	14.20	a	13.04	27	2	42	7	100	5	50	7	62	1	71	5	352	27
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均															
旭川	建築技術科	a	4.20	a	9.20	a	14.00	a	6.83	a	3.82	a	7.25	a	6.30	42	10	46	5	42	3	41	6	42	11	58	8	271	43
	システム制御技術科	a	6.33	a	6.00	a	10.00	a	5.13	a	4.38	a	9.25	a	6.38	57	9	48	8	50	5	41	8	35	8	37	4	268	42
	自動車整備科	a	7.14	a	4.82	a	6.88	a	5.40	a	5.30	a	8.14	a	6.08	50	7	53	11	55	8	54	10	53	10	57	7	322	53
	印刷デザイン科	a	3.13	b	0.92	a	1.40	a	1.00	a	1.78	a	1.63	a	1.55	25	8	12	13	7	5	12	12	16	9	13	8	85	55
	造形デザイン科	a	1.73	a	1.20	a	2.18	a	2.71	a	1.89	a	2.29	a	1.95	19	11	12	10	24	11	19	7	17	9	16	7	107	55
	色彩デザイン科	a	4.67	a	3.60	a	2.75	a	2.43	a	2.75	a	5.00	a	3.18	14	3	18	5	22	8	17	7	22	8	15	3	108	34
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均															
北見	電気工学科	a	9.20	a	20.50	a	28.00	a	9.50	a	9.50	a	6.13	a	10.00	46	5	41	2	28	1	38	4	38	4	49	8	240	24
	自動車整備科	a	6.80	a	9.86	a	7.67	a	7.56	a	6.25	a	11.71	a	7.98	68	10	69	7	69	9	68	9	75	12	82	7	431	54
	造形デザイン科	a	2.86	a	2.00	a	3.33	a	7.00	a	3.75	a	6.00	a	3.35	20	7	16	8	10	3	14	2	15	4	12	2	87	26
	建築技術科	a	7.25	a	7.20	a	5.00	a	5.67	a	9.00	a	19.00	a	7.21	29	4	36	5	45	9	34	6	27	3	38	2	209	29
	機械技術科	a	9.67	a	7.00	a	5.75	a	7.25	a	21.00	a	7.80	a	8.16	29	3	14	2	23	4	29	4	21	1	39	5	155	19
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均															
室蘭	金属加工科	a	6.00	a	23.00	a	8.00	a	8.00	a	19.00	a	9.80	a	10.00	30	5	23	1	16	2	24	3	38	2	49	5	180	18
	精密機械科	a	4.63	a	6.25	a	6.00	a	4.80	a	11.33	a	9.60	a	6.64	37	8	25	4	18	3	24	5	34	3	48	5	186	28
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均															
苫小牧	金属加工科	a	23.00	a	37.00	a	27.00	c	0.00	a	45.00	a	31.00	a	39.00	46	2	37	1	27	1	48	0	45	1	31	1	234	6
	精密機械科	a	11.50	a	33.00	a	13.50	a	14.33	a	48.00	a	35.00	a	19.33	46	4	33	1	27	2	43	3	48	1	35	1	232	12
	電気工学科	a	9.00	a	14.75	a	22.50	a	17.25	a	17.25	a	25.00	a	15.73	54	6	59	4	45	2	69	4	69	4	50	2	346	22
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均															
帯広	建築技術科	a	3.00	a	5.75	a	23.25	a	6.67	a	2.50	a	10.00	a	6.79	30	10	46	8	93	4	20	3	15	6	20	2	224	33
	電気工学科	a	5.64	a	6.23	a	10.56	a	5.00	a	4.46	a	6.25	a	6.60	79	14	81	13	169	16	45	9	58	13	50	8	482	73
	造形デザイン科	a	1.83	a	2.14	a	2.20	a	1.13	a	2.00	a	1.08	a	1.62	11	6	15	7	11	5	9	8	16	8	14	13	76	47
	金属加工科	a	4.78	a	8.75	a	4.11	c	0.00	a	4.88	a	8.00	a	5.94	43	9	35	4	37	9	16	0	39	8	32	4	202	34
	自動車整備科	a	6.33	a	5.05	a	13.90	a	5.11	a	5.33	a	4.71	a	6.41	76	12	96	19	139	10	46	9	64	12	66	14	487	76
	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均															
釧路	電気工学科	a	6.40	a	6.71	a	6.40	a	5.33	a	4.22	a	51.00	a	7.03	32	5	47	7	32	5	32	6	38	9	51	1	232	33
	建築技術科	a	15.00	a	6.67	a	2.80	a	4.75	a	4.60	a	9.75	a	6.35	30	2	40	6	14	5	19	4	23	5	39	4	165	26
	自動車整備科	a	6.00	a	9.00	a	5.55	a	9.83	a	6.18	a	19.40	a	8.05	84	14	90	10	61	11	59	6	68	11	97	5	459	57

二次評価

関連業界就職率

a: x ≥ 91%、b: 91% > x ≥ 80%、c: x < 80%

内訳

		関連業界就職率							R元		R2		R3		R4		R5		R6		平均								
		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	関連就職	就職希望	関連就職	就職希望	関連就職	就職希望	関連就職	就職希望	関連就職	就職希望	関連就職	就職希望	関連就職	就職希望							
札幌	精密機械科	a	100.0%	a	100.0%	a	92.3%	a	100.0%	c	75.0%	a	100.0%	a	96.4%	15	15	9	9	12	13	8	8	3	4	7	7	54	56
	金属加工科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	80.0%	a	97.1%	9	9	8	8	9	9	1	1	3	3	4	5	34	35		
	建築技術科	a	93.8%	c	66.7%	b	87.5%	a	100.0%	a	100.0%	b	83.3%	b	89.4%	15	16	4	6	14	16	9	9	7	7	10	12	59	66
	電子印刷科	a	100.0%	c	44.4%	a	100.0%	a	100.0%	c	25.0%	b	80.0%	c	75.0%	7	7	4	9	4	4	7	7	1	4	4	5	27	36
	建築設備科	a	92.3%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	98.1%	12	13	10	10	6	6	6	6	11	11	7	7	7	7	52	53
		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均														
函館	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	b	90.9%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	98.7%	10	10	17	17	10	11	14	14	13	13	14	14	78	79
	システム制御技術科	a	100.0%	c	66.7%	b	85.7%	a	92.3%	b	87.5%	a	100.0%	b	90.9%	7	7	2	3	6	7	12	13	7	8	6	6	40	44
	機械技術科	a	100.0%	b	85.7%	a	100.0%	a	100.0%	c	75.0%	a	100.0%	a	91.7%	3	3	6	7	3	3	2	2	3	4	5	5	22	24
	建築技術科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	2	2	7	7	5	5	7	7	1	1	5	5	27	27
		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均														
旭川	建築技術科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	10	10	5	5	3	3	6	6	11	11	8	8	43	43
	システム制御技術科	c	55.6%	a	100.0%	b	80.0%	a	100.0%	b	87.5%	a	100.0%	b	85.7%	5	9	8	8	4	5	8	8	7	8	4	4	36	42
	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	90.0%	b	90.0%	a	100.0%	a	96.2%	7	7	11	11	8	8	9	10	9	10	7	7	51	53
	印刷デザイン科	c	62.5%	b	84.6%	a	100.0%	b	83.3%	b	88.9%	c	75.0%	b	81.8%	5	8	11	13	5	5	10	12	8	9	6	8	45	55
	造形デザイン科	b	90.9%	b	90.0%	c	72.7%	c	71.4%	a	100.0%	a	100.0%	b	87.3%	10	11	9	10	8	11	5	7	9	9	7	7	48	55
	色彩デザイン科	c	66.7%	b	80.0%	a	100.0%	b	85.7%	a	100.0%	a	100.0%	a	91.2%	2	3	4	5	8	8	6	7	8	8	3	3	31	34
		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均														
北見	電気工学科	a	100.0%	c	50.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	95.8%	5	5	1	2	1	1	4	4	4	4	4	4	8	8	23	24
	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	91.7%	b	85.7%	a	96.3%	10	10	7	7	9	9	9	9	11	12	6	7	52	54
	造形デザイン科	b	85.7%	c	50.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	80.8%	6	7	4	8	3	3	2	2	4	4	2	2	21	26
	建築技術科	a	100.0%	b	80.0%	a	100.0%	b	83.3%	a	100.0%	a	100.0%	a	93.1%	4	4	4	5	9	9	5	6	3	3	2	2	27	29
	機械技術科	a	100.0%	c	50.0%	a	100.0%	c	75.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	89.5%	3	3	1	2	4	4	3	4	1	1	5	5	17	19
		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均														
室蘭	金属加工科	a	100.0%	c	0.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	c	60.0%	b	83.3%	5	5	0	1	2	2	3	3	2	2	3	5	15	18
	精密機械科	b	87.5%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	80.0%	a	92.9%	7	8	4	4	3	3	5	5	3	3	4	5	26	28
		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均														
苫小牧	金属加工科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	c	0.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	2	2	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	6	6
	精密機械科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	4	4	1	1	2	2	3	3	1	1	1	1	12	12
	電気工学科	a	100.0%	a	100.0%	c	50.0%	a	100.0%	c	75.0%	a	100.0%	b	90.9%	6	6	4	4	1	2	4	4	3	4	2	2	20	22
		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均														
帯広	建築技術科	b	80.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	c	66.7%	a	100.0%	b	87.9%	8	10	8	8	4	4	3	3	4	6	2	2	29	33
	電気工学科	a	92.9%	a	92.3%	a	100.0%	c	77.8%	a	92.3%	a	100.0%	a	93.2%	13	14	12	13	16	16	7	9	12	13	8	8	68	73
	造形デザイン科	c	66.7%	b	85.7%	b	80.0%	b	87.5%	b	87.5%	c	61.5%	c	76.6%	4	6	6	7	4	5	7	8	7	8	8	13	36	47
	金属加工科	a	100.0%	c	75.0%	a	100.0%	c	0.0%	a	100.0%	c	75.0%	a	94.1%	9	9	3	4	9	9	0	0	8	8	3	4	32	34
	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	83.3%	a	100.0%	a	97.4%	12	12	19	19	10	10	9	9	10	12	14	14	74	76
		R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均	R元	R2	R3	R4	R5	R6	平均														
釧路	電気工学科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	5	5	7	7	5	5	6	6	9	9	1	1	33	33
	建築技術科	a	100.0%	c	66.7%	b	80.0%	a	100.0%	a	100.0%	c	50.0%	b	80.8%	2	2	4	6	4	5	4	4	5	5	2	4	21	26
	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	80.0%	a	98.2%	14	14	10	10	11	11	6	6	11	11	4	5	56	57

※旭川「印刷デザイン科」で、関連業界ではないが関連職種への就職と認められる者があり、R2年度1名、R3年度2名をカウントしている。

二次評価

雇用の質

a: x ≥ 98%、b: 98% > x ≥ 80%、c: x < 80%

内訳

	雇用の質											R元		R2		R3		R4		R5		R6		計					
	R元		R2		R3		R4		R5		R6		計	正規	就職	正規	就職	正規	就職	正規	就職	正規	就職	正規	就職				
札幌	精密機械科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	15	15	9	9	12	12	8	8	3	3	7	7	54	54
	金属加工科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	9	9	8	8	9	9	1	1	3	3	5	5	35	35
	建築技術科	b	93.8%	a	100.0%	b	93.3%	b	88.9%	a	100.0%	b	90.9%	b	93.8%	15	16	6	6	14	15	8	9	7	7	10	11	60	64
	電子印刷科	a	100.0%	c	60.0%	a	100.0%	b	85.7%	a	100.0%	a	100.0%	b	90.0%	7	7	3	5	4	4	6	7	3	3	4	4	27	30
	建築設備科	b	92.3%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	98.1%	12	13	10	10	6	6	6	6	11	11	7	7	52	53
	R元			R2				R3				R4				R5				R6				計					
函館	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	b	90.9%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	98.7%	10	10	17	17	10	11	14	14	13	13	14	14	78	79
	システム制御技術科	a	100.0%	c	66.7%	a	100.0%	b	92.3%	a	100.0%	a	100.0%	b	95.5%	7	7	2	3	7	7	12	13	8	8	6	6	42	44
	機械技術科	a	100.0%	b	85.7%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	95.8%	3	3	6	7	3	3	2	2	4	4	5	5	23	24
	建築技術科	c	50.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	85.7%	a	100.0%	b	80.0%	b	88.9%	1	2	7	7	5	5	6	7	1	1	4	5	24	27
	R元			R2				R3				R4				R5				R6				計					
旭川	建築技術科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	10	10	5	5	3	3	6	6	11	11	8	8	43	43
	システム制御技術科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	9	9	8	8	4	4	8	8	7	7	4	4	40	40
	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	88.9%	a	100.0%	a	98.0%	7	7	11	11	8	8	9	9	8	9	7	7	50	51
	印刷用「ガイ」科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	7	7	13	13	5	5	10	10	8	8	8	8	51	51
	造形用「ガイ」科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	c	66.7%	b	88.9%	a	100.0%	b	94.2%	11	11	9	9	10	10	4	6	8	9	7	7	49	52
	色彩用「ガイ」科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	87.5%	a	100.0%	b	97.0%	3	3	5	5	8	8	6	6	7	8	3	3	32	33
	R元			R2				R3				R4				R5				R6				計					
北見	電気工学科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	87.5%	b	95.8%	5	5	2	2	1	1	4	4	4	4	7	8	23	24
	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	10	10	7	7	9	9	9	9	12	12	7	7	54	54
	造形用「ガイ」科	b	85.7%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	96.2%	6	7	8	8	3	3	2	2	4	4	2	2	25	26
	建築技術科	a	100.0%	b	80.0%	a	100.0%	b	83.3%	a	100.0%	a	100.0%	b	93.1%	4	4	4	5	9	9	5	6	3	3	2	2	27	29
	機械技術科	a	100.0%	a	100.0%	c	75.0%	c	75.0%	a	100.0%	b	80.0%	b	84.2%	3	3	2	2	3	4	3	4	1	1	4	5	16	19
	R元			R2				R3				R4				R5				R6				計					
室蘭	金属加工科	a	100.0%	c	0.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	93.8%	5	5	0	1	2	2	3	3	2	2	3	3	15	16
	精密機械科	b	87.5%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	96.4%	7	8	4	4	3	3	5	5	3	3	5	5	27	28
	R元			R2				R3				R4				R5				R6				計					
苫小牧	金属加工科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	c	0.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	2	2	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	6	6
	精密機械科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	4	4	1	1	2	2	3	3	1	1	1	1	12	12
	電気工学科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	6	6	4	4	1	1	4	4	3	3	2	2	20	20
	R元			R2				R3				R4				R5				R6				計					
帯広	建築技術科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	c	66.7%	a	100.0%	a	100.0%	b	96.8%	10	10	8	8	4	4	2	3	4	4	2	2	30	31
	電気工学科	a	100.0%	b	92.3%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	98.6%	14	14	12	13	16	16	7	7	12	12	8	8	69	70
	造形用「ガイ」科	a	100.0%	b	85.7%	b	80.0%	c	75.0%	c	71.4%	a	100.0%	b	85.7%	6	6	6	7	4	5	6	8	5	7	9	9	36	42
	金属加工科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	c	0.0%	a	100.0%	c	75.0%	b	97.1%	9	9	4	4	9	9	0	0	8	8	3	4	33	34
	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	88.9%	a	100.0%	a	100.0%	a	98.6%	12	12	19	19	10	10	8	9	10	10	14	14	73	74
	R元			R2				R3				R4				R5				R6				計					
釧路	電気工学科	b	80.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	88.9%	a	100.0%	b	93.9%	4	5	7	7	5	5	6	6	8	9	1	1	31	33
	建築技術科	a	100.0%	b	83.3%	a	100.0%	c	75.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	91.3%	2	2	5	6	4	4	3	4	5	5	2	2	21	23
	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	90.9%	a	100.0%	a	98.2%	14	14	10	10	11	11	6	6	10	11	5	5	56	57

二次評価

カリキュラムの満足度

a : x > 93%、b : 93% ≥ x ≥ 73%、c : x < 73%

内訳

	カリキュラムの満足度										R元		R2		R3		R4		R5		R6		計						
	R元		R2		R3		R4		R5		R6		計		満足 やや 満足	回収 数	満足 やや 満足	回収 数	満足 やや 満足	回収 数	満足 やや 満足	回収 数	満足 やや 満足	回収 数					
札幌	精密機械科	b	79.2%	b	88.9%	b	91.3%	b	83.3%	c	72.7%	b	92.3%	b	85.5%	19	24	24	27	21	23	10	12	8	11	12	13	94	110
	金属加工科	c	33.3%	c	56.3%	c	63.6%	c	66.7%	b	87.5%	b	81.8%	c	60.0%	6	18	9	16	7	11	4	6	7	8	9	11	42	70
	建築技術科	a	95.7%	b	91.3%	b	88.5%	c	65.0%	c	57.9%	a	94.1%	b	82.8%	22	23	21	23	23	26	13	20	11	19	16	17	106	128
	電子印刷科	b	82.4%	b	75.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	88.9%	a	100.0%	b	89.3%	14	17	12	16	11	11	11	11	8	9	11	11	67	75
	建築設備科	b	87.0%	b	84.2%	b	84.6%	b	84.2%	a	95.2%	a	100.0%	b	89.1%	20	23	16	19	11	13	16	19	20	21	15	15	98	110
		R元		R2		R3		R4		R5		R6		計	R元		R2		R3		R4		R5		R6		計		
函館	自動車整備科	b	88.9%	b	90.0%	b	88.5%	b	86.2%	b	86.7%	b	75.0%	b	85.9%	24	27	27	30	23	26	25	29	26	30	21	28	146	170
	システム制御技術科	a	100.0%	b	76.9%	b	76.2%	b	77.3%	b	75.0%	b	92.9%	b	81.8%	13	13	10	13	16	21	17	22	12	16	13	14	81	99
	機械技術科	b	83.3%	c	72.7%	b	83.3%	b	83.3%	b	88.9%	b	85.7%	b	82.4%	10	12	8	11	5	6	5	6	8	9	6	7	42	51
	建築技術科	b	77.8%	b	83.3%	a	100.0%	a	100.0%	c	60.0%	a	100.0%	b	86.7%	7	9	10	12	12	12	8	8	6	10	9	9	52	60
		R元		R2		R3		R4		R5		R6		計	R元		R2		R3		R4		R5		R6		計		
旭川	建築技術科	a	100.0%	b	75.0%	a	100.0%	b	90.0%	a	95.0%	a	100.0%	a	94.4%	15	15	6	8	9	9	18	20	19	20	17	17	84	89
	システム制御技術科	a	94.1%	c	64.3%	c	35.7%	c	45.0%	b	92.3%	c	61.1%	c	64.6%	16	17	9	14	5	14	9	20	12	13	11	18	62	96
	自動車整備科	a	100.0%	a	100.0%	b	77.3%	a	95.8%	a	100.0%	a	93.8%	a	94.2%	18	18	20	20	17	22	23	24	20	20	15	16	113	120
	印刷デザイン科	c	54.2%	c	66.7%	c	63.2%	c	69.6%	a	94.7%	a	93.8%	c	72.1%	13	24	14	21	12	19	16	23	18	19	15	16	88	122
	造形デザイン科	a	100.0%	a	95.5%	a	100.0%	a	95.0%	b	77.8%	a	100.0%	a	94.9%	25	25	21	22	21	21	19	20	14	18	11	11	111	117
	色彩デザイン科	b	87.5%	a	100.0%	a	94.4%	a	100.0%	c	72.7%	b	90.9%	b	92.2%	7	8	13	13	17	18	16	16	8	11	10	11	71	77
		R元		R2		R3		R4		R5		R6		計	R元		R2		R3		R4		R5		R6		計		
北見	電気工学科	c	72.7%	b	75.0%	b	80.0%	c	71.4%	c	63.6%	b	90.0%	b	75.0%	8	11	6	8	4	5	5	7	7	11	9	10	39	52
	自動車整備科	a	94.1%	b	81.3%	a	95.0%	b	85.7%	b	78.9%	b	86.7%	b	87.0%	16	17	13	16	19	20	18	21	15	19	13	15	94	108
	造形デザイン科	b	81.3%	b	92.3%	b	83.3%	a	100.0%	a	100.0%	b	85.7%	b	89.1%	13	16	12	13	5	6	6	6	7	7	6	7	49	55
	建築技術科	b	81.8%	c	70.6%	b	81.3%	c	62.5%	a	100.0%	c	50.0%	b	75.4%	9	11	12	17	13	16	5	8	5	5	2	4	46	61
	機械技術科	c	50.0%	a	100.0%	b	87.5%	b	80.0%	b	85.7%	a	100.0%	b	85.0%	3	6	6	6	7	8	4	5	6	7	8	8	34	40
		R元		R2		R3		R4		R5		R6		計	R元		R2		R3		R4		R5		R6		計		
室蘭	金属加工科	a	100.0%	b	80.0%	b	88.9%	a	100.0%	c	66.7%	b	88.9%	b	87.0%	6	6	4	5	8	9	8	8	6	9	8	9	40	46
	精密機械科	c	50.0%	b	77.8%	b	80.0%	b	75.0%	b	75.0%	b	83.3%	c	71.7%	6	12	7	9	8	10	6	8	6	8	5	6	38	53
		R元		R2		R3		R4		R5		R6		計	R元		R2		R3		R4		R5		R6		計		
苫小牧	金属加工科	a	100.0%	c	50.0%	c	33.3%	c	50.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	73.3%	3	3	1	2	1	3	1	2	2	2	3	3	11	15
	精密機械科	b	80.0%	c	66.7%	b	85.7%	a	100.0%	a	100.0%	a	100.0%	b	87.5%	4	5	2	3	6	7	5	5	2	2	2	2	21	24
	電気工学科	b	90.9%	a	100.0%	b	83.3%	b	90.9%	b	85.7%	a	100.0%	b	91.3%	10	11	6	6	5	6	10	11	6	7	5	5	42	46
		R元		R2		R3		R4		R5		R6		計	R元		R2		R3		R4		R5		R6		計		
帯広	建築技術科	a	100.0%	b	76.9%	a	100.0%	a	100.0%	b	87.5%	b	91.7%	b	92.4%	19	19	10	13	7	7	7	7	7	8	11	12	61	66
	電気工学科	b	89.3%	c	69.0%	b	76.9%	c	47.6%	b	81.0%	c	69.2%	b	73.2%	25	28	20	29	20	26	10	21	17	21	9	13	101	138
	造形デザイン科	a	100.0%	b	83.3%	a	93.3%	a	94.1%	a	95.5%	b	80.0%	b	90.9%	13	13	10	12	14	15	16	17	21	22	16	20	90	99
	金属加工科	b	84.6%	b	92.3%	a	100.0%	b	77.8%	b	92.3%	c	66.7%	b	86.4%	11	13	12	13	9	9	7	9	12	13	6	9	57	66
	自動車整備科	b	87.1%	b	84.4%	c	71.4%	b	75.0%	b	76.9%	b	89.7%	b	81.8%	27	31	27	32	15	21	15	20	20	26	26	29	130	159
		R元		R2		R3		R4		R5		R6		計	R元		R2		R3		R4		R5		R6		計		
釧路	電気工学科	b	75.0%	b	83.3%	b	90.9%	b	87.5%	b	80.0%	b	85.7%	b	83.8%	9	12	10	12	10	11	14	16	8	10	6	7	57	68
	建築技術科	a	100.0%	b	83.3%	a	100.0%	a	100.0%	b	87.5%	a	100.0%	a	94.0%	7	7	10	12	10	10	9	9	7	8	4	4	47	50
	自動車整備科	b	87.5%	b	90.5%	b	76.5%	b	82.4%	a	93.8%	b	83.3%	b	86.0%	21	24	19	21	13	17	14	17	15	16	10	12	92	107

訓練科目の評価（単年度で2次評価がC評価の9科）

	1次評価	2次評価	1次評価					2次評価													
			①応募倍率	応募 ÷入校定員	②就職率	就職 ÷就職希望	結果	③求人倍率	求人 ÷就職希望	④関連業界就職率	関連就職 ÷就職希望	⑤雇用の質	正規雇用 ÷就職	⑥訓練生の満足度	満足・やや満足 ÷アンケート回収数	結果					
1. 札幌 精密機械科	平均 C	平均 A	R元	0.60	12 / 20	100.0%	15 / 15	C	a	2.60	39 / 15	a	100.0%	15 / 15	a	100.0%	15 / 15	b	79.2%	19 / 24	A
			R2	0.95	19 / 20	100.0%	9 / 9	B	a	7.33	66 / 9	a	100.0%	9 / 9	a	100.0%	9 / 9	b	88.9%	24 / 27	-
			R3	0.60	12 / 20	92.3%	12 / 13	C	a	1.85	24 / 12	a	92.3%	12 / 13	a	100.0%	12 / 12	b	91.3%	21 / 23	A
			R4	0.20	4 / 20	100.0%	8 / 8	C	a	4.50	36 / 8	a	100.0%	8 / 8	a	100.0%	8 / 8	b	83.3%	10 / 12	A
			R5	0.45	9 / 20	75.0%	3 / 4	C	a	10.75	43 / 3	c	75.0%	3 / 4	a	100.0%	3 / 3	c	72.7%	8 / 11	C
			R6	0.30	6 / 20	100.0%	7 / 7	C	a	9.86	69 / 7	a	100.0%	7 / 7	a	100.0%	7 / 7	b	92.3%	12 / 13	A
			平均	0.52	62 / 120	96.4%	54 / 56	C	a	4.95	277 / 54	c	96.4%	54 / 56	a	100.0%	54 / 54	b	85.5%	94 / 110	A
2. 札幌 電子印刷科	平均 C	平均 B	R元	0.55	11 / 20	100.0%	7 / 7	C	a	4.14	29 / 7	a	100.0%	7 / 7	a	100.0%	7 / 7	b	82.4%	14 / 17	A
			R2	0.50	10 / 20	55.6%	5 / 9	C	a	1.33	12 / 9	c	44.4%	4 / 9	c	60.0%	3 / 5	b	75.0%	12 / 16	C
			R3	0.60	12 / 20	100.0%	4 / 4	C	a	2.25	9 / 4	a	100.0%	4 / 4	a	100.0%	4 / 4	a	100.0%	11 / 11	A
			R4	0.40	8 / 20	100.0%	7 / 7	C	a	2.00	14 / 7	a	100.0%	7 / 7	b	85.7%	6 / 7	a	100.0%	11 / 11	A
			R5	0.40	8 / 20	75.0%	3 / 4	C	a	5.50	22 / 4	c	25.0%	1 / 4	a	100.0%	3 / 3	b	88.9%	8 / 9	B
			R6	0.35	7 / 20	80.0%	4 / 5	C	a	2.80	14 / 5	b	80.0%	4 / 5	a	100.0%	4 / 4	a	100.0%	11 / 11	A
			平均	0.47	56 / 120	83.3%	30 / 36	C	a	2.78	100 / 36	c	75.0%	27 / 36	b	90.0%	27 / 30	b	89.3%	67 / 75	B
3. 函館 システム制御技術科	平均 C	平均 B	R元	0.45	9 / 20	100.0%	7 / 7	C	a	7.57	53 / 7	a	100.0%	7 / 7	a	100.0%	7 / 7	a	100.0%	13 / 13	A
			R2	0.50	10 / 20	100.0%	3 / 3	C	a	15.00	45 / 3	c	66.7%	2 / 3	c	66.7%	2 / 3	b	76.9%	10 / 13	C
			R3	0.65	13 / 20	100.0%	7 / 7	C	a	11.57	81 / 7	b	85.7%	6 / 7	a	100.0%	7 / 7	b	76.2%	16 / 21	B
			R4	0.50	10 / 20	100.0%	13 / 13	C	a	5.23	68 / 13	a	92.3%	12 / 13	b	92.3%	12 / 13	b	77.3%	17 / 22	B
			R5	0.45	9 / 20	100.0%	8 / 8	C	a	9.25	74 / 8	b	87.5%	7 / 8	a	100.0%	8 / 8	b	75.0%	12 / 16	B
			R6	0.55	11 / 20	100.0%	6 / 6	C	a	12.50	75 / 6	a	100.0%	6 / 6	a	100.0%	6 / 6	b	92.9%	13 / 14	A
			平均	0.52	62 / 120	100.0%	44 / 44	C	a	9.00	396 / 44	b	90.9%	40 / 44	b	95.5%	42 / 44	b	81.8%	81 / 99	B

1. 札幌「精密機械科」 二次評価がC評価：R5年度

- ④関連業界就職率 75.0% (< 80%) ⇒ 就職希望者4名のうち、1名が非関連業界に就職したため
- ⑥訓練生の満足度 72.3% (< 73%) ⇒ 回答者11名のうち「どちらとも言えない：2名」、「その他（時と場合による）：1名」のため

2. 札幌「電子印刷科」 二次評価がC評価：R2年度

- ④関連業界就職率 44.4% (< 80%) ⇒ 就職希望者9名のうち、5名が非関連業界に就職したため
- ⑤雇用の質 60.0% (< 80%) ⇒ 就職者5名のうち、2名が非正規雇用だったため

3. 函館「システム制御技術科」 二次評価がC評価：R2年度

- ④関連業界就職率 66.7% (< 80%) ⇒ 就職希望者3名のうち、1名が非関連業界に就職したため
- ⑤雇用の質 66.7% (< 80%) ⇒ 就職者3名のうち、1名が非正規雇用だったため

※具体的な理由については、秘匿すべき個人的事情も見られることに配慮して、この資料では記載していない。

訓練科目の評価（単年度で2次評価がC評価の9科）

	1次評価	2次評価	1次評価					2次評価													
			①応募倍率	応募 ÷入校定員	②就職率	就職 ÷就職希望	結果	③求人倍率	求人 ÷就職希望	④関連業界就職率	関連就職 ÷就職希望	⑤雇用の質	正規雇用 ÷就職	⑥訓練生の満足度	満足・やや満足 ÷アンケート回収数	結果					
4. 旭川 造形デザイン科	平均 C	平均 B	R元	0.80	16 / 20	100.0%	11 / 11	C	a	1.73	19 / 11	b	90.9%	10 / 11	a	100.0%	11 / 11	100.0%	25 / 25	A	
			R2	0.60	12 / 20	90.0%	9 / 10	C	a	1.20	12 / 10	b	90.0%	9 / 10	a	100.0%	9 / 9	95.5%	21 / 22	A	
			R3	0.50	10 / 20	90.9%	10 / 11	C	a	2.18	24 / 11	c	72.7%	8 / 11	a	100.0%	10 / 10	100.0%	21 / 21	B	
			R4	0.65	13 / 20	85.7%	6 / 7	C	a	2.71	19 / 7	c	71.4%	5 / 7	c	66.7%	4 / 6	95.0%	19 / 20	C	
			R5	0.35	7 / 20	100.0%	9 / 9	C	a	1.89	17 / 9	a	100.0%	9 / 9	b	88.9%	8 / 9	77.8%	14 / 18	B	
			R6	0.20	4 / 20	100.0%	7 / 7	C	a	2.29	16 / 7	a	100.0%	7 / 7	a	100.0%	7 / 7	100.0%	11 / 11	A	
			平均	0.52	62 / 120	94.5%	52 / 55	C	a	1.95	107 / 55	b	87.3%	48 / 55	b	94.2%	49 / 52	94.9%	111 / 117	B	
5. 北見 機械技術科	平均 C	平均 B	R元	0.20	2 / 10	100.0%	3 / 3	C	a	9.67	29 / 3	a	100.0%	3 / 3	a	100.0%	3 / 3	c	50.0%	3 / 6	A
			R2	0.40	4 / 10	100.0%	2 / 2	C	a	7.00	14 / 2	b	50.0%	1 / 2	a	100.0%	2 / 2	a	100.0%	6 / 6	A
			R3	0.40	4 / 10	100.0%	4 / 4	C	a	5.75	23 / 4	c	100.0%	4 / 4	c	75.0%	3 / 4	b	87.5%	7 / 8	B
			R4	0.10	1 / 10	100.0%	4 / 4	C	a	7.25	29 / 4	c	75.0%	3 / 4	c	75.0%	3 / 4	b	80.0%	4 / 5	C
			R5	0.60	6 / 10	100.0%	1 / 1	C	a	21.00	21 / 1	a	100.0%	1 / 1	a	100.0%	1 / 1	b	85.7%	6 / 7	B
			R6	0.30	3 / 10	100.0%	5 / 5	C	a	7.80	39 / 5	a	100.0%	5 / 5	b	80.0%	4 / 5	a	100.0%	8 / 8	A
			平均	0.33	20 / 60	100.0%	19 / 19	C	a	8.16	155 / 19	b	89.5%	17 / 19	b	84.2%	16 / 19	b	85.0%	34 / 40	B
6. 室蘭 金属加工科	平均 C	平均 B	R元	0.07	1 / 15	100.0%	5 / 5	C	a	6.00	30 / 5	a	100.0%	5 / 5	a	100.0%	5 / 5	a	100.0%	6 / 6	A
			R2	0.27	4 / 15	100.0%	1 / 1	C	a	23.00	23 / 1	c	0.0%	0 / 1	c	0.0%	0 / 1	b	80.0%	4 / 5	C
			R3	0.47	7 / 15	100.0%	2 / 2	C	a	8.00	16 / 2	a	100.0%	2 / 2	a	100.0%	2 / 2	b	88.9%	8 / 9	A
			R4	0.40	4 / 10	100.0%	3 / 3	C	a	8.00	24 / 3	a	100.0%	3 / 3	a	100.0%	3 / 3	a	100.0%	8 / 8	A
			R5	0.70	7 / 10	100.0%	2 / 2	C	a	19.00	38 / 2	a	100.0%	2 / 2	a	100.0%	2 / 2	c	66.7%	6 / 9	B
			R6	0.40	4 / 10	60.0%	3 / 5	C	a	9.80	49 / 5	c	60.0%	3 / 5	a	100.0%	3 / 3	b	88.9%	8 / 9	B
			平均	0.36	27 / 75	88.9%	16 / 18	C	a	10.00	180 / 18	b	83.3%	15 / 18	b	93.8%	15 / 16	b	87.0%	40 / 46	B

4. 旭川「造形デザイン科」 二次評価がC評価：R4年度

- ④関連業界就職率 71.4% (< 80%) ⇒ 就職希望者7名のうち、2名が非関連業界に就職したため
- ⑤雇用の質 66.7% (< 80%) ⇒ 就職者6名のうち、4名が非正規雇用だったため

5. 北見「機械技術科」 二次評価がC評価：R2年度

- ④関連業界就職率 75.0% (< 80%) ⇒ 就職希望者4名のうち、1名が非関連業界に就職したため
- ⑤雇用の質 75.0% (< 80%) ⇒ 就職者4名のうち、1名が非正規雇用だったため

6. 室蘭「金属加工科」 二次評価がC評価：R2年度

- ④関連業界就職率 0.0% (< 80%) ⇒ 就職希望者1名が非関連業界に就職したため
- ⑤雇用の質 0.0% (< 80%) ⇒ 就職者1名が非正規雇用だったため

※具体的な理由については、秘匿すべき個人的事情も見られることに配慮して、この資料では記載していない。

訓練科目の評価（単年度で2次評価がC評価の9科）

	1次評価	2次評価	1次評価					2次評価													
			①応募倍率	応募 ÷ 入校定員	②就職率	就職 ÷ 就職希望	結果	③求人倍率	求人 ÷ 就職希望	④関連業界就職率	関連就職 ÷ 就職希望	⑤雇用の質	正規雇用 ÷ 就職	⑥訓練生の満足度	満足・やや満足 ÷ アンケート回収数	結果					
7. 苫小牧 金属加工科	平均 C	平均 A	R元	0.10	1 / 10	100.0%	2 / 2	C	a	23.00	46 / 2	a	100.0%	2 / 2	a	100.0%	2 / 2	a	100.0%	3 / 3	A
			R2	0.10	1 / 10	100.0%	1 / 1	C	a	37.00	37 / 1	a	100.0%	1 / 1	a	100.0%	1 / 1	c	50.0%	1 / 2	B
			R3	0.20	2 / 10	100.0%	1 / 1	C	a	27.00	27 / 1	a	100.0%	1 / 1	a	100.0%	1 / 1	c	33.3%	1 / 3	B
			R4	0.30	3 / 10	0.0%	0 / 0	C	c	0.00	48 / 0	c	0.0%	0 / 0	c	0.0%	0 / 0	c	50.0%	1 / 2	C
			R5	0.10	1 / 10	100.0%	1 / 1	C	a	45.00	45 / 1	a	100.0%	1 / 1	a	100.0%	1 / 1	a	100.0%	2 / 2	A
			R6	0.20	2 / 10	100.0%	1 / 1	C	a	31.00	31 / 1	a	100.0%	1 / 1	a	100.0%	1 / 1	a	100.0%	3 / 3	A
			平均	0.17	10 / 60	100.0%	6 / 6	C	a	39.00	234 / 6	a	100.0%	6 / 6	a	100.0%	6 / 6	b	73.3%	11 / 15	A
8. 帯広 電気工学科	平均 C	平均 A	R元	0.65	13 / 20	100.0%	14 / 14	C	a	5.64	79 / 14		92.9%	13 / 14		100.0%	14 / 14		89.3%	25 / 28	A
			R2	0.85	17 / 20	100.0%	13 / 13	C	a	6.23	81 / 13		92.3%	12 / 13		92.3%	12 / 13		69.0%	20 / 29	B
			R3	0.55	11 / 20	100.0%	16 / 16	C	a	10.56	169 / 16		100.0%	16 / 16		100.0%	16 / 16		76.9%	20 / 26	A
			R4	0.70	14 / 20	77.8%	7 / 9	C	a	5.00	45 / 9		77.8%	7 / 9		100.0%	7 / 7		47.6%	10 / 21	C
			R5	0.40	8 / 20	92.3%	12 / 13	C	a	4.46	58 / 13		92.3%	12 / 13		100.0%	12 / 12		81.0%	17 / 21	A
			R6	0.25	5 / 20	100.0%	8 / 8	C	a	6.25	50 / 8		100.0%	8 / 8		100.0%	8 / 8		69.2%	9 / 13	B
			平均	0.57	68 / 120	95.9%	70 / 73	C	a	6.60	482 / 73		93.2%	68 / 73		98.6%	69 / 70		73.2%	101 / 138	A
9. 帯広 金属加工科	平均 C	平均 B	R元	0.25	5 / 20	100.0%	9 / 9	C	a	4.78	43 / 9		100.0%	9 / 9		100.0%	9 / 9		84.6%	11 / 13	A
			R2	0.45	9 / 20	100.0%	4 / 4	C	a	8.75	35 / 4		75.0%	3 / 4		100.0%	4 / 4		92.3%	12 / 13	B
			R3	0.05	1 / 20	100.0%	9 / 9	C	a	4.11	37 / 9		100.0%	9 / 9		100.0%	9 / 9		100.0%	9 / 9	A
			R4	0.90	9 / 10	0.0%	0 / 0	B	c	0.00	16 / 0		0.0%	0 / 0		0.0%	0 / 0		77.8%	7 / 9	—
			R5	0.50	5 / 10	100.0%	8 / 8	C	a	4.88	39 / 8		100.0%	8 / 8		100.0%	8 / 8		92.3%	12 / 13	A
			R6	0.50	5 / 10	100.0%	4 / 4	C	a	8.00	32 / 4		75.0%	3 / 4		75.0%	3 / 4		66.7%	6 / 9	C
			平均	0.38	34 / 90	100.0%	34 / 34	C	a	5.94	202 / 34		94.1%	32 / 34		97.1%	33 / 34		86.4%	57 / 66	B

7. 苫小牧「金属加工科」 二次評価がC評価：R4年度

- ③求人倍率 0.0倍（< 0.9倍）⇒ R3年度入校者2名が中退となり、R4年度修了生がゼロのため
- ④関連業界就職率 0.0%（< 80%）⇒ 同上
- ⑤雇用の質 0.0%（< 80%）⇒ 同上
- ⑥訓練生の満足度 50.0%（< 73%）⇒ R4年度入校者2名のうち、1名が「その他」のため

8. 帯広「電気工学科」 二次評価がC評価：R4年度

- ④関連業界就職率 77.8%（< 80%）⇒ 就職希望者9名のうち2名が非関連業界に就職したため
- ⑥訓練生の満足度 47.6%（< 73%）⇒ 回答者21名のうち「どちらとも言えない」7名、「やや不満」3名、「不満」1名。

9. 帯広「金属加工科」 二次評価がC評価：R6年度

- ④関連業界就職率 75.0%（< 80%）⇒ 就職希望者4名のうち、1名が非関連業界に就職したため
- ⑤雇用の質 75.0%（< 80%）⇒ 就職者4名のうち、1名が非正規雇用だったため
- ⑥訓練生の満足度 66.7%（< 73%）⇒ 回答者9名のうち「どちらとも言えない」2名、「やや不満」1名

※具体的な理由については、秘匿すべき個人的事情も見られることに配慮して、この資料では記載していない。

5. MONOテクにおける取組事例

【星槎国際高等学校との連携協定】

- MONOテク札幌と星槎国際高等学校は、令和7年10月に「就職支援等に関する連携協定書」を締結。
- 連携協定の内容は、就職説明会やインターンシップ受入れのほか、「単位制・通信制高校」という星槎国際高等学校の特色を活かし、ものづくり分野での就職を希望する生徒が高校に通いながら「MONOテク札幌」で職業訓練を受ける、いわゆる「ダブルスクール」についての協力等となっている。
- 高校在学中に、職業訓練を通じて技術の習得や資格の取得ができること、また、人手不足が深刻なものづくり分野の人材育成に繋がることが期待されます。



札幌高等技術専門学院と星槎国際高等学校との就職支援等に関する連携協定書

札幌高等技術専門学院（以下「甲」という。）と星槎国際高等学校（以下「乙」という。）は、次代を担うものづくり人材の育成と地域から信頼される魅力ある学校づくりを図るため、相互に連携・協力することに合意し、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲と乙が相互に連携・協力に努め、乙の生徒（以下「乙生徒」という。）の進路に関する多様な選択肢の提示とものづくり産業への就職活動の支援を目的とする。

（連携事項）

第2条 甲と乙は、前条の目的を達成するため、次の事項について双方連携・協力して実施する

- (1) 乙生徒の就職相談や就職説明会の実施に関し協力すること。
- (2) 関連業界の求人状況や就職活動に関する情報を提供すること。
- (3) 体験実習（インターンシップ）の受入れに関し協力すること。
- (4) 在学中に甲への入校を希望する乙生徒への情報提供に協力すること。なお、入校にあたっては北海道立高等技術専門学院普通課程又は短期課程選考要綱に基づき取り扱う。

（連絡調整）

第3条 甲と乙は、前条各号に定める事項を効果的に推進するため、それぞれに連絡調整のための窓口を設置する。甲は訓練管理課を窓口とし、乙は本母校を窓口とする。

（個人情報の取扱い）

第4条 甲および乙は、本協定に基づき知り得た個人情報を、第三者に開示、漏洩してはならない。但し、事前に双方の承諾を得た場合はこの限りではない。

（協定期間）

第5条 本協定の有効期間は、協定の締結日から令和8年（2026年）3月31日までとする。但し、本協定の有効期間満了の前月末日までに甲乙いずれからも特段の意思表示がない場合、本協定は更に1年間同一内容で更新されるものとし、その後も同様とする。

（その他）

第6条 この協定に定めのない事項について定める必要が生じたとき、又はこの協定に定める事項を変更しようとするときは、甲と乙が協議の上定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲、乙それぞれの代表者の署名の上、各自その1通を保有する。

令和7年（2025年）10月20日

甲 北海道立札幌高等技術専門学院
札幌市東区北27条東16丁目1-1

札幌高等技術専門学院 学院長 匂坂圭子（自筆）

乙 学校法人 国際学園星槎国際高等学校
札幌市厚別区もみじ台北5丁目12-1

星槎国際高等学校 校長 前田豊（自筆）

【ダイキン工業(株)との連携による講習】

<背景>

- ◆ 道内は、近年の猛暑日や熱帯夜の増加に伴い、エアコン需要が急増。一方、道内の据付工事業者は人手不足のため、道外業者が道内出張して対応する場合も見受けられる。
- ◆ 国内の大手エアコンメーカーであるダイキン工業(株)は、道内での施工業者の育成を図るため、道立旭川工業高校に実習用エアコンを寄贈し、据付実習の授業を実施。

<講習の内容>

- ◆ R7年度からは、MONOテクとの連携により、家庭用エアコン据付工事講習を開始。

◇対象者

- ・ MONOテク訓練生
- ・ 在職者（地域の電気工事業業者等）

◇実施地域

- ・ MONOテク札幌（建築設備科）
- ・ 同 函館、旭川（システム制御技術科）
- ・ 同 北見、苫小牧、帯広、釧路（電気工学科、電気工事科）

◇内容

- ・ 座学（空調の基礎（冷凍サイクル））
- ・ 実習（据付、試運転、ポンプダウン（片付け）まで、フレア加工フレアレスジョイント体感）

◇受講者へのアンケート

「座学で細かく教えてもらったので、実技も容易にできた」
「他の会社の方と一緒に作業することが少ないので、良かった」
など



座学風景



フレア加工 説明



フレア加工



室内機取付



室外機取付



真空引き

6. 「今後の高等技術専門学院の運営方針」の概要

「今後の高等技術専門学院の運営方針」の概要

策定の趣旨

人口減少や少子高齢化等に伴う人手不足の進行、働き方改革の推進など、職業訓練を取り巻く状況や雇用情勢の変化に対応し、高等技術専門学院(技専)が、地域のものづくり産業などを支える人材育成機関としての役割を果たすとともに、全員参加型社会の実現に貢献していくため、今後の技専の訓練体制や訓練内容、訓練科目、その他運営に係わる基本的な方針を策定する。

技専を取り巻く状況

- 本道は、全国を上回るペースで人口減少や少子高齢化が進行、本道の労働力人口は、将来にわたり減少
- 新規求職件数の減少、新規求人数の増加に伴い、新規求人倍率が1倍超(H25～)と人手不足が顕著になっている
- 本道の新規学卒者の就職内定率は高水準で推移、離職率は全国より高い



技専の現状

- 6つの連携地域を基本に、8校(1分校)を配置
(札幌、室蘭、苫小牧、函館、旭川[稚内分校]、北見、帯広、釧路)
- 就職率は高いが、定員充足率が低下傾向
 - ・就職率は95.8% (H29)
 - ・定員充足率は56.9% (H30)
- 修了生の地元就職率、職場定着率は高い
 - ・管内就職率76.6%、道内就職率90.0% (H29)
 - ・就職後3年間の定着率は65.9% (H27年3月修了生)
(道内新規高卒者全体の55.2%に比較して高い)

技専の課題

- ▲応募者・入校者・定員充足率が減少傾向
 - 地域や関係機関などと連携した入校促進策の展開
 - 地域の産業情勢や人材ニーズに対応した訓練内容や入校定員などの見直し
- ▲人手不足や労働力人口の減少に対応した産業人材の育成・輩出
 - 道内各地域の産業を支える人材の育成・輩出を促進
 - 既卒者や女性、障がい者など多様な人材の職業能力開発を推進
- ▲官民の職業教育訓練機関との連携
 - 官と民があいまって人材育成を推進

今後の技専の運営方針

対象期間
2019年度～2025年度

基本的な考え方

○地域産業を支える人材の育成

本道は全国を上回るペースで人口減少や少子高齢化が進行しており、地域経済を持続的に発展させていくために、高等技術専門学院は、今後一層、道内各地域の産業を支える人材を育成する役割を果たしていく

○全員参加型社会の実現への貢献

将来にわたる生産年齢人口、労働力人口の減少に対応するために、高等技術専門学院は、新規学卒者、学び直しなどの既卒者、女性、障がい者など多様な人材の職業能力開発により、労働市場への参加を促進し、全員参加型社会の実現に貢献していく

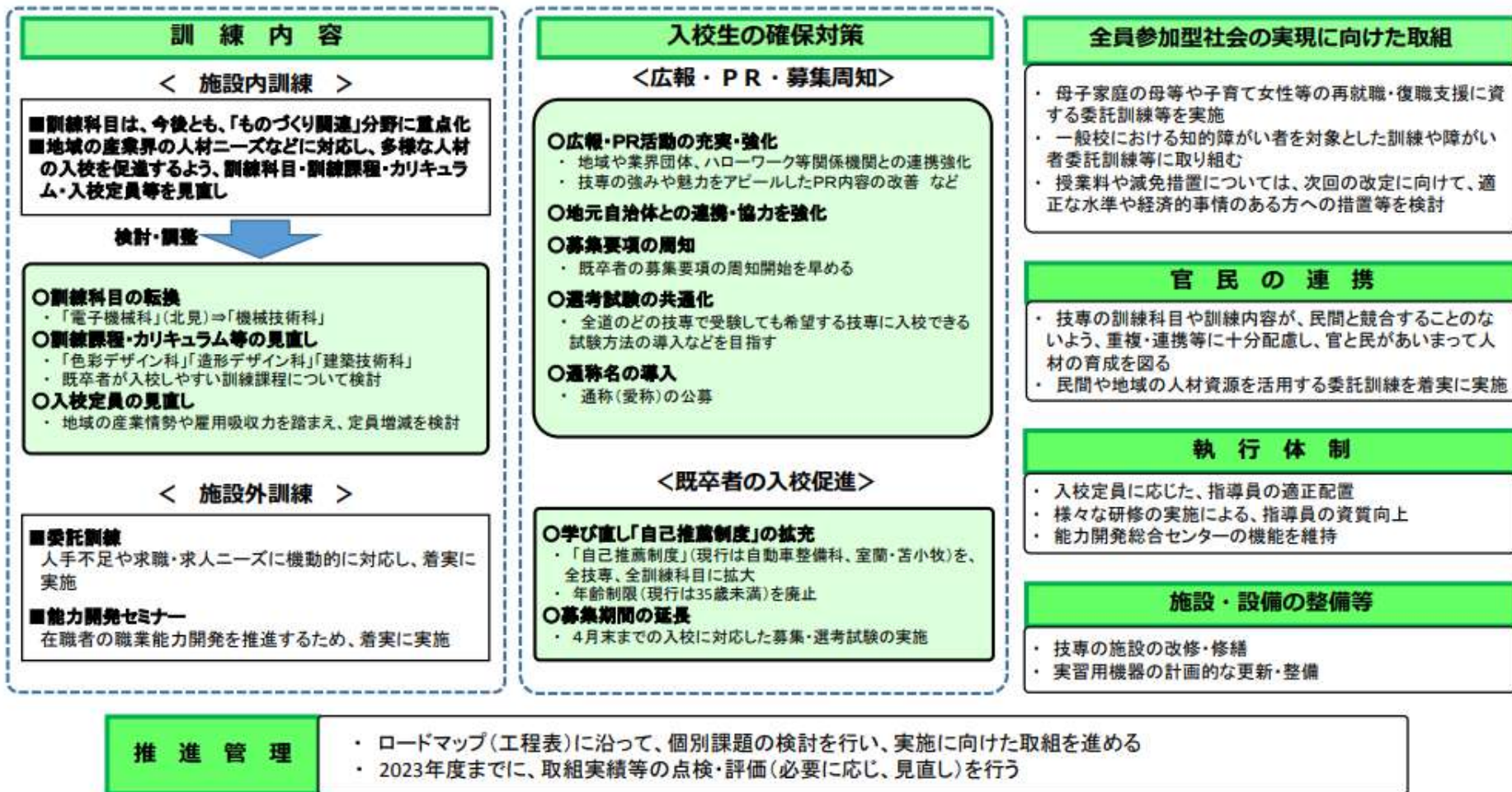
○官民の効果的な連携

本道において産業人材の育成を一層促進していくために、高等技術専門学院は、官民の職業教育訓練機関と効果的に連携して、それぞれの強みを活かした職業教育訓練を行っていく

訓練体制

○8校(1分校)体制の維持

技専が今後とも、ものづくり関連を重点に、道内各地域の産業を支える質の高い技能者を育成・輩出する役割を果たすため、6つの連携地域を基本とする8校(1分校)体制を維持



	内 容	現 状	目 標 値
目標指標	技専(施設内訓練)修了生の関連業界就職率	89.1%(2017年度)	95.0%(2025年度)
	技専(施設内訓練)における既卒者の入校者数	60人(2018年度)	120人(2025年度)
	施設外訓練(委託訓練)修了者の就職率	72.3%(2017年度)	77.0%(2025年度)
	能力開発セミナー受講者の満足度	94.0%(2017年度)	97.0%(2025年度)